

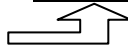


地区館事業

平成 24 年度 指定管理事業実績

市民センター地区館ホームページアドレス一覧

<http://www.stks.city.sendai.jp/citizen/WebPages/〇〇〇〇/index.html>

※館によって入る文字が異なる 

市民センター名	〇〇〇〇に入る文字	市民センター名	〇〇〇〇に入る文字
青葉区		六郷市民センター	rokugo
青葉区中央市民センター	aochu	沖野市民センター	okino
柏木市民センター	kasiwagi	若林市民センター	wakabayasi
北山市民センター	kitayama	太白区	
福沢市民センター	fukuzawa	太白区中央市民センター	futochu
旭ヶ丘市民センター	asahigaoka	生出市民センター	oide
三本松市民センター	sanbonmatsu	中田市民センター	nakada
片平市民センター	katahira	西多賀市民センター	nisitaga
水の森市民センター	mizunomori	八本松市民センター	hachihonmatsu
貝ヶ森市民センター	kaigamori	八木山市民センター	yagiyama
中山市民センター	nakayama	山田市民センター	yamada
折立市民センター	oritate	茂庭台市民センター	moniwadai
広瀬市民センター	hirose	東中田市民センター	higashinakada
宮城西市民センター	miyaginishi	柳生市民センター	yanagiu
大沢市民センター	osawa	秋保市民センター	akiu
落合市民センター	ochiai	馬場市民センター	
吉成市民センター	yosinari	湯本市民センター	
木町通市民センター	kimachi	富沢市民センター	tomizawa
宮城野区		泉区	
中央市民センター	chuo	泉区中央市民センター	izuchu
宮城野区中央市民センター	miyachu	根白石市民センター	nenosiroisi
高砂市民センター	takasago	南光台市民センター	nankodai
岩切市民センター	iwakiri	黒松市民センター	kuromatsu
鶴ヶ谷市民センター	tsurugaya	将監市民センター	syogen
榴ヶ岡市民センター	tsutsujigaoka	加茂市民センター	kamo
東部市民センター	tobu	高森市民センター	takamori
幸町市民センター	saiwaichou	松陵市民センター	syoryo
田子市民センター	tago	寺岡市民センター	teraoka
福室市民センター	fukumuro	長命ヶ丘市民センター	chomeigaoka
若林区		松森市民センター	matsumori
若林中央市民センター	wakachu	桂市民センター	katsura
七郷市民センター	sichigo	南中山市民センター	minaminakayama
荒町市民センター	aramachi		

(平成 25 年 8 月 1 日現在)

青葉区中央市民センター

〔沿革〕

昭和 61 年の市立東二番丁小学校の全面改築に伴い「仙台市市民教養センター」が廃止され、昭和 63 年 1 月に「仙台市中央公民館一番町分館」が開館。平成 13 年 4 月、隣接の「アスパア一番町（勤労青少年ホーム）」を統合し、新しく「青葉区中央市民センター」としてスタートした。

市の中心部で交通の便が良いため、若い世代から高齢者まで昼夜を問わず利用率が高く、外国人も集まりやすいため、日本語講座を開催するなど国際交流の場としても一役を担っている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある（地区館）事業〕

事業名	一番町で会わ☆night		
参加者	成人（社会人）	参加延人数	153 人
開催日	全6回 7月25日(水)、8月29日(水)、9月26日(水) 10月31日(水)、11月28日(水)、12月26日(水)		
ねらい	学校を卒業して新たな生活が始まった若い世代では、交流できる人の範囲が狭まったり、新しいことを学ぶ機会が少なくなっている傾向がある。 そこで、当センターがビジネス街に立地していることを生かし、夜間に講座を開催し、新たな学びと交流の場を提供する。		
概要・成果	受講生の 8 割が就労者であり、仕事帰りに参加しやすい講座の提供となった。 全 6 回の講座を、「コミュニケーション術」や「ヨガ」「フルート演奏鑑賞」「収納整理術」など季節に合わせた毎回違う切り口で内容を充実させたことにより、受講生が初めて取組む内容もあり、リフレッシュできる時間を提供する事ができた。 また、「調理実習」の回では、参加者同士で協力しながら作業をすることで自然と会話が弾み、完成品をともに試食しながら交流する機会ともなった。		

〔平成 24 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
遊ぼう！パンダくらぶで	育児を楽しめる親子関係を築く子育て支援の一助とする。「親子でフラダンス」「人形劇鑑賞」「親子でデコ小物作り」	10月23日～11月6日	3	42
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーの活動を通して、新たな仲間作りと活動の広報を行い、地域づくりの各となる人材育成を図る。「東ニ夏まつり」「ふれあい祭」でのバルーンアート、もぐらたたき、簡単な工作 など	8月25日 3月3日	2	230
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童と世話人の学習を行った。講話と演習「歓送迎会プログラム作り」「ゲーム」	1月26日	1	41
●こども広場—サイエンス☆フェスティバル'12	中・高・大学生や企業が提供する科学の実験や工作に触れる機会を提供しながら、参加者同士の交流の場とする。事前説明会、打合せ会、実験・体験・工作のコーナーを提供	7月21日～10月6日	3	450

SENDAI タウンウォッチング～はじめての一步～	人口の流動の多い地域で、新たな住民と地元住民とで、知られていない街中の歴史や文化、伝統を学びあい、地域を再認識する機会とする。講話と街歩き・仙台味噌を活用した調理実習	5月24日 ～6月21日	5	59
あおばカレッジ	セカンドライフを考える年代層を対象に、学習を通じた仲間作りや交流などの通年の学習の場を提供する。基調講演・館外学習・介護予防栄養講座・仙台白菜でキムチ作り など	5月18日 ～2月15日	9	316
ベガルタ仙台介護予防教室 目指そう！アンチエイジング	超高齢化地域の中で集える場を提供し、将来の会議予防に繋げることを学び、継続的に取り組める環境を整える。「ストレッチ・軽体操・柔軟体操」	9月4日 ～3月5日	5	141
国際交流講座 フレンドシップ SENDAI	外国籍住民と日本人が交流を図り、互いに理解を深める場とする。外国籍講師による自国の文化・気候などの紹介と国の調理次週。日本料理の実習	7月5日 ～9月6日	4	78
☆写真よ語れ、かけがえのない絆	写真をパソコンに取り込み、物語として他者に伝える事で、新たなコミュニケーション術を学ぶ。絵コンテ作成・映像作成・発表会	11月17日 ～12月22日	4	56
ボランティア養成講座 —まちなか応援隊—	市民センターが行うイベント事業をサポートする人材の育成。音響・照明・綱引き講習、各イベント支援	5月12日 ～3月9日	15	81
市民企画講座 夜間講座を考えnight	ビジネス街に立地している特性を生かし、日中に働いていても参加できる講座を企画・運営する。「話し合い・講座運営・反省会」	6月6日 ～3月29日	14	81
市民企画講座 2013 春一番町 SPRING SMILE NIGH	市民企画員が提唱する、働く人たちのためリフレッシュ・ストレス解消の場と、仕事以外で自分が選ぶ第3の絆作り(選択縁)を目指す。「新春寄席」「カントリーダンス」「お花見弁当作り・交流会」	1月25日 ～3月15日	3	36
まちなか元気いっぱい プロジェクト—まちなかをもっともっと元気に！	サンモール一番町のアーケードを活用して、地域の団体が参加してイベントを実施することにより、新たな賑わいを創出し、活性化の契機となることを目指す。「路上ライブ」「綱引き in サンモール」	7月1日 10月31日	2	92
第9回ふれあい祭「和気藹々☆一番町」	センター利用サークルの学習成果の発表とセンター事業の紹介と、相互の交流の場。ダンスパーティー・展示・舞台発表・出店・体験 など	3月2日・3日	2	720
青中懇話会	市民センターと地域諸団体との相互理解を深め、課題や情報を共有する場とし、今後の事業展開に生かす。地域内福祉団体と・子育て支援団体との情報交換会、炊き出し訓練	5月29日 ～1月30日	3	27

柏木市民センター

〔沿革〕

当市民センターは昭和 61 年 7 月に旧仙台女子高等学校の校舎を改修し、中央公民館柏木分館として開館した。平成元年の政令指定都市移行とともに、「柏木公民館・市民センター」として独立、そして平成 2 年には名称を「柏木市民センター」とした。その後、施設の老朽化のため平成 7 年 4 月から一時休館して改修工事を行い、平成 10 年 4 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として新たに開館した。施設の特徴としては収納式のステージをもつ多目的ホール、会議室、和室等に加え、広いロビーがあり、地域住民の学習・スポーツ・交流の場として活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★こんなまちに！！柏木の未来「地域元気クラブ 2012」人材育成講座		
参加者	地域づくりに関心のある住民	参加延人数	89人
開催日	全7回 4月22日(日)・28日(土)、5月8日(火)・17日(木)、 6月16日(土)・28日(木)、7月14日(土)		
協力者・協力団体	青葉区中央市民センター、青葉区まちづくり推進課、NPO法人まなびのたねネットワーク、第二中学校、三条中学校、八幡小学校、通町小学校、片平地区まちづくり会、薬師堂手づくり市実行委員会、八幡地区町内連合会		
ねらい	東日本大震災を受けてさらに浮き彫りとなった地域の課題を整理しながら、更に地域への関心を高め、住民自らが解決の方法について考える場を提供する。さらに、昨年学んだ手法を実践するための学び合いを支援すると共に、さらなる地域人材の育成に資する。		
概要・成果	青葉区中央市民センターと共催で実施する3年間継続事業の2年目としてワークショップ形式で実施した。1年目の動機づけ、理念出し、未来デザインと段階的な講座展開により学んだ手法をアクションプランにまとめ、先進事例の視察や講座最終回の学習発表会・交流会を通してネットワークの拡大を図った。さらに、講座終了後には受講生有志による実行委員会が発足し、講座で作成した計画の実践に向け活動を開始している。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おもしろ体験！ 柏木ワンダーランド	こども会との連携による紙飛行機の製作、通町小の理科室を借用しての石けん作りとセンターまつりでの販売体験、移動水族館等の体験型の学習、地域講師を招いての四ツ谷用水かるた大会を行った。	7月28日 8月24日 9月30日 10月10日 11月17日 12月22日 1月26日	7	133
インリーダー研修会	世話人と児童を対象に子ども会活動や世話人の役割についての講話や行事プログラムの作り方の演習、ジュニアリーダーとのレクリエーションゲームなどを行いインリーダーの役割と心得について学んだ。	2月2日	1	47
博学さんぽ ～柏木界隈のツボ～	前半 2 回は北山地域のキリスト教墓地と丘陵を巡り、後半は広瀬川の流れる八幡地域を巡り、地域の特色である北山丘陵と広瀬川を学んだ。	6月27日 7月31日 10月18・25日 11月1・8日	7	67

ようこそ仙台へ ～まざらいん仙台～	転入者を対象にゴミ出しのルールの話やすずめ踊り体験、仙台弁での座談会、まち歩き、郷土料理の調理体験など仙台の魅力や文化を体験しながら交流した。	9月21・28日 10月 5・12・19日	5	53
市民企画講座 「ようこそ仙台へ～ま ざらいん仙台～」 【特別編】	転勤族や東日本大震災で被災し柏木に転居してきた方と地域住民などで仙台弁かるたを使った方言座談会を行った。	10月5日	1	18
スマートエイジングサ ロン～楽しく生きるた めに～	八幡地区社協が実施している小地域福祉ネットワーク「ふれあい、いきいきサロン」への出前講座	6月11・26日 8月3日	3	42
柏梁学院	交通安全・防犯・震災から学ぶ防災・ラジオ体操・支倉遣欧使節行・新聞の読み方・合唱など多岐にわたる講座を開催。運営委員会やクラブ活動にも多くの受講者が参加した。	4月11日 ～3月6日	12	660
柏木の「柿渋レスキ ュー」	近隣の寺院の協力のもと青柿から柿渋液を抽出して染物に、完熟柿から干し柿作り、さらにスイーツ作りへとさまざまに形を変え柿を効果的に利用した。収穫は地域団体や児童館の児童が行い世代間交流も図られた。	8月9・10日 9月13・21日 11月1・2日 2月22日	7	64
くつろぎタイム 2012	ボランティアサークルによる絵本の読み聞かせと通町児童館職員による折り紙体験、ロビーを利用した天体スライドショー、クラシックコンサート、東北大学ブルーグラス同好会によるライブを行った。	10月20日 11月10日 1月20日 2月23日	4	126
国際交流講座～ Happy Bon Dance Festival～	地域在住の外国人と盆踊りや浴衣の着付けを通じて交流を図った。最終日には国際交流盆踊りと称して地域の夏祭りに参加した。	7月28日 8月4・18日	3	59 26
柏木防災 ER	併設されている防災資機材倉庫取り扱い訓練及び防災講話とAED救命講習を行った。	7月21日 8月4日	2	19
新規転入者のための 市民センター企画会 議	平成23年度主催講座「ようこそ仙台へ」の受講者を企画員に転入者の経験や視点から転入者が必要とする情報など企画について話し合った。	6月15 7月11日 10月5日	3	16
第9回「柏木ふれあ い祭り」	ステージ発表、展示発表、体験コーナー等で、住民・センター利用者の交流、世代間の交流をはかった。	9月30日	1	350
柏木市民センター地 域懇談会	八幡地区社協小福祉ネットワークリーダー会での市民センター活動紹介及び柏木市民センターを拠点に活動している自主グループとの懇談	4月25日 3月28日	2	40

北山市民センター

〔沿革〕

昭和 49 年 7 月に北山福祉会館が設置され(所管は仙台社会福祉協議会)、平成元年の政令指定都市移行に伴い「北山市民センター・公民館」となった。平成 2 年には「北山市民センター」と名称を改め、地域の生涯学習の拠点としての機能を果たしてきたが、施設の老朽化に伴う改築後、平成 23 年 1 月に再開した。

地域内には、青葉神社、大崎八幡神社、北山五山などの神社仏閣があり、歴史的・文化的資源や緑に恵まれている。また、東北福祉大学や東北大学国際交流会館の立地により、若者や外国人の居住者が多い。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	歴史講座「仙台藩の埋もれた遺臣たち」		
参加者	成人	参加延人数	196 人
開催日	全2回 4 月 21 日(土)、 10 月 27 日(土)、		
ねらい	北山界限には、神社・仏閣など歴史的資源が多い。それらを保護し継承していく為には、歴史的意義を学習し理解する必要がある。また、当館の講座修了後に結成したボランティアサークルが、地域のガイド活動をしている。 そこで、NPO 法人「マナビサポ20」や、「北山ガイドボランティア」と連携して、市民へ地域の歴史学習の機会を提供すると共に、各団体の支援と連携を図る。		
概要・成果	【概要】 平成23年度より開催の継続講座。4月は「北山・光明寺の墓碑から探る」、10月は「北山・覚範寺の墓碑から探る」と題し、ガイドボランティアが収集した学習成果を発表すると共に、まとめた資料を配布した。 【成果】 2講座共 100 名を越える応募があり、受講者の約7割が男性で、参加者の関心の高さが伺えた。また、講座終了後に当館を拠点に活動する音楽サークル(オカリナ・ハーモニカ)のミニ演奏会や、希望者にはガイドボランティアによる現地学習(光明寺・覚範寺)もスケジュールに組み入れ、地域ぐるみで北山の魅力を発信することができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子供会を活性化するための研修や実技の学習を行った。	2 月 2 日	1	47
ジュニアリーダーと遊ぼう	北山納涼祭における創作おぼけやしきの企画・運営を行った。	9 月 2 日	1	156
北山納涼祭ーおぼけの館ー	「おぼけやしき」をテーマに遊びを通して子ども同士や親子の交流を深めた。	9 月 2 日	1	156
スマートエイジングサロン	社会福祉協議会が実施しているサロン活動へ柏木市民センターと協働して出前講座を実施した。	通年	3	42
まめで達者でいきいきと	地域包括支援センターと連携し、介護保険制度や健康体操、認知症予防等について学び、高齢者の介護予防の一助とした。	通年	4	28

《青葉区》

北山シルバースクール	音楽・文学・演劇に関する講座を開催し、これらの学習を通じて高齢者の仲間作りや交流を図った。	通年	10	279
きたやま JOYFUL★ライヴ	音楽やトークショー、踊りなど地域住民が気軽に集い一緒に鑑賞できる催しを行い、交流と親睦を図った。	通年	7	196
★北山地区合同防災訓練	先の震災を踏まえて各町内会で参加している防災訓練に関わり災害対応力の強化を図った。	11月4日	1	250
国際交流講座	地域に居住する外国人へ日本文化に触れる機会を提供し文化の輪を広げるとともに地域コミュニティの活性化につなげた。	7月28日 8月4・18日	3	26
北山 BookFestival 2012	図書室開設 1 周年に合わせ、図書ボランティアと協力して、読み聞かせ会や講演会などのイベントを行った。	11月 7・10・14日	3	39
朗読ボランティア養成講座	朗読を学ぶことで図書についての理解を深め、それをボランティア活動につなげることで学んだ成果を社会へ還元する喜びを体験し、継続的な学習へと導いた。	5月23日 ～8月27日	9	72
アイラブきたやま情報ステーション	若者の視点や感性で捉えた北山の地域像を発信して地域交流・活性化の一助とした。	通年	5	25
市民企画 おばけやしきをつくろう	大学と子供会と一緒に企画・運営を行うことで、異世代の交流機会の提供と、地域団体のネットワーク作りにつなげた。	7月13日 ～9月2日	7	56
北山交流まつり	利用サークルや地域住民の活動成果を発表する場を提供して参加者と地域住民間の交流と親睦を図った。	10月14日	1	500
館長と語ろう	地域の書団体等からの情報・意見・要望を得て今後のセンター運営に役立てた。	8月5日 9月28日	2	24

福沢市民センター

〔沿革〕

昭和 59 年 6 月 9 日、コミュニティ防災センターを併設し「福沢公民館」として開館。平成 2 年 4 月に「仙台市福沢市民センター」と名称を改めた。平成 20 年 6 月より大規模改修工事を行い平成 21 年 1 月 14 日に再開した。

当市民センターの地域内は、東照宮の門前町として栄えた宮町を中心として昔の雰囲気は今にとどめており、下町情緒に溢れた古い歴史の地域になっている。反面、仙台市中心部からも近く、マンションも建ち並び新旧住民が混在した地域でもあり、ここ数年対象地域の総人口は増加に転じている。このような中で、地域の交流の場として多くの人々に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★ダンボール有効活用講座「捨てる紙あれば拾う神あり～段ボールで作る絵馬～」		
参加者	仙台市立北六番丁小学校全児童	参加延人数	882人
開催日	全 9 回 5 月 15 日(火)・18 日(金)、7 月 5 日(木)・6 日(金)・12 日(木)、 7 月 13 日(金)午前・午後、7 月 19 日(木)、10 月 26 日(金)		
協力者・協力団体	仙台東照宮地域ボランティア		
ねらい	資源ゴミのダンボールを再活用する方法として、学校の授業で絵馬の作成を学ぶ。また、その絵馬は東日本大震災の復興を願った絵馬とし、それを学校や市民センター等で展示することで復興への願いとエコ活動を地域に発信する。		
概要・成果	絵馬の成り立ちやその意味、更に高学年はカッターの正しい使い方を実地で学んでから実際の工作へ進んでいったため、スムーズに作業ができた。また、高学年が低学年のために作業の下準備をするなど、良い関係も見られた。出来上がった絵馬は地域の東照宮で祈祷後、センターまつりに展示し、多くの来館者に観て頂き、お褒めの言葉もたくさん頂戴し、子どもたちにも励みとなった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママの寺子屋	未就園児親子による、親子ビクス、初めての靴について、子どものおやつ、手作りおもちゃ、絵画作品のセンターまつり参加、親子3B 体操等。	6 月 28 日 7 月 26 日 9 月 27 日 10 月 25 日、 11 月 22 日、 12 月 13 日	6	109
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童向けに「活動プログラム作り」「危険予知トレーニング」、世話人向けに「世話人の役割」の講話と情報交換、全体で「ゲーム・レクリエーションの進め方」の実技を実施。	2 月 16 日	1	54
子どもの自由空間「ひまわり」	夏休み期間中、和室を小中高生に開放した。宿題を持ち寄ってお互いに教えあったり、将棋やオセロゲーム・けん玉や、折り紙・アートバルーンの工作等を楽しんだ。	7 月 24 日 ～11 月 11 日	18	197

《青葉区》

教科書に載らなかった宮町秘話	市民企画会「盛り上げ隊」で企画した講座。宮町、東照宮についての講話と現地見聞、座談会を行う。その後、成果物作成のための話し合いを実施。	9月14日 ～3月29日	12	86
福沢シニア大学	健康講話からハワイアン＆フラダンス、館外学習、シニア向けエクササイズやソプラノ鑑賞、また、運営委員自主企画の落語会や新年会を実施。	4月19日 ～3月7日	12	662
★震災がれきについて正しく知ろう！	社会学級共催事業企画会で企画した講座。「震災がれき」についての講話、震災時被災地へ慰問を行った団体の和太鼓の演奏を聴いた。	12月7日	1	25
ボランティア活動支援講座「剪定を学ぼう」	剪定鋏の使い方と剪定での留意事項の講義。当センターの樹木(サツキ・もみじ)で剪定実技の実施。	4月26日 5月24日 10月23日	3	49
青春サポーター養成講座	子どもの自由空間「ひまわり」の地域サポーター養成。のびすく泉見学や、子供相談支援センター主査の講話。	8月24・31日 9月7日	3	17
市民企画講座「宮町盛り上げ隊」企画会	宮町を盛り上げるための話し合いを行い、成果物を作成することになり、そのために必要な宮町・東照宮について学ぶ講座を企画した。	6月19日 7月3・12日 8月21日	4	14
わたしたちコミスク企画検討会	子どもの自由空間「ひまわり」開催に向け、運営方法等についての話し合い	6月26日 12月20日	2	21
★社会学級共催事業企画会	3 社会学級と地域活性化に向けた話し合いを持ち、災害についての講座を企画した。	7月27日 9月6日 1月24日	3	13
福沢市民センターまつり	市民センター利用団体、近隣の小中学校、幼稚園・保育園などの展示、舞台発表や出店の他に、子ども向けの昔あそびや本のリサイクルなどお楽しみコーナーを開設し地域交流を図った。	11月11日	1	968
福沢懇談会	平成24年度福沢市民センター事業の概要説明と意見要望の収集。講座「ぼくらの学園」展開についての意見交換	5月26日	1	19

旭ヶ丘市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、地下鉄南北線建設事業の一環として昭和 60 年 6 月に開館した。地下鉄・バスの利便性が非常に良い立地にあり、また近隣は青年文化センター等の学術文化ゾーンとなっている。さらに西側には市民から親しまれている台原森林公園が広がり自然環境にも恵まれている。年間利用者が 10 万人を超えていることを踏まえ市内全域を視野に入れ、現代社会における課題に取り組み、地域資源・人材を活用した事業展開を推進し多様なニーズに対応する生涯学習の場を提供するとともに、新たな地域コミュニティの基盤としての役割を担っていききたい。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	元気な旭ヶ丘キッズ「響け、ドンドコ太鼓塾」		
参加者	小学生	参加延人数	58人
開催日	全5回 6月30日(土)、7月14日(土)、8月26日(日)、9月22日(土)、10月14日(日)		
協力者・協力団体	旭丘小学校		
ねらい	かつて旭丘小学校で児童がたたいていた森林太鼓を是非復活して欲しいという地域の要請を受け、小学校にある太鼓を活用し体育館を練習場所として、地域の文化財である森林太鼓を継承し、地域活性化に繋げる。		
概要・成果	地域の要望を受けて復活した森林太鼓だったが、是非太鼓をたたいてみたいという児童が予想より多く、太鼓を復活した意義は大きかった。また、暑い日も休まず講座に参加し、熱心に太鼓の練習した成果を地域のお祭りや市民センターまつりで発表できたことは、参加した子供たちの励みになり地域活性化に繋げることができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会についての知識や活動に必要な技能を学び子ども会の充実と活性化を図った。	2月2日	1	77
台原森林公園活用講座	地域の貴重な資源である森林公園を活用した講座を開催したことで、地域の良さの再発見や、参加者の交流に繋がった。	10月4・25日 11月8日	3	34
～デジカメアーカイブ～ ～ ブラ写森林	地域の貴重な資源である森林公園や旭ヶ丘の地域の未来に伝えたい、残しておきたい景色をデジカメで記録を残し、ロビー展示や他館との合同展示などで発表した。	6月7日 ～12月16日	4	31
仙台フィルハーモニー管弦楽団共催事業	仙台フィルハーモニー管弦楽団との話し合いにより、復興支援コンサートを開催した。	2月28日	1	48
旭ヶ丘老壮大学	高齢者が幅広い知識を自主的に学習し、豊かな充実した人生を送るために年間を通して学習の場を提供した。	4月27日 ～3月1日	12	1,205
市民センターがやってくる！	センターまで出向けない人のために地域内にある集会所、憩の家、コミュニティセンターなどを利用して出前講座を開催した。	7月5日 9月13日 11月15・21日 3月8日	5	199

みんなで楽しむマジック&森林太鼓	旭丘小社会学級との共催で、大学生によるマジックと小学生の太鼓を通して世代間交流を促し、地域の絆を深める一助となった。	11月10日	1	120
人生を豊かにする感性の磨き方	台原中学校を会場にイラストレーターの松坂有二氏に半生をふりかえり、未来ある中学生や保護者により豊かな生き方の講演をしていただいた。	10月24日	1	628
子育て応援講座「ママのハッピータイム」	親子で楽しむ「ワクワクおもちゃばこ」や託児付で「MYフォト作り」を行った。育児ストレスの発散や参加者同士の交流を図った。地域のネットワークでの託児も好評だった。	10月31日 12月4日	2	68
旭ヶ丘お父さん塾	「ビジネスに役立つ講座」やセンターまつりでの「女川町復興支援ブース」の開催、「仙台の町割りをひもとく」などの講座を通して世代を超えた交流と地域活性化を図った。	6月9日 10月14日 3月30日	3	557
★災害に強いまちづくり企画会議	町内会と共催で、東日本大震災を体験し「問題だったこと」「不安に思ったこと」等を洗い出し、問題・課題克服のための手段検討を行い、マニュアル作成に繋げた。	5月1日 ～3月14日	11	105
ほたるの里サポーター育成講座	台原森林公園にある“ほたるの里”。次世代につなげていくためには担い手が必要となっており、地域の要望に応じてサポーターを育成する講座を開き、ほたるの里の支援と地域活性化に繋げた。	5月12日 ～3月23日	13	62
市民企画講座「おもしろいね！お父さんの企画講座」	いつもは市民センターに足を運んでももらえないお父さん世代の目線で事業を企画してもらうことにより、地域コミュニティの活性化に繋げた。	4月8日 ～3月30日	22	75
社会学級共催企画会議	旭丘小学校社会学級と共催し、事業を企画運営し、地域コミュニティの活性化に繋げることができた。	5月30日 ～12月19日	7	42
台原中学校 PTA 共催事業 会議	仙台市すこやか子育てプランを踏まえ、学校・PTA・旭ヶ丘・三本松市民センターの四者で青少年が健全に育つ環境づくりに向けて、よりよい事業を展開するための話し合いが持たれた。	6月20日 7月18日 9月5日 10月17・24日 12月5日	6	109
旭ヶ丘センターまつり	地域住民の文化活動の啓発と地域文化の発展向上を目指すとともに利用団体との地域向上が図られた。	10月13・14日	2	3,601
★旭ヶ丘地域における東日本大震災の記録編集	旭ヶ丘地域懇話会での提案をもとに、東日本大震災による旭ヶ丘地域の被災状況及びその対応状況について後世へ伝え将来の旭ヶ丘地域の防災に資するため記録集の作成を継続中である。	3月14・23日	2	17
旭ヶ丘地域懇話会	地域課題やニーズ、地域資源、地域情報を懇話会の意見交流を通して収集知ることができた。事業に反映することで地域活性化が図られた。	6月29日 11月24日	2	27

三本松市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、北仙台駅から近く、閑静な住宅街である堤町の中に位置し、西側には野鳥や山野草に恵まれた三本松緑地公園が隣接している。堤町は、現在は窯の火は消えたが、古くから「堤焼き」と「堤人形」の町として知られた歴史のある地域である。

当市民センターは、昭和 62 年 4 月 1 日、泉ヶ岳を眺望できる高台に建設された。駐車場(40 台)、舞台付で約 50 畳の和室と広い体育館(バスケットボールコート 1 面、バレーボールコート 2 面、卓球台 12 台)があり、地域住民の生涯学習の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	3 on 3 バスケットボール大会 in 三本松		
参加者	高校生以上、1 チーム 3～5 名で構成	参加延人数	87 人
開催日	全 1 回 11 月 18 日(日)		
ねらい	三本松市民センターの体育館は、バスケットボールをオールコートでプレイすることができ、平日の夜間や、土日の個人使用日には、遠方から足を運ぶ利用者も多い。ストリートバスケットボールを通じて利用者間の交流を図り、更なる技術向上の一助とする。		
概要・成果	市民センターに若い世代が集う貴重な機会であり、参加者の日頃の成果が存分に発揮できる場でもある。毎年楽しみにしているリピーターも多く、参加者自らが運営方法の改善を提案するなど、講座に自主的に関わる環境づくりが進められている。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て支援講座～親子でいっしょにリフレッシュ！	子育て中の親子が市民センターに集い、今後の子育てが明るく前向きになるよう支援。親子体操や、おやつ作りなど	9 月 20・27 日 10 月 4 日 12 月 6 日	4	173
市民企画講座～育て！松っこ悠遊ひろば	バルーンアート、昔遊び、クリスマスリースづくり、餅つき・団子さし、おめん作り	11 月 1・29 日 12 月 20 日 1 月 12・31 日	5	115
インリーダー研修会	子ども会活動に必要な知識・技術を学ぶ。レクリエーション・ゲームの進め方、行事プログラムの立て方など	2 月 2 日	1	77
三本松老壮大学	地元学講座、文学館講師による文学講座、健康管理講話とワークショップ、地域中学校でのスピーチコンテスト見学・参加、公開講座によるコンサートなど	5 月 9 日 ～3 月 6 日	10	670
北仙台セミナー	寺の歴史・座禅体験、地質散策・科学実験、堤町の歴史、仙台鉄道の歴史、堤焼登り窯見学・修復再生、伊達家歴代藩主についての講話など	7 月 25 日 8 月 8 日 9 月 15 日 10 月 2・24 日 11 月 22 日	6	125
天体観察会～見上げてごらん三本松の星空	移動天文台や天文ボランティアによる天体観察	11 月 16・30 日	2	102

《青葉区》

土曜の午後のコンサート	ロックギタリスト、ピアノデュオ、キーボード奏者によるロビーコンサート、防災資機材倉庫見学、ワンポイント防災セミナーなど	6月23日 9月29日 12月15日	3	148
三本松まなびあいっこ	地域講師やサークル団体からの講師によるヨガ・クラフト工作・落葉の堆肥づくり・新年リースづくりなど	6月15日 7月12日 8月2日 12月5・21日	5	49
三本松寺子屋	緑のカーテン作り・効果測定、昆虫採集・標本作り、科学館探検、フナの解剖、堤人形絵付けなどの体験学習	6月9日 ～12月8日	9	123
講演会「人生を豊かにする感性の磨き方」	台原中学校出身の芸術家による講演会、映写によるオリジナルアート作品の紹介	10月24日	1	628
緑のまちづくり講座	庭木の整枝剪定、剪定のタイミング、道具の使い方と手入れの仕方、住環境を考慮した剪定方法、松の剪定方法とコツ	9月21・28日 10月12日	3	19
図書まつり	図書のリサイクルコーナー、公募川柳の展示、人形劇・紙芝居・読み聞かせの実施、図書の貸し出しなど	6月13～17日 10月21日	6	353
図書ボランティアフォローアップ講座	図書室のレイアウト、本の分類、破損本の修理方法、読み聞かせの意義と手法について	11月21日 12月20日 1月16日	3	28
市民企画会議「くらし悠遊塾を企画しよう」	子育て中の方が企画員となり、親子参加型の事業実施に向けた企画会議を実施	6月7日 ～1月31日	10	47
台原中学校 PTA 共催事業企画会議	台原中学校・台原中学校 PTA 交流委員・旭ヶ丘市民センターと連携し、中学生の学びとなる事業実施に向けた企画会議、反省会を実施	6月20日 7月18日 9月5日 10月17・24日 12月5日	6	109
三本松市民センターまつり	地域のサークル・小中学校等の舞台発表と作品展示。骨密度測定・茶席・食事処・ジュニアリーダー等の各種コーナー	10月21日	1	650
地域懇話会	地域住民との地域課題・資源の情報交換、地域課題解決に向けた話し合い。	10月27日 2月22日	2	11

片平市民センター

〔沿革〕

片平市民センターは平成元年、児童館とコミュニティ防災センターを併設して、東北大学農学研究所跡地に開館した。市内中心部に位置し、交通が便利なことから町内会など地域の団体ばかりでなく、全市的な市民活動の場として盛んに利用されている。

また市民センターが立地する地区は、市街地にありながら広瀬川がつくりだす独特な地形や、仙台城や経ヶ峯の豊かな自然に囲まれたところである。さらには歴史的な資源に恵まれ、大学の研究機関などが隣接する。

こういった地域の資源を活かした生涯学習プログラムの提供や、市民の自主的な活動の支援、併設する児童館との共催事業の提供を通して、地域に貢献している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	広瀬川ガイドボランティア養成講座		
参加者	成人	参加延人数	68 名
開催日	全 5 回 11 月 17 日(土)、12 月 1 日(土)、3 月 2 日(土)・9 日(土)・16 日(土)		
ねらい	これまでの講座で養成した地域の人的資源や、作成した歴史資料、片平ウォーキングマップなどを有効に活用する。また、地域人材からガイドボランティアを養成することで片平地域全体の活性化につなげる。		
概要・成果	平成 25 年 4 月～6 月に実施される仙台宮城 DC キャンペーンの一環として観光客や仙台市民を対象に広瀬川を中心としたまち歩きを実施するためのボランティアを養成した。キャンペーン終了後もボランティアに活躍の場を提供することで、活動が継続される。また、地域資源の有効活用やボランティアのスキルアップも期待でき、片平地域全体の活性化につながる。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
それぞれの親業入門～幼児期から思春期まで	乳幼児から中学生までの子を持つ親が、専門家の講話を聴講。そのことにより、家庭内の教育力の向上と、家庭環境の充実を図った。	6 月 19 日 12 月 8 日	3	70
ハッピーママの気晴らしカフェ	地域で孤立しがちな幼児親子を対象に、アロマテラピー、ハンドマッサージやベリーダンス、親子ピクスを行い、親同士の交流と情報交換の場の提供	6 月 25 日 9 月 25 日 11 月 8 日 12 月 6 日 2 月 13・20 日	6	283
かたひらキッズクラブ	学校の授業では学ぶことが出来ない体験や見学の機会を提供。科学実験・コンサート・そうめん流し&花火鑑賞・奥新川ハイキング・地下鉄東西線見学・動物園探検・工作体験など。	5 月 19 日 6 月 16 日 7 月 1 日 8 月 5 日 10 月 27 日 11 月 22 日 12 月 26 日 2 月 9 日	8	221
はじめの一步・夢に向かって	五橋中学校特別選択授業への出前講座、および高校生対象の就職支援講座の開催。	12 月 8・11・12 日	3	142

気軽にガーデニング	地域住民を対象に市民センターの花壇づくりや野菜や花の寄せ植え講座を開催し、ガーデニングサポーターの養成に繋がった。	5月25日 6月1・15日 10月30日 11月13・27日	6	55
地域再発見！ 片平の風景を記録する	片平地区にある、瑞鳳殿、緑水庵、広瀬川などの撮影をし、成果物を waiwai 広場に展示をした。参加者間での交流が進みサークル化へ繋がった。	6月6日 7月4日 8月1日 9月5日 10月3・13日	6	79
かたひらレディース サロン	空き瓶やエコバッグのリメイク、食物酵素やリンパマッサージの働き、正しいラジオ体操、整理収納術など時代に即した情報と学びを提供した。	5月31日 7月25日 9月26日 12月1日 1月25日 3月9日	7	132
片平メンズ専科	定年退職世代の男性を対象に、イタリアン、中華、そば打ち等の調理を通じて交流の場を提供した。	12月14日 1月18日 2月8日 3月1日	4	44
片平シニア隣経大学	地域の高齢者を対象に歴史講話や館外学習などを通して、仲間づくりと生きがいを持ち豊かな日常が送ることが出来るよう支援した。	5月17日 ～2月21日	10	500
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図る機会の提供 講話と実践	1月26日	1	41
インドネシアを楽しもう！「ナシゴレンとア ンクルン演奏」	インドネシア留学生と企画会議を経てインドネシアを理解する講座を実施。伝統的な料理・楽器の紹介体験等を通じて交流を図った。	3月23日	1	37
★片平地区みんなで ワイワイ街づくり・絆 づくり(地域の絆づく り推進事業)	片平地区の災害時対応への研修会、防災訓練を実施した。片平地区震災防災対応シンポジウム・マンション防災研修会・片平地区防災訓練等	10月13・20日 11月23日	3	350
国際交流事業企画会 議	地域で孤立しがちな外国人を対象に、国際交流が育まれる講座を企画した。	12月15・26日 1月16日 2月6日 3月16・23日	6	30
片平地区まちづくり 共生講座による企画 「かたひら夏祭り お 化け屋敷・紙相撲大 会」	「かたひら夏祭り」のメインイベントとして、おばけ屋敷、紙相撲大会を開催し、参加・運営を通して地域内のコミュニティの活性化を図った。	8月18日	1	336
音楽で元気をとどけ よう！	センター利用の音楽サークルに発表の場を提供し、地域住民が市民センターに気軽に集い、交流を図る機会を提供。8合唱サークルとコンサートを開催した。	1月19日	1	210
かたひら waiwai 広場	片平丁小、五橋中、県工、地域の合唱サークルによる舞台発表、子ども対象の遊びのコーナー、絵画サークルや講座受講生の展示などを実施した。	10月13日	1	820
片平市民センター懇 話会	地域内町内会、学校、諸団体による参加者との意見交換を通して情報の共有と地域課題を把握	2月28日	1	20

水の森市民センター

〔沿革〕

当センターは、広く市民の憩いの場として親しまれている自然豊かな水の森公園の水の森入口に立地している。管内は昭和30年代半ばから宅地開発が進んだ水の森、東勝山、桜ヶ丘、川平等の閑静な住宅地を擁する地域である。当センターは、児童館・温水プール・コミュニティ防災センターを併設する複合施設として平成2年9月にオープンした。斬新な外観の施設は地域のランドマークとして親しまれ、一年を通して多くの利用者が訪れる。2階の広いメインホールは、地域住民の情報交換や憩いの場として高齢者から幼児まで常に賑わいをみせている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★水の森防災学校		
参加者	北仙台地区及び一般募集参加者	参加延人数	232人
開催日	全4回 6月23日(土)、8月26日(土)、11月11日(日)、3月2日(土)		
協力者・協力団体	北仙台地域防災ネットワーク会議、北仙台地区連合町内会		
ねらい	東日本大震災の経験を踏まえ、「自分達の町は自分達で守ろう」をスローガンに、北仙台地区の各団体や住民を対象として、防災に関する研修会や情報交換会を積極的に実施し、災害に強い地域づくりを目指すとともに、更に地域住民の防災に対する協力体制の向上を図る。		
概要・成果	北仙台地域防災ネットワーク会議と連携して、①町内会防災担当者向け防災講座、②避難所運営ゲーム HUG、③指定避難所開設・運営演習、④避難所開設運営マニュアル説明会の全4回の講座を、市民センターを会場に開催した。町内会の会長、防災担当者を中心に延べ232人の参加を得た。特に、初の取り組みである③の指定避難所開設・運営演習では中学生30人を含め99人の参加を得た。指定避難所の開設から運営、閉鎖までの一連の流れを演習体験したことにより、避難所運営の具体的なイメージを参加者全体で共有することができた。防災に関する研修や情報交換を重ねる中で、防災力向上には地域の協力体制が不可欠であることを伝えることができた。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
笑顔のママって大好き	①子育てに役立つ行動学入門 ②ハワイアンリボンレイを作しましょう。 ③親子でフラを踊りましょう。④軍手人形を作って読み聞かせを楽しみましょう。	9月7・14・21・28日	4	127
水の森キッズエコクラブ	①緑のカーテン作りト植え付けの学習 ②緑のカーテン完成後の測定と調理実習 ③自然環境ややさしいエコについて学習	6月16日 8月19日 9月15日	3	23
インリーダー研修会	子ども会児童向け講話「インリーダーとは」「〇〇会を企画しよう・出来上がったものを発表しよう」 子ども会世話人向け講話「子ども会活動について」・情報交換 全体でレクリエーションゲーム等	1月26日	1	38

水の森老壮学園	①開講式・講話「正しく知ろう認知症」②みんなで3B 体操③落語鑑賞会④元気いきいき食事学⑤班会議⑥ポッチャゲーム大会⑦まつりでの演芸発表会⑧歴史講座⑨映画鑑賞会⑩マンドリンコンサート⑪閉講式・講話「東北方言の力」	4月19日 ～2月21日	11	793
ホットタイムコンサート 2012	社会学級と合同企画・運営のロビーコンサート	11月21日	1	140
あそんでまなぶ・世界の国	仙台国際センター・国際交流プログラムを活用し、外国出身の講師からその国の文化・暮らし等の話を聞き、異文化について学習	8月9日	1	20
★地域と防災	荒巻地域を対象に出前講座“減災塾”を開催 基調講話「自分のまちは自分達で守ろう」 避難所運営ゲーム「HUG」等	2月23日	1	43
中学生・高校生企画「みんなのひろば」	①②③企画会議 ④地域まつりで「みんなのひろば」開催・反省会	7月15日 9月16日 10月14・20日	4	60
市民企画委員会	①②企画会議 ③～⑪講座実施「まち歩き 地域の魅力再発見マップ！」実施 ⑫反省会	4月27日 ～2月27日	12	30
まち歩き 地域の魅力再発見マップ！	①顔合わせ・説明会 ②～⑤水の森地域のフィールドワーク情報収集 ⑥～⑪マップ作り検討会とマップ作製 ⑫・反省会と今後の活動について	8月28日 ～2月27日	10	70
★水の森防災学校企画会議	水の森防災学校講座全4回企画実施。今年度の振り返りと次年度事業計画。	5月19日 ～3月9日	13	83
社会学級との事業企画検討会	①②③④企画検討会 ⑤反省会	6月22日 7月3・27日 11月2・21日	5	7
水の森市民センター地域まつり	作品展示(各サークル・荒小・北小・桜小・個人)、北小吹奏楽、児童館ミズチルおどり隊、舞台発表、老壮演芸発表、住まいのメンテナンス実演、チャリティバザー、軽食喫茶、お茶席、物産即売会等	10月20・21日	2	2,830
水の森懇話会	①地域まつりに参加している利用団体代表と施設について・児童館について等の懇話会 ②地域内の施設・町内会・各種団体の代表と「元気な地域づくりと地域施設の役割」について意見交換	11月9日 2月16日	2	43

貝ヶ森市民センター

〔沿革〕

“貝”をモチーフにしたデザインが館内随所に配された当市民センターは、平成5年4月に児童館を併設して開館した。閑静な住宅街の中にあつて、その瀟洒な建物は隣接する貝ヶ森中央公園とともに地域のシンボルとして親しまれている。

また、風光明媚な貝ヶ森地区は自然の風物に富み、さらに高等教育機関や文化施設などにも恵まれており、国際交流の盛んな場所でもある。

当市民センターは、可動式の舞台を持つ多目的ホール、会議室、調理台付き小会議室、水屋付き和室等があり、地域住民の学習・スポーツの場として、また、憩いの場として活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	仙山線沿線まちめぐり		
参加者	成人	参加延人数	70 人
開催日	全4回 5 月 11 日(金)、5 月 18 日(金)、5 月 25 日(金)、6 月 1 日(金)		
協力者・協力団体	北山ガイドボランティア		
ねらい	近年、JR 仙山線「東北福祉大前駅」ができたことで、貝ヶ森地区はとても便利になり、このことは地域のまちづくりに大きな影響を及ぼしている。そこで、仙山線沿線の地域を歩き、まちの歴史や発展について学ぶことで、地域への理解を深め関心を高める。		
概要・成果	1 回目の講話で、仙台と山形の人・物の動きについて学んだ後、2 回目以降は実際に仙山線沿線を歩き神社や寺、歴史的人物の墓などを見学した。各回とも仙山線を軸としながらそれぞれの地域の特色を学習できた。学習後も受講生が各自でさらに地域への理解を高める学習の継続を期待できることから、目的を達成できたと思われる。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子で健康づくり	親子の健康づくりと親同士の交流を促進することを目的に、3B体操の実技と情報交換会を行った。	1 月 30 日 2 月 6・13 日	3	113
インリーダー研修会	子ども会の活性化を目的に、次年度世話人とインリーダーを対象にした講話と実技(レクゲームなどの講習)を行った。	2 月 23 日	1	93
木工広場	手先を動かして工作をする機会の少ない子どもたちのために保護者や地域住民が参加していっしょに木工作品を完成させた。	10 月 13 日	2	32
食で健康！簡単男の料理教室	国見地域包括支援センター・介護予防推進室とも連携し、料理を通して健康づくりと、男性の仲間づくりを目的に、基本の家庭料理を中心に調理実習を行った。また、自主サークルも立ち上がった。	12 月 7・14・21 日 1 月 11・18 日	5	68

貝ヶ森シニア学園	地域の高齢者の生きがいがづくり・音楽・文学・健康づくりと多様な学習内容で行った。企画委員による自主企画講座での館外学習など意欲的な取組みができた。	4月25日 ～3月13日	10	452
貝ヶ森サロンコンサート	気軽に市民センターを訪れてもらうことを目的に、コンサートを開催。1回目は地域団体とセンター利用サークル、2回目は三味線とマリンバの演奏で夜間開催した。	6月17日 3月2日	2	160
豆まき会	地域住民の世代間交流を目的に、住民の協力のもと、和太鼓演奏を聞き、昔遊び、豆まきなどを行い、節分という伝統行事を体験した。	1月26日	1	86
まるごと仁田谷地 自然観察会	国見にある仁田谷地の自然観察を6回にわたって行った。森の成り立ち、鳥の鳴き声の聞き分け方、樹木等植物の観察の仕方、昆虫の生態等について学び、最終回には自然観察会についてまとめを行った。	5月16日 6月16日 7月14日 8月11日 9月15日 10月20日	6	76
いっしょに出はっぺ！ おらほの街	地域の新旧住民が町の変遷について知り、ふるさとの言葉仙台弁を学ぶことで子どもたちに残したいふるさと、地域について再考した。	10月5・12日 11月9日	3	57
貝ヶ森子ども映画祭	町内会や福祉団体などで構成される実行委員会と連携し、思い出に残るような行事を企画。子どもたちのための映画上映と遊びのコーナーを設けた。	9月8日	1	203
みんなで作ろう 貝ヶ森シンボル花壇	ボランティアのメンバーが、貝ヶ森入口にある植栽地帯に、土と肥料を入れ、花壇としての体裁を整えた。仙台市の助成制度を利用して植栽を行い、花苗や球根も植え、次年度以降にボランティアサークル活動として繋がった。	4月19日 ～3月14日	14	135
市民企画会議 緑の 会議	地域の自然の情報を発信するための方法について企画会議で話し合った。次年度マップを作成することを決め、どんなマップを作り発信していくかについて話し合った。	5月9日 9月6日 11月30日 3月1日	4	25
★貝ヶ森地区 防災 情報発信講座	災害に強いまちづくりを目的に、災害時に必要な情報を地域住民とともに取りまとめ、情報を発信した。	7月27日 9月19日 10月27日 11月15日 12月15日	5	40
安心な街づくり減らそう 自転車事故	第一中学校の生徒と、自転車シュミレーターを使った交通安全教室を実施。福聚幼稚園の園児と交通安全教室を、交通安全課と交通教室の指導の仕方を学習した。	10月2・3日	3	846
社会学級による講座 企画会	貝ヶ森・国見・八幡社会学級生が一堂に会して、地域の特性・問題点を探り、地域活性化を目指す事業を企画・実施するための会議を行った。	5月17日 6月8日 8月3日 11月9日	4	12
貝ヶ森地区文化祭	貝ヶ森地区の住民、及び当市民センター利用者による作品展示・ステージ発表、お茶席、出店等の催しを実施した。	11月3・4日	2	2,025
地域懇話会	地域の現状や課題の把握と、地域人材の発掘により今後の事業運営に役立てることを目的に、地域諸団体や利用者と情報交換・意見交換を行った。	9月29日 3月9日	2	17

中山市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、旧中山コミュニティセンターを増改築し、平成 7 年 4 月に児童館を併設して開館した。中山地区でも国見ヶ丘地区に近い閑静な住宅地に位置し、月急山公園に隣接して自然環境に恵まれている。

中山・川平地区は、戸建て・集合住宅のほか、近年は大型マンションが増え、新しい町並みを形成している。旧中山街道の長い坂道には、商店が建ち並び、月に一度「街道市」を開催するなど、活気がある。また、近くに「せんだんの杜」、「せんだんの里」等の介護や福祉関係の施設があり、福祉に関する住民意識と学習意欲の高い地域である。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	みんな集まれ！わんぱく広場		
参加者	小学生・小学生親子	参加延人数	295 人
開催日	全4回 7 月 14 日(土)、10 月 10 日(水)、12 月 8 日(土)、1 月 12 日(土)		
協力者・協力団体	川平小学校、川平マイスクール児童館、中山児童館、明成高等学校、NPO 法人エーキューブ 中山社会福祉協議会、中山西寿会、中山赤十字奉仕団		
ねらい	夏休みなどの長期休暇や、土日に小学生や親子が気軽に参加できる、体験型の事業を展開し、地域の方々も交え、世代間交流を深める。また、地域の人材や資源を活用することで、地域の活性化に繋げるとともに、ジュニアリーダーの協力も得て、彼らの育成の場とする。		
概要・成果	主に小学生親子を対象に、ふだん家庭ではなかなか体験出来ないことに取り組んだ。「ジュニアリーダーによる工作」や「動物ふれあい」「小正月飾り」など、センターならではの工夫と内容検討を行い実施した。地域団体や学校と連携することで、世代間交流および地域住民とのふれあいにつながり、子どもたちへの健全育成に対する住民意識も高まった。また、ジュニアリーダーの活動を広く知ってもらう機会ともなった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
かわだいらお楽しみ劇場	川平地区の未就園親子を対象に、「人形劇グループひなたぼっこ」による人形劇、パネルシアターを実施した。	6 月 22 日	1	56
インリーダー研修会	中山市民センター管轄の中山・川平地区と、貝ヶ森市民センター管轄の貝ヶ森・国見地区で、次年度最上級生になる 5 年生とその親を対象に、望ましい子ども会の運営方法や行事の持ち方などについて学習した。	2 月 23 日	1	93
昔あそびを楽しもう	小学生が日常経験する機会の少ない「昔あそび」を地域のボランティアから学ぶ中で、広い世代との交流が図られ、同時にボランティア相互の交流も図られた。さらに小学校から離れた場所にある市民センターを知ってもらう機会となった。	2 月 1 日	1	110

中山銀鈴倶楽部	地域に住む高齢者対象に、音楽、歴史、健康、館外学習、調理実習など様々なジャンルの講座を提供したことで、高齢者同士の交流が図られた。また、生きがいがづくりの場としての役割も果たした。	5月11日 ～2月8日	9	315
中山元気作り教室	住み慣れた地域で安心し自立した生活が続けられるように、介護予防について講話と体操の両面から学び高齢者を支援した。家庭でも簡単に取り入れられる体操や栄養改善の講話等を通して、高齢者の生活向上と健康増進を図った。	6月～7月	8	192
ノルディックウォーキングスキルアップ講座	基礎的な身体作りを考え、フォームの確認、有酸素運動、筋トレ、ストレッチ、雨天時の活動法などを学び、介護予防推進のための基礎的な技術の向上を図った。	10月17・24日 11月14日	3	56
パソコン入門講座	地域活動団体の担い手の育成・支援および地域で活動するサークルのメンバーを対象に文書作成ソフトや表計算ソフトを使い、お知らせ文書等の作成を学習。地域の高校生をサポートに依頼し、世代間交流も図られた。	11月3・4日	4	60
★人にやさしい防災講座	災害時、市民センター等へ要援護高齢者等障害を持つ人々が避難した際を想定し、東日本大震災を体験した障害者の体験事例を聞き、ハンディキャップ体験により支援のための基本的な技術を学んだ。	5月24日 10月19日	2	34
花と緑のコンシェルジュ養成講座	市民センターの花壇をフィールドにバラ等ガーデニングや花のアレンジメント、せん定技術等を学び、地域の美化を促進するボランティアを養成した。	5月～3月	7	83
市民企画会	30代～50代の女性たちが、「今の自分達の年代だからこそ学んでみたいこと」をテーマに企画会を実施した。	5月～3月	9	28
自分アップ講座	市民企画会を経て実施した講座。30代～50代の女性たちの学びと自分再発見を支援。メイク、ラッピング、料理をとおして日々の暮らしに生かせることを中心に学んだ。自分再発見および女性同士の情報交換も図られた。	1月30日 2月13日 3月6日	3	45
中山市民センター児童館まつり	市民センター利用団体・地域住民・地域諸団体の活動が活性化することを目的とし、交流の機会、学習成果の発表の場を提供した。	9月15日	1	1,530
輝(きらり)おかのまちコンサート	地域でで文化的事業を望む声が非常に強いことから、センター利用サークルや地域で活動する団体、中学校・高校の吹奏楽部、児童館利用の小学生・幼児によるコンサートを開催した。	11月17日	1	200
中山市民センター懇話会	地域の中学生と高齢者等が中山の将来について語り合った。	10月19日	1	17

折立市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、仙台市中心部から西方約 5 kmの地点に位置している。東側には青葉山丘陵、南側には里山蕃山、北側には広瀬川が流れ、西側にはその広瀬川によって形成された河岸段丘が開け、遠くには奥羽山系を眺望できるという自然環境に恵まれた場所に立地している。平成 7 年 5 月 30 日に市内 50 番目の市民センターとして、折立児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

施設の特徴としては、可動式のステージが備わった多目的ホール、照明付の舞台を備えた 49 畳の和室、調理用機器を完備した会議室兼調理実習室等があり、地域住民の生涯学習・スポーツ・コミュニティづくりの場として、広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	折立マップでまち発見		
参加者	成人	参加延人数	111 人
開催日	全 5 回 4 月 27 日(金)、6 月 1 日(金)、6 月 15 日(金)、6 月 22 日(金)、6 月 29 日(金)		
協力者・協力団体	平成 22 年度「市民企画講座『折立マップを作る』」企画委員		
ねらい	平成 22 年度の市民企画講座で作成した、折立地域の自然や史跡等をまとめたマップをもとに折立地域を検証する。マップ作りに参加した市民企画員と一緒に歩き、歴史的な背景や故事についての説明をし、折立の魅力を伝えていく。		
概要・成果	平成 23 年度「折立マップでまち発見」の講座で歩ききれなかった地域を歩き、折立地域の歴史や史跡を参加者に肌で感じてもらった。折立マップの活用と歴史から見える折立の魅力を再確認した。企画員も一緒に歩くことにより、参加した受講生の小さな質問にも対応することが出来、また、参加者同士の交流にも一役かっていた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子たいけん隊	子どもの心身の健やかな成長を培い、また、親子、異世代間の交流を図るため、地域の自然及び科学や食育に関することなどについて、様々な体験学習をした。	6 月 15 日 9 月 29 日 11 月 17 日 1 月 12 日	4	97
ジュニアリーダーと遊ぶコーナー	ジュニアリーダーとのふれあいの中で、集団で遊ぶことの楽しさを体験し、遊びを通して異年齢との交流を図った。	8 月 25 日	1	17
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する機会を提供した。	2 月 2 日	1	19
折立スケッチ散歩	描くことの楽しさを味わい、地域の良さを再確認できるよう、折立地域の名所旧跡をスケッチで残し、市民センターまつりなどで公開した。	5 月 23 日 6 月 6・27 日 9 月 5・26 日 10 月 3 日	6	51

元気復活！ヨガ講座	ストレス社会で疲れている多くの人たちが、無理なく身体を動かし、心身ともに健康になれるよう、基本的なヨガ体操を習得する。また、幼児をかかえた親にも参加の機会を提供した。	11月6日 11月20日 12月4・18日 1月8日	5	87
折立老壮大学	高齢者が月一度、様々な分野の講話や落語・「新聞ちぎり絵」の実技等を実施し、受講生同士交流を図りながら楽しく学んだ。	5月7日 ～2月21日	10	416
いきいき健考道	高齢化の進む折立地区において、明るく健康に、かつ地域の人々との交流を図れるよう、地域人材を活用し、手軽に楽しくできるいろいろなスポーツを提供した。	6月13日 7月11日 9月12日 10月10日	4	71
折立 風のメロディーコンサート	市民センターを拠点に活動している音楽愛好家たちの発表の場として、また住民が気軽に音楽を楽しむ交流できる場としてコンサートを開催した。	7月28日	1	137
市民企画講座「秋の料理教室と地域交流会」	地域に求められている高齢者と若い世代の交流を図るため、そば打ち体験を共有し、会食やレクリエーションを通して、地域のコミュニティを深めた。	11月4日	1	81
防災教室～僕たち私たちの力～	災害時におけるボランティア活動に対する意識の向上や、地域諸団体と連携し、普通救急救命や AED 等々の講習や炊き出し体験を実施した。	5月8日	1	145
災害に強いまちを目指して	今後も大地震の発生が予想されている中で災害に備え、地域防災講座を行い、災害に強いまちづくりを目指した。	3月13日	1	26
折立サークル体験会	生涯学習への関心を高め、同時に活動紹介と新規会員獲得の一助とするよう、市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学・体験できる機会を設けた。	7月3～25日	13	16
市民企画会議「秋の折立地域交流会」	折立老人クラブ連合会が中心となる地域の交流会について、様々な意見や要望を集め、多くの方が参加できる会にするため、企画会議で検討した。	6月1日 8月25日 9月12日 10月18日 11月17日	5	28
地域発信「ボランティア情報紙わ・和・輪」作成講座	折立地域におけるボランティア活動の情報を収集し、地域のボランティア情報紙を作成した。情報を発信することで地域のボランティア活動を支援した。	6月8・26日 9月15・20日 10月5日	5	14
折立ふれあいまつり	地域で活動している団体やグループ、市民センター利用のサークルなどが中心となり、日頃の練習の成果や作品の発表を行った。	10月27日	1	1,601
★東日本大震災後の地域の活動記録	東日本大震災後の地域全体、市民センターの対応及び復興状況を正確に把握するため、懇談会や利用者、町内会等各種団体からの直接聴取などの方法を用いて情報収集、記録を行った。	通年	2	4 6
懇話会意見交換会	地域住民とともに、より良い地域づくりの方向性を探り、また、要望や意見を市民センター事業に反映させ、パートナーシップづくりに役立てるために地域の課題や資源の情報交換を行った。	12月12・15日 3月5日	3	30

広瀬市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、広瀬川の中流域に位置し、周辺にはサイカチ沼や月山池、蕃山などの豊かな自然と、子愛観音をはじめとする数多くの旧跡が残る。また、近年は住宅の造成や商業地域の開発が進み、人口が著しく増加している地域である。

当市民センターの歴史は古く、昭和 24 年大沢・広瀬両村に村立公民館が建設されたことに始まる。昭和 62 年仙台市との合併により仙台市宮城公民館となり、条例改正により仙台宮城市民センターと改称、平成 3 年 6 月に名称を広瀬市民センターと改めて現在の庁舎に移転した。

施設は広瀬文化センター・広瀬図書館との複合施設で、地域住民の交流と生涯学習活動の拠点として広く親しまれ利用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	「愛子の田植踊り」を踊ろう！ ～次世代につなぐ広瀬の伝統～		
参加者	小学生、中学生、一般成人	参加延人数	627人
開催日	全 18 回 7 月 16 日(月)・18 日(水)・25 日(水)・31 日(火)、8 月 1 日(水)・2 日(木)、9 月 29 日(土)、 10 月 20 日(土)・23 日(火)・24 日(水)・25 日(木)・28 日(日)、1 月 19 日(土)、 2 月 2 日(土)・9 日(土)・16 日(土)・17 日(日)、3 月 2 日(土)		
協力者・協力団体	広瀬りんどう社会学級、愛子小社会学級、愛子田植踊保存会		
ねらい	地域に伝わる伝承芸能「愛子の田植踊」は高齢化に伴い後継者不足が課題となっている。本来の踊り手である小学生を中心に、田植踊への理解と伝承する仕組みの土台作りを行い伝承芸能を伝えていく。また保存会との関わりから異世代間交流を深める。		
概要・成果	4年間取組んできたが、社会学級との連携により、広報や運営での協力が大きく、小学生の参加も入れ替わりはあるものの定着してきている。入門編、まつりに向けた秋編、学習フェアに向けた冬編と年 3 回、集中的に練習会を設けていることが、一つのサイクルとなり、発表する機会があることが大きな励みになっている。自分達が伝承していくという意識も高まり、子ども同士の縦のつながりの他、大人達と接することで異世代間交流も深まっている。また東京で開催の「地域伝統芸能まつり」参加への推薦もあり、発表に向けて自主的な練習も始まり、活発になってきている。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おたがいさまの子育てサロン	ママたちが自分たちの子育てについてお互いに話をすることでホッと、ゆとりを取り戻す時間となった。	11 月 21・29 日	2	44
わくわく子ども体験講座	地域の子ども達が自然遊びを地域の大人達から学び、地域に残る自然や文化を知る機会とし、世代間交流を図った。	8 月 24 日 10 月 6 日	2	48
ジュニアリーダー「くまっこ」と遊ぼう！	地域の子ども達に対して JL 活動や集団遊びの楽しさを紹介した。また、JL 自ら企画することにより活動スキルのレベルアップを図った。	7 月 22 日	1	120
地域が伝える「平和学習」	戦争を体験した地域の高齢者が、戦時下の仙台の学校や家庭での生活、空襲の様子、戦災後の復興の経験を小学生に話し、平和の大切さを教えた。	6 月 25 日 11 月 13・20・25 日	4	172

仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、児童及び世話人に子ども会について学習する機会を提供した。	2月23日	1	44 60
●ひろせを学ぶ地元学「関山街道沿の歴史」関山街道フォーラム	地域住民が愛着を持って地域を考え理解していくために、地元学として広瀬の歴史、民族、暮らし等の学習を行った。特に関山街道に視点を置き、周辺の歴史、自然、文化等を地域団体に紹介してもらい知ってもらった。また、連携団体間の交流が図られ、活動の幅が広がった。	4月28日 5月26・27日	4	885
ひろせを学ぶ地元学「関山街道沿の歴史」記憶に残す関山街道	地域住民が愛着を持って地域を考え理解していくために、地元学として広瀬の歴史、民族、暮らし等の学習をした。特に関山街道に視点を置き、周辺の歴史、自然、文化等を写真に収めながら探訪し、地域に発信していくことを目的とした。	6月22日 7月20日 9月7日 10月 5・12・27・28日	7	67
老壮大学「若返り教室」	地域の高齢者が健康で生きがいのある豊かな生活を送るため多方面からの学習機会を提供した。	5月24日 ～3月7日	10	507
おはなしコンサート in ひろせ	2階ミニステージを使い、子どもから大人までが気軽に集い、音楽や文学に触れ、地域住民同士が交流する機会を提供した。	6月23日 12月23日	2	90
●学びの百科「ひろせ生活倶楽部」	生活に密着した事柄を学びながら、地域のきずなを深め、世代間交流を図った。	5月10・17日 7月19日 9月13日 11月15日 2月22・27日	8	175
ひろせ男のクッキング仲間	シニア世代の男性に調理の基本や栄養について学ぶ機会を提供し、食生活の改善や健康管理を積極的に行うようになるよう支援した。また仲間づくりを進め、市民センター事業への関心を促し、学んだ成果を地域へ還元する意識付けを行った。	4月24日 ～3月26日	12	130
読み聞かせスキルアップ講座	主に地域の読み聞かせボランティアサークルを対象に、日頃の課題解決およびスキルアップの場を提供した。	10月11日	1	17
市民企画会「子育て世代のための講座」を考える	企画員の子育て体験から考えられる課題を出し合い、他の親たちのために役立つ講座を企画した。	6月1日 ～11月29日	10	38
「関山街道フォーラム」土の道編	関山街道沿線で自然、歴史、文化等を基に活動する団体が協働、連携し、地域の豊かな資源を掘り起こし、活用していくことで地域の活性化を図った。個々の団体が作成した地図を基に関山街道のマップ作成に組み組み探訪会で活用していく。	9月1日 ～3月16日	10	63
●「関山街道フォーラム」鉄の道編	関山街道沿線で活動する団体の協働と連携を促し地域の活性化を図った。地域の豊かな資源を掘り起こして発信し、団体相互で情報を共有しネットワークの確立を図った。	9月15日 ～3月30日	10	270
ひろせサマーナイトコンサート2012	広瀬地区の夏のイベントを開催し地域で活動している団体の発表の場を提供して地域活性化と地域の一層の結びつきを深めた。	8月4日	1	800
第24回広瀬市民センターまつり	参加サークルや団体のネットワークを築き、地域住民同士の交流を図るため、展示・体験・学習などの活動の発表等を行った。	10月27・28日	2	1,902
平成24年度生涯学習活動発表会「ひろせ学習フェア」	参加サークル・団体が活動成果を大舞台で発表し、活動の充実と技術の向上を目指した。	2月16・17日	2	1,610

《青葉区》

ひびけ！大合唱 「ひろせの歌声」	合唱の練習を通して地域住民同士の親睦と交流を図り、歌で「ひろせ学習フェア」を盛り上げた。	1月19日 2月 2・9・16・17日	5	239
★きずなカフェ (地域の絆づくり推進事業)	震災後、地域の絆を深めるために住民同士が交流する場をカフェという形で提供した。	4月26日 6月14・26日 9月21日	4	42
●地域のきずなづくり推進事業	地域の住民同士の顔の見える関係づくりを目指して以下のことに取り組んだ。 ①「カッパダ川にまつわるテーマ曲を作ろう!」 地域のテーマ曲を地域の方の力で作ることで、学校・地域住民などの絆を深めた。 ②「田んぼカフェ」 田んぼアートの創作活動を通して、地域住民や学校、各団体をつなぎ、企業にも関わりを広げた。	6月27日 ～3月27日	17	238
ひろせ懇談会	市民センター・文化センターの運営や事業に反映させるために、地域住民と地域課題や要望等について意見交換を行った。	6月30日 11月14日	2	23

宮城西市民センター

〔沿革〕

昭和 52 年 4 月に宮城町西部地区公民館として開館した。その後、昭和 62 年 11 月 1 日宮城町が仙台市と合併して仙台市宮城西公民館となり、平成 2 年 4 月 1 日から仙台市宮城西市民センターと改称した。その後、施設の老朽化に伴い平成 22 年 8 月から一時休館して改築工事を行い、平成 24 年 7 月に新たに開館した。当市民センターは、宮城地区西部の自然環境に恵まれた緑豊かな山間地に位置している。近年過疎化が進み、少子・高齢化の現状にあるが、地域の活性化を図るため町内会・老人クラブ等の各種団体と連携を密にして社会情勢の変化に伴う学習要望に応え、地域住民と共に歩む生涯学習を推進している。また、地域住民の自主活動の場、交流の場として広く利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	親子ふれあい教室		
参加者	小学生親子	参加延人数	143 人
開催日	全 5 回 7 月 28 日(土)、8 月 5 日(日)、10 月 27 日(土)、12 月 22 日(土)、1 月 12 日(土)		
協力者・協力団体	地域講師、みやぎ西探訪会		
ねらい	学校休業日に、異なった地域の親子が郷土に関わる学習、自然体験、歴史、文化の良さを見直し、地域文化の伝承を図る。また、子どもたちの健やかな成長を育む。		
概要・成果	全5回の講座内容は①沢歩き②片平界限探検③奥新川紅葉狩り④郷土料理教室⑤だんごさし体験で地域の自然、歴史、文化を体験し、この地域の魅力を伝える機会を提供できた。(②・③は片平市民センターと共催し、それぞれの地域性を活かした内容で受講生に喜ばれた。) 西部地区を良く知る、地域の方に講師をしてもらい、親子の間や受講生同士だけではなく地域講師との間にも世代を超えた交流を持つことができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会リーダーの児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識や必要性などを研修	2 月 16 日	1	17
ことば遊び回文講座	地域資源の回文をかるたにしたものを、親子で楽しみ親しめるように回文かるた大会を開催した。	1 月 26 日	1	34
自然体験講座	宮城西の資源である鎌倉山(山のアクシデント対応)、大倉石山(自然体の楽しみ方)、蕃山(里山保全とその役割)を体験しながらそれぞれのテーマについて学んだ。また奥新川は雨の為に中止とし茶話会で次年度企画について話し合った。	6 月 15 日 10 月 12 日 11 月 2・30 日	4	41
おらほ自慢	話合いの中で決まった煮物、ジュウネン和え、おくずかけ、きゅうりの佃煮などの郷土食を各地域の情報交換を交えながら作った。また昨年から作っている寒麴を仕込んだ。	7 月 25 日 10 月 24 日 1 月 23・30 日 2 月 27 日	7	132
女性教養講座	地域でイキイキと暮らすためにレクリエーションダンス、和布で眼鏡ケース作成、合唱、地場野菜の使い切りレシピなどを学んだ。	9 月 5 日 10 月 3 日 11 月 7 日 12 月 5 日	4	73

《青葉区》

出前講座	アケビつるでかご編み、リース作り、スポーツ民踊、新鮮野菜を使った料理、暑さに負けない食事、クリスマスメニュー料理、新聞紙でエコバック作り、料理、交通安全・防犯講座、音楽療法で健康作り、介護保険制度と歯の健康などを学んだ。	7月20日 ～3月6日	12	290
老壮学級	安全教室とおれおれ詐欺、レクダンス、介護予防の為の食事、東北の鬼について、東北歴史博物館特別展見学と震災について学ぶ、新聞紙でエコバック作り、クリスマスコンサート合唱、DVD昭和の情景観賞	6月～1月	8	426
地域交流研修会	安全安心なまちづくりの為に防災について学び、地域を超えて情報交換し交流をもった。	3月2日	1	105
宮城西市民まつり	西地区住民が一同に会し、演芸や作品などの学習発表や食品バザーなど自ら手づくりの運営でまつりを開催した。	11月23日	1	2,161
★ふるさと食だより (地域の絆づくり推進事業)	宮城西地区の特色ある郷土料理を後世に伝えるため、実際に料理を作り写真やレシピ作りを行った。また編集委員を募り、地域の方々に食だよりを印刷し配布した。	8月～2月	9	207
宮城西地域懇談会	宮城西地域 15 町内会、各種団体の情報交換の場を持ち、地域課題やニーズを話し合った。	7月18日 10月23日 12月2日	3	128

大沢市民センター

〔沿革〕

大沢市民センターは、平成 2 年 5 月、青葉区の西北部の田園地帯や緑多い丘陵地帯など豊かな自然環境の中に、児童館・コミュニティ防災センターを併設して開館した。

古い史跡が点在する歴史ある地域としても知られ、古くからの村落と成熟化が進行する団地、開発が進む新興団地が混在する中、若い世帯の増加が著しく更に発展が見込まれる。このような地域の状況を背景にその特性を活かし、地域住民の活動・交流の拠点として、社会変化に伴う市民のニーズに対応する生涯学習事業を展開している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★大沢地区地域防災安心ネット(地域の絆づくり推進事業)		
参加者	地域住民	参加延人数	434人
開催日	全 13 回 6 月 2 日(土)・28 日(金)、7 月 13 日(金)・26 日(木)、 8 月 2 日(木)・9 日(木)・23 日(木)、9 月 1 日(土)・19 日(水)、11 月 2 日(金) 12 月 21 日(金)、2 月 15 日(金)、3 月 14 日(木)		
協力者・協力団体	大沢小学区連合町内会、川前地区連合町内会、大沢・川前地区社会福祉協議会、大沢小学校、川前小学校、大沢中学校、大沢小・川前小 PTA、大沢中 PTA、大沢・川前学区民体育振興会、防犯協会、交通安全協会、婦人防火クラブ、消防分団		
ねらい	大沢地区の各町内会や地域の社会福祉協議会等各機関が、災害発生時の正確な情報共有と被害の防止を目指し、地域の防災対策の整備実現を図る。また、東日本大震災の被害経験を基に住民の防災意識向上と備え、地域の自主防災組織体制の充実と地域間連携の強化を目指す。		
概要・成果	6 月と 2 月に HUG で避難所の開設運営の疑似体験をし、連合町内会と連携で防災・避難所立上げ訓練を実施した。特に、避難所開設運営と避難体験では日頃の準備と地域の協力体制(自助と共助)の重要性を理解することができた。その中で避難所開設運営訓練の計画実施に関わった作業部会の活躍は大きかった。 また、町内会役員等を対象にした避難所開設運営事前打合せでの開催準備や、地域マップの作成等で自主防災体制づくりに貢献できた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
食卓から家族の健康を考える	健康を保つ上で身近に実行できる家庭料理や、正しい食育情報を学ぶ。梅雨と秋の 2 回開催し季節に応じた食の大切さを学んだ。	6 月 13 日 11 月 7 日	2	35
インリーダー研修会	子ども会活動の充実化を図るため、子ども会のリーダーとなる児童と世話人が、子ども会活動の運営方法について学んだ。	2 月 24 日	1	27
市民企画講座「蒲沢山であそぼう！」	市民企画委員が小学生の子ども達に、自然の中で五感や、知恵を働かせてあそぶ魅力を伝えた。企画委員が、自己の体験や知識を活かし、子ども達に積極的に声をかけ関わりながら企画を実践した。	5 月 19 日	1	13
大沢暮らし百科	成年後見制度についての講話のほか、「ゆる体操」による体のセルフケア、包丁の手入れの仕方、野菜を使った調理実習、自然素材でハンドクリームを作り冬のハンドケアを実技で学んだ。	5 月 24 日 7 月 12 日 9 月 13 日 11 月 8 日 1 月 24 日	5	91

大沢農学校～宮城の野菜を食べよう！～	地域講師による、土作りから野菜の収穫までを講話と実技で実施。有機栽培の難しさを知った。また、明成高校の先生による被災地での仙台白菜の取り組みを聞き、仙台白菜で餃子作りを実習した。	4月21日 ～11月17日	15	135
地域の自然再発見！～大沢を取り巻く山の風景	大沢地域にある蒲沢山・権現森・黒森山の自然観察と自然環境について学び、受講生同士の交流を深めた。	8月24日 9月7日 10月5・26日	4	55
老壮大学「大沢朗々学園」	地域の高齢者が積極的で生きがいのある暮らしを送ることができるよう生きがいづくりに関する講話や防災講話・健康体操・朗読会・音楽など多岐にわたり学習し交流を深めた。	5月17日 6月21日 7月26日 9月20日 11月29日 12月20日 1月26日 2月21日	8	184
市民企画講座「ママ達マップ(仮称)を作る」	大沢地域の自然や公共施設、地元の商店など地域の魅力を広く発信するためのマップを子育て中のお母さん方が主体となり作成した。	6月15日 ～1月31日	13	70
地域でスポーツ交流「大沢・川前グラウンドゴルフ交流会」	大沢地域と川前地域住民が、グラウンドゴルフを通して親睦と交流を図った。	9月9日	1	50
地域資源活用講座「大沢こども体験教室」～里山自然探検！キノコ編	キノコの種類とはたらきについてお話を聴き事前学習をしてから、塩野沢の雑木林に生息するキノコを観察採集し、分類とまとめを行った。	7月25日 8月1日	2	19
折り紙ボランティア養成講座～七夕飾りを作ろう！～	折り紙の基本から学習し、大きな七夕飾りを作り、市民センターロビーと介護老人保健施設に飾った。講座修了後、大沢小学校ボランティア会に数名入会した。	6月27日 7月 4・7・11・18・20日	6	70
昔遊びを伝えよう	地域の高齢者が昔ながらの遊び「こま・お手玉・めんこ等」を、小学校で子どもたちと交流を図りながら伝えたことを通して世代間交流が図られ、地域のボランティア活動へ繋がった。	11月16・22日	3	34
市民企画講座「ロビーへようこそ！」を企画しよう	地域住民が、住民同士の出会いや交流の場として地域の拠点機能充実化を図るため、大沢市民センターのロビーの活用法を検討し企画会議を行った。	5月26日 ～2月9日	12	45
(年央)市民企画講座「ロビーへようこそ！」	市民企画委員が、ロビーの活用方法を検討した内容「スライドショー」「作品展示」「クリスマスミニコンサート」「大沢お笑い劇場」を実施し、地域の人々の出会い・交流の場となった。	8月1日～ 9月1日～ 10月23日～ 12月15日 2月9日	5	383
市民企画講座「わが町探検！ママ達のマップ作り市民企画会」	子育て中のお母さんが企画員となり、地域の特色を調べ、地域のマップ作りの企画会議を行った。	4月17日 ～1月31日	4	26
大沢森の音楽会～音で味わう“秋”	地域在住やゆかりのある音楽科、音楽を志す若者によるコンサート。吹奏楽、ピアノとトロンボーン、シャンソン、声楽、ピアノと朗読など5つのステージ発表を鑑賞した。	9月15日	1	150
大沢市民まつり	地域住民が集まり、まつりの企画・運営を通して親睦と交流が図られた。地域で活動する団体や、様々な学習活動をしている方々が日頃の学習成果を発表した。ボランティア活動を通して地域住民の交流の場となった。	10月20・21日	2	2,200
大沢地域懇談会	市民センターの事業内容や活動内容を地域に説明し理解に努めると共に、地域課題である川前地区に対する活動の取り組みについて意見を交換した。	9月20日 11月29日	2	22

落合市民センター

〔沿革〕

平成 6 年に開館した当市民センターは、広瀬川、齊勝川、蕃山などの自然環境と、仙山線（陸前落合駅）、国道 48 号線仙台西バイパス、作並街道という交通環境に恵まれた地域にある。また、宮城県立こども病院を始めとする医療機関、栗生小学校、宮城県宮城広瀬高等学校などの教育機関、宮城消防署などの公共施設、更には大型商業施設も整備され、人口が増加している地域でもある。

そのような地域環境の中で、当市民センターは設立以来、施設利用および生涯学習講座等を通じて、地域コミュニケーション活性化、まちづくり推進の拠点として広く地域住民の方々から愛され、利用されてきた。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	初心者のための地域学 ちょっと昔を見たり聞いたり		
参加者	成人	参加延人数	52 人
開催日	全5回 7 月 25 日(水)、8 月 3 日(金)・22 日(水)、9 月 19 日(水)、10 月 3 日(水)		
協力者・協力団体	株式会社万歳食品、ドナルドマクドナルドハウスせんだい、中小企業大学校		
ねらい	この地域は開発が進み、転入者が増加している。一方で、この地域には残された自然や歴史的価値の高い史跡も多くも残されている。しかし、初めて地域を学ぼうと考えている人たちが、基本的なことを学ぶ機会は少ない。そこで初心者対象の講座を設け、より多くの人たちが地域について学ぶことができるようにする。		
概要・成果	講話や館外学習、調理など様々な手法で学習でき、受講生は興味を持って参加し、熱心に講師に質問していた。また、自分の住んでいる地域ではあるが、知らないことが多く、地域を知るきっかけになったようだ。地元講師も資料作りに熱心に取り組んでくれて、受講生も講師もさらに地元への愛着を深めていた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
思春期のための食生活	「思春期のための食事」についての講話を聞き、実際に調理実習を行った。又、作った食事からお弁当にアレンジする方法を学んだ。	1 月 25 日 2 月 1 日	2	7
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童は行事プログラムの作成やレクリエーションゲームの進め方を体験した。世話人は世話人の役割について学んだり、話し合い交流をした。又、ジュニアリーダーの指導で児童とともに、レクリエーションゲームも体験した。	2 月 23 日	1	60
あそび まるかじり	キンボール、バルーンアート、工作、茶道体験等を通して、いろいろな世代の人、他校の友達と交流した。みんなで遊ぶ楽しさや、いろいろな人とコミュニケーションを図った。	8 月 4 日	1	16
街めぐりスケッチ	「スケッチの基本」についての講話を聞いた後、広瀬川へ行き、実際にスケッチを行った。講師の絵を書き写したり、静物画の描き方、色の出し方、影の付け方を学んだ。	8 月 21・28 日 9 月 4・11・25 日 10 月 2 日	6	20

落合実年学級	「日本の常識は世界の非常識」「シニア世代のおしゃれ」「作家の生涯と作品」についての講話や、「仙台駅構内見学」「環境施設見学」等、館外学習も取り入れた。又、シャンソンを聴いたり、カレーライスや芋煮を作って食べて交流を深めた。	4月19日 ～3月7日	12	318
宮城県宮城広瀬高等学校連携事業	卓球部員の指導で小学生が卓球の基礎を楽しく学んだ。又、生徒会執行部の案内で地域の大人と子供が文化祭を見学した。書道部員の指導で、小学生が書き初めを学んだ。	7月21・28日 8月4日 9月8日 10月21日 12月26・27日	7	182
★みんなの力で地域防災・減災（地域の絆づくり推進事業）	「地域防災の備え」「避難所から見えるこれからの防災」についての講話や、「防災マップ」の作成に取り組んだ。	7月7日 8月25日 10月6日 12月8日	4	76
虐待から子どもを守ろうー子育てにやさしいまちづくり	全3回にわたり、「虐待についての基礎知識」「実際に起こった事例からの対応の可能性」「虐待が疑われる場合の対応の仕方」についての講話を聞いた。各回毎に受講生同士の交流会も行った。	11月30日 12月4・14日	3	24
サークル体験	趣味を共有する地域の仲間づくりや学習意欲を高める機会としてサークル体験会を開催した。	6月 17・19・20・ 21・22・23日	6	43
図書ボランティアスキルアップ講座	絵本・紙芝居の読み聞かせについて、持ち方、声の出し方等を学び、実際に近隣の保育所へ行き、紙芝居の上演実践を行った。	5月30日 6月6日 7月18日	3	22
「初心者のための地域学」企画会	転入者や今まで地域にあまり目を向けてこなかった人たちを対象に、初心者のための地域学講座を開催するため、下見や話し合いを行った。	5月16日 6月13日 10月3日	3	12
★記録に残す「私が見た東日本大震災」	「あなたも私もコラムニスト」開催の打合せ・開催を行い、良い文章の条件について学んだ。その後、防災アンケートを取り、原稿の募集、寄せられた原稿の読み合わせを行い、冊子の編集・校正・製本作業をした。	4月10日 ～2月8日	15	45
第15回落合市民センターまつり	地域住民や市民センター利用者の活動、学習成果の展示・発表の場としてまつりを開催した。地域コミュニケーションの場を広げることができた。	10月21日	1	1,000
地域懇話会	町内会、教育機関、行政機関、保育所、施設の代表者等、地域で活動している団体や機関の幅広い参加があり、中身の濃い情報交換や意見交換を行うことができた。	6月29日 3月8日	2	40

吉成市民センター

〔沿革〕

仙台市北西部の吉成と南吉成小学校区の間位置に、市内 51 番目の市民センターとして児童館及びコミュニティ防災センターを併設し平成 8 年 4 月にオープンした。吉成地区は住宅地と商店街が共存し、市内北部と西部を結ぶ交通の要衝となっている。当センターは、吉成小学校区と南吉成小学校区の 2 連合町内会を対象地域としており、吉成学区は 7 町内会約 7,300 人、南吉成学区は 7 町内会約 10,700 人、総世帯数約 7,100 世帯(平成 24 年 3 月 31 日現在)となっている。現在高齢化率(20.90%)も高くなってきていることもあり、当市民センターの利用件数及び利用者数は増加の傾向にある。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	吉成チャイルドスクール・サイエンス		
参加者	小学校3年生から6年生まで	参加延人数	39人
開催日	全2回 7月27日(金)、12月15日(土)		
協力者・協力団体	仙台市立仙台青陵中等教育学校 科学部		
ねらい	地域の子どもたちに学校や学年を越え豊かな校外活動の場を提供するとともに、身近な科学現象などを素材にして実験を行い、科学学習への興味・関心を高める。		
概要・成果	仙台青陵校科学部の生徒たちが講師となり、同校の本格的な科学室を会場に「人工イクラづくり」や「ポンポン船づくり」など楽しい実験を行い、子どもたちに科学の面白さを伝えた。本格的な科学室での実験は、子どもたちにとって科学への興味・関心を深め、学習意欲をいっそう高めた。また、学校や学年を越えた交流もできた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
地域子育て支援ネットワーク事業	子育てに関する情報交換、及び参加者を募集しての講座「親業」、「大型カルタとり」を開催した。	5月～1月	5	106
こどもと食べたい！なつかしおやつ	豆腐白玉だんごや芋きんつばを作り、子どもと一緒に試食した。また個別に栄養相談を行った。	9月20・27日	2	16
吉成チャイルドスクール・食育	火をあまり使わずにできる料理や缶詰を使った料理など、栄養バランスの良いサバイバル飯に挑戦した。	6月23日 12月8日	2	23
吉成チャイルドスクール・工作教室	1枚の板から小鳥の巣箱やえさ台を親子で制作。のこぎりやくぎ打ちなどを体験した。	6月2・9日	2	45
インリーダー研修会	子ども会の活性化のため行事プログラム作成研修及び世話人向け研修を実施した。ジュニアリーダーとゲームを体験した。	2月23日	1	39
仙台的国内姉妹都市	姉妹都市「徳島」と仙台的の関わりを学んだ。また、「すずめ踊りの交流から「阿波踊り」を体験した。	7月7・14日	2	39
おとなりさんの郷土料理	隣県(岩手、福島、宮城)の郷土料理を学び、交流を深めた。	11月7・14日 12月5・12日	4	59

《青葉区》

元気づくり講座 「健康が一番！」	自宅でも継続してできる高齢者向け健康体操の指導及び健康講話を実施した。講座終了後、自主サークルが活動を開始した。	8月～10月	8	152
老壮大学 「きらめきスクール」	「健康講話」「旅の話」「認知症」「歴史講話」「手品」「受講生による企画—新春お楽しみ会」など高齢者の学びや仲間作りに役立てた。	4月～2月	11	459
みんなのコンサート	地域の小学校、合同中学校、高校、大学の吹奏楽部による合同演奏会を実施した。	1月20日	1	250
学ぼう！交通ルール と防犯対策	吉成小学校と南吉成小学校3・4年生を対象に自転車の安全な乗り方の実技指導を行った。また地域の方を対象に防犯対策について講演を行った。	6月5日 7月4・11日	3	327
天体観測会	天体観測ベガ号で春の天体を観測した。	2月15日	1	46
青陵の森を楽しもう	仙台青陵中等学校の敷地内にある「青陵の森」で青陵校合唱部と吹奏楽部によるミニコンサートを楽しみ、その後森を散策。秋には散策と森で採取した葛でかご編みづくりを行った。	5月12日 11月16日	3	42
救護の達人	吉成中学校2年生を対象に救命入門コース（心肺蘇生・AED 操作手順）を開催し、緊急時に備えた。	2月7日	1	66
市民企画会「地域の ぼくら」	地域を持たない仙台青陵中等教育学校の生徒たちが今自分達がこの地域にできることをテーマに考え、地域活動のきっかけとした。	10月～3月	6	28
吉成出前サロン	市民センターには遠い地域の方々へ出前講座を行った。市民センターで活動している箏曲サークルやコーラスグループの演奏、読み聞かせ、タオル人形作りを実施した。	9月6・9日 10月18日 2月8日	4	167
★避難所運営スタッフ 講座	各町内会防災担当者を中心に3.11の行動を振り返り、避難所運営ゲーム HUG を体験し、地域防災について考えた。	8月18・25日 9月1・8日	4	67
傾聴ボランティア養成 講座	震災を機に傾聴に関心が高まっていることを受け、傾聴について学び、現在活動中のボランティアのスキルアップと新規会員の増員を図った。	6月21・28日 7月5・12・19・ 26日	6	91
地域交流ニュースポ ーツ体験会	吉成・南吉成学区体育振興会と連携し、ニュースポーツで地域の交流を図った。	11月17日	1	44
★市民企画講座 「ギフトコンサート」	震災復興を願い今の自分達にできることをテーマに仙台青陵中等教育学校吹奏楽部によるチャリティコンサートを実施した。	3月24日	1	178
吉成市民センターま つり	市民センターで活動しているサークルや地域の各種団体の学習成果を発表した。	10月20日	1	813
地域懇談会	学校関係者や地域諸団体の方へのアンケート調査や懇談会を実施し、地域の課題や提案などを得た。	10月30日 11月30日	2	23
地域団体交流会	学校関係者や地域諸団体に集ってもらい活動状況を共有し合い互いの活動を広げる機会とした。	1月30日	1	42

木町通市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、木町通小学校の改築に伴い、平成 16 年 4 月に小学校と児童館、コミュニティ防災センターとの複合施設として開館した。市民センター施設は、5・6 階に位置し全館バリアフリー対応になっている。また、屋上緑化を施し、一部は児童館の庭園として利用している。

木町通地区は市の中心部に位置し、官公庁・学校・病院・商業施設・マンションが建ち並び、従来からの一戸建ての住宅はほとんど見られなくなった。人口構成では若い単身世帯や乳幼児の子育て世代の 20 代を筆頭に 30 代、40 代、50 代、60 代と続き、この地域の特性と言える。

都心の中の複合施設の利点を生かし、地域との連携を図りながら講座を通して学びの場を提供することを目指している。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	きまちハートふるミニコンサート		
参加者	一般	参加延人数	279人
開催日	全3回 8月4日(土)、11月17日(土)、12月15日(土)		
協力者・協力団体	木町通学区連合町内会、木町地区社会福祉協議会、木町地区民生委員児童委員協議会、青葉区社会福祉協議会、支えあいセンターあおば		
ねらい	市民センターを会場にミニコンサートを開催し、地域住民に交流の場と気軽に音楽を楽しむ機会の提供を行い、震災後の心を癒すとともに、地域活動支援や人づくり・地域づくりにつなげる。		
概要・成果	管内に居住している被災者の方々と地域の方が交流することを目的に、初めての試みとして実施した。誰もが参加しやすいコンサートを開催したことで多くの交流が図られた。また、講座を通して地域の諸団体間のつながりも深まった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
にっこりママのほっとサロン	親子で楽しめるリトミックやコンサート、子育てについての情報交換、母親のためのアロマセラピーなどを開催した。	6月27日 7月18日 9月1日 10月27日 11月15・21日 12月19日 1月30日	8	163
きまち親子ふれあい広場	親子でミニ七夕かざりづくり、お月見ピザ、白玉のお月見汁粉づくり、ひなまつりに向けての押し寿司などをつくり、親子のコミュニケーション、参加者同士親子の交流を図った。	7月7日 9月8日 2月2日	3	62
がんばるママ集まれ！「きまちママクラブ」	チアエクササイズとクリスマス料理、そば打ちを行い母親同士の交流を図った。	10月23・30日 11月6・13日 12月5・11日	6	95
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会のリーダーとなる児童・世話人を対象にレクリエーションやゲームの進め方、子ども会の運営等を社教主事の先生やジュニアリーダーの指導を通じて学び、子ども会活動への理解を深めた。	1月26日	1	41

木町通小学校 PTA 花火まつり体験！工 作コーナー	「工作コーナー」の中で、木の枝を使いストラップやアク セサリーを作った。	9 月 21 日	1	105
通りの魅力再発見～ 木町通で道知るべ！	木町通地域の歴史・街歩きの楽しさについて学習し、実 際に木町通・定禅寺通界隈を歩き魅力を探った。また、 定禅寺通では、設置されている彫刻の見学や写真撮影 会などを実施した。	8 月 30 日 9 月 13 日 10 月 4 日 11 月 8・20 日 12 月 13 日	6	87
木町通老壮大学	地域の高齢者を対象に、講話「地域の歴史・弁護士によ る家庭内相続」・館外学習（県美術館）・健康体操などを 実施。また、新春コンサート・交流会で受講生同士の交 流を図った。	5 月 9 日 6 月 13 日 7 月 4 日 9 月 12 日 10 月 10 日 11 月 14・16 日 2 月 13 日	8	392
ハーモニカで仲間づ くり	楽器（ハーモニカ）を通して、地域交流、仲間づくりの場 を提供。講座実施後、自主サークルとして結成し、「市民 センターまつり」で演奏を披露した。	6 月 16・30 日 7 月 14・28 日 8 月 18 日	5	97
木町通小学校社会学 級連携事業 国際理 解講座「韓国の家庭 を知る」	韓国の留学生による料理講座を通して異文化理解を図 った。	11 月 16 日	1	10
子ども居場所プロジ ェクトわくわくきまち	地域の子どもたちに折り紙・冷たいおやつづくり・皮細工 の携帯ストラップづくり・紙ヒコーキ・万華鏡づくりなどの 体験学習を開催。また、子ども居場所づくり応援隊がユ ーススポーツ・卓球・昔ばなしなどを開催し、世代間交流を図 った。	6 月 6 日 ～3 月 2 日	12	171
子ども居場所づくり 応援隊	ボランティアとしての心構え・活動・運営について学習 し、講座「わくわくきまち」への応援ボランティアを行っ た。	6 月 29 日 7 月 6・13 日	3	13
子育てママ応援企画 会議育児プランナー	子育て支援に関する事業「きまちママクラブ」の企画会 議を開催した。	6 月 22・29 日 7 月 10 日 10 月 23 日 11 月 2 日 12 月 5・11 日	7	22
★残そう！木町通の 震災記憶・記録	震災時の木町通地区連合町内会の活動・木町通小学 校・仙台第二中学校での避難所活動・様子等を記録に まとめ、後世に残す冊子づくりを行った。	5 月 11 日 7 月 5 日 8 月 10 日 9 月 14・28 日 10 月 4・16 日	7	26
木町っ子に学ぼう伝 統文化～茶道でおも てなし～	日本の伝統文化である茶道にクラブ活動で取り組んで いる木町通小学校の児童が、作法や学んだ成果をおも てなしのところで地域の方や保護者に発表し、伝統文化 を見直す機会の提供になった。	1 月 11・12 日	2	72
社会学級連携事業会 議	地域活性に繋がる事業を話し合い「韓国の家庭を知る」 を企画運営した。	5 月 10 日 6 月 19 日 7 月 3 日 11 月 9・16 日	5	20
木町通市民センター・ 児童館まつり	地域交流を図るため各種地域団体・センター利用団体・ 児童館と連携しステージ発表・作品展示・出店・抽選会・ 児童館まつりを実施した。	11 月 26 日	1	830
木町通市民センター 運営懇話会	平成24年度のセンター事業・運営全般に対するアンケ ート調査を行い、ご意見・要望・地域課題等を聞き、意見 交換会を実施した。	5 月 24 日 7 月 19 日 10 月 30 日 2 月 28 日	4	27

宮城野区中央市民センター

〔沿革〕

平成 24 年 8 月、宮城野区文化センター新設に伴い、同センター内に宮城野区中央市民センターとして開館した。本市民センターは区役所や陸前原ノ町駅に隣接し、多くの人々が行き交う地域となっている。

本市民センターは、宮城野区における生涯学習の拠点、市民の交流拠点、地域づくりの拠点として、市民活動室なども含め、幅広いニーズに応える施設を備えるとともに、さまざまなテーマの講座やワークショップなど、多様な学びの機会を提供している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	宮城野原案内人養成講座		
参加者	成人	参加延人数	44人
開催日	全4回 11月10日(土)、11月24日(土)、12月1日(土)、12月8日(土)		
ねらい	古くから名の知られた宮城野原の歴史や文化、史蹟について地域住民や小学生に広く知ってもらうために、これまで蓄積されてきた地元学の資料等も活用し街の案内ボランティア養成を行う。案内人による地域団体や小学校の学習機会でのガイドを通じて、住民が宮城野原についてより深く知ることで地域への愛着を醸成し、交流を促進する。		
概要・成果	講座終了後、10名が宮城野原案内人として登録した。「宮城野かいわい伊達日和」の講座の中で、宮城野の魅力を案内人が伝えたことで地域住民や宮城野区を訪れる人に地域の魅力をアピールすることができた。また地域に対する誇りと愛着、地域への一体感を感じることができた。案内人としての活動が活発化することで、今後の地域人材の充実と地域活性化が期待できる。		

〔平成 24 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
家族でつくる簡単お正月料理	親子で、仙台の伝統的正月料理について由来や意味を学び、調理実習を実施した。	12月15・22日	2	40
ジュニアと遊ぼう	小学生を対象に、ジュニアリーダーと一緒にゲームや運動を実施した。	10月6日 1月19日	2	31
榴ヶ岡老壮大学	社会状況の変化に対応する現代的課題・一人ひとりの人生を豊かにしていくため、軽運動・防災・歴史・文学等の講座を開催した。	9月20日 10月18日 11月15日 12月20日 1月17日 2月21日 3月7日	7	648
★老壮大学プレ講座～東北の復興と新聞のチカラ	来年度から始まる老壮大学の広報のため、河北新報社の社長をお迎えし、震災直後から現在まで東北の復興のための新聞社の取り組みについての講演会を実施した。	3月1日	1	52

＜宮城野区＞

★笑いで元気に	孤立しがちな高齢者や震災後のみなし仮設住宅住民を対象に、「笑い」をテーマに、落語やラフターヨガの提供し、心と体をリフレッシュさせ、体力増進と受講生同士の交流を図った。	1月10日 2月6日	2	143
未来に遺そうずむしの里	ずむしの里づくり実行委員会と共に原町小学校 2・3年生を対象にずむしの生態や仙台市の虫であること、越冬の仕方について出前授業を実施した。	8月30・31日 11月28日	3	502
★震災時の帰宅難民解決講座企画会	仙台市の防災計画策定後に関係各団体と話し合いを行い、次年度以降に関連講座を開催することとした。	2月28日	1	11
「萩こぼれて」企画検討委員会	榴ヶ岡市民センターと共催で、管内 4 つの小学校社会学級と企画会議を実施した。	6月5日 7月11日 9月6日 10月31日	4	44
市民企画講座みやぎのはぎ楽舎「地域と学ぶ」	市民企画講座で企画した、宮城野文化センター施設見学とラフターヨガ、ちんどんパフォーマンスの講座を実施した。	11月9日 2月1日	2	81
地域が伝える「平和学習」	原町小学校 6 年生を対象に、地域の人たちが戦争の悲惨さ平和の大切さを伝える出前授業を実施した。	11月20日	1	98
宮城野かいわい伊達日和	今に伝わる宮城野の魅力に触れるための講話と宮城野原案内人による原町周辺の散策を実施した。	2月16日 3月2・16日	3	66
「平和学習」語り部ボランティアブラッシュアップ講座	地域の小学生に平和の大切さを語り継いでいくため、子どもたちに戦争の悲惨さ・自分の平和への思いを伝えるためのまとめ方・話し方について学んだ。	9月26日 10月 3・10・17日	4	32
宮城野区中学生地域貢献講座企画会議「中学生のちからこぶ」	中学生が宮城野図書館に行き、危険な場所を調べ、話し合いを行った。また、サバイバル飯作りと防災ゲームを体験し、地域のためにできることを考える企画会議を実施した。	2月9日	1	5
みやぎのはぎ楽舎「～地域と学ぶ～」企画検討委員会	学びを通じた、地域のコミュニティづくりを、推進するため五輪町内会と共に地域の課題やニーズを把握し、講座企画と講座の運営を行った。	9月14日 11月9・30日 2月1・22日	5	35
市民企画萩こぼれて企画検討委員会企画講座「和・輪・話で踊ろう！」	2つの市民センターと4つの社会学級による企画検討委員会による企画講座。フォークダンスを通して、交流を図り、各社会学級の活動紹介を行った。	9月6日	1	55
★がんばれ！仙台・がんばれ！宮城野～神戸から東北へ～	同じ震災を経験した神戸から、復興のエールとして韓国の伝統舞踊や五面太鼓、扇の舞などの鑑賞と出演者との交流会を実施した。	1月12日	1	53
★明日へツナグ「希望」写真展	「希望」や「絆」をテーマにした写真を公募及び区内の写真サークル、高等学校写真部の写真を展示した。	3月1日 ～3月17日	15	750
みやぎのムーンライトフェスティバル	地域の 4 つ高校による手話歌・コーラス・スウィングジャズ・バンドによるコンサートを行った。	3月8日	1	78
地域懇談会	地域町内会・団体の代表の方と情報交換や地域の課題について話し合いを実施した。	2月28日	1	11

中央市民センター

〔沿革〕

仙台市の公民館は、昭和 21 年に在仙文化人有志による民間団体として設置され、その後、昭和 24 年に仙台市公民館条例が制定されて「仙台市公民館」が発足した。各地域の公民館設置とともに、昭和 48 年には中央公民館と改称。昭和 58 年には榴岡図書館とともに現在地に開館し、平成元年には中央市民センター・公民館となったが、翌年には中央市民センターと改称した。

当市民センターが位置する仙台駅東口周辺は、高い利便性を生かした企業や学校、マンションが混在するとともに、古い歴史ある地域としての顔も併せ持っている。そういった立地条件から、市内各方面からの利用者や夜間の利用頻度も高く、多様な学習活動、市民活動が活発である。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	東口写真館		
参加者	成人	参加延人数	82 人
開催日	全 10 回 8 月 31 日、9 月 14 日・28 日、10 月 25 日、11 月 16 日・30 日、12 月 14 日、 2 月 8 日、2 月 22 日、3 月 8 日(全て金曜日)		
ねらい	写真講座からの学習の継続と、この地域への関心のさらなる喚起を図りながら、東口ガイドボランティアとの連携で、写真による地域発信を行う。また、立地を生かし、他市民センターに合同展を呼びかけ、市内各地の地域発信の場として活用してもらう。		
概要・成果	6 月に開催した「写真講座」受講者からの要望で実施したもので、学習の成果発表を兼ねて、東口周辺の『地域のいいところ』を発掘した写真展となった。勉強会や東口ガイドボランティアによる周辺のまち歩きを行い、3 回の写真展を通して、見る人にも地域への関心を働きかけることができた。また、市民センター4館との合同展示も行い、出展者同士、地域の話で交流することもできた。		

〔平成 24 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
和みカフェ～子育てを楽しもう	親子ピクスやわらべうた遊び、おもちゃ作りを楽しみ親子のふれあいを深めた。また、先輩ママとの交流会や参加者同士の情報交換をしながら仲間づくりにつなげた。	5 月 24 日 6 月 7・21 日 7 月 5・19 日	5	74
東口ゆうえんち	おもに小学 1～3 年生を対象に、公共性や社会性を高めるため、学区を超えて大勢で遊ぶ機会として、運動遊び、おやつ作り、実験遊び、おばけ屋敷を開催した。	5 月 19 日 7 月 14 日 11 月 10 日 2 月 23 日	4	173
巨大迷路で遊ぼう	少人数で遊ぶことが増えている子供たちに、ダンボールでつくった「巨大迷路」での遊びを通して、JL や幅広い世代のボランティアたちとの異年齢交流を体験する機会を提供した。	9 月 15・16 日	2	122
★写真講座	参加者同士交流しながら、デジタルカメラの上手な使い方、写真の見せ方などを学んだ。震災後の、今日ここからを大切にするため、身の周りのものなどの写真を撮って作品展をし、交流した。講座 4 回 作品展 1 回	6 月 1・8・15・22・29 日 ～7 月 12 日	5	65

《宮城野区》

就活力アップ講座	求職者が集まるこの地域で、就職に向けて実践力を学ぶ場を提供した。	9月 14・21・28日	3	9
整える力をあなたに ～体・心・暮らし	心と体を整えるために、筋膜をほぐし、骨盤を調整するセルフメンテナンスを学んだ。さらに整理収納を学んで暮らしと心を整えた。	10月 6・13・27日 11月17日	4	72
★生きるヒント	震災から1年以上が過ぎ、頑張り続けてきた人々が、自分自身の心や体を癒したり良好な人間関係を築くため、コミュニケーションや太極拳、心の元気作りについて学び、話し合った。	10月4・18日 11月 1・15・29日 12月13日	6	130
仙台古地図の旅	宮城野の移り変わりを、古地図と写真で学ぶことで、この地域への関心を喚起し、現在、将来について考える契機とした。	3月9日	1	37
★介護予防講座 ますます元気教室	榴岡地域包括支援センターと共催で、健康についての講話や軽体操をし、地域の高齢者が交流しながら介護予防に努めた。	4月18日 5月30日 6月13日 7月25日 9月26日 10月17日 11月28日 12月19日 1月23日 2月20日 3月6日	11	329
ふれあいコンサート	地域の方が気軽に音楽に親しみ集う場、音楽団体の発表の場として、コカリナやビッグバンド、胡弓などの演奏会を行った。	5月12日 7月14日 9月8日 11月10日 1月12日 3月9日	6	406
つつじがおかワイワイまつり	「榴岡かいわい学びのコミュニティ推進委員会」が企画運営するワイワイまつりの中で、地域の小学生に学年を超えた多彩な遊びと交流の場を提供し、子どもを見守る地域活動の充実を図った。	9月1日 1月26日	2	785
★地域の防災・防犯 情報発信	「災害に備えよう！街の真ん中で被災したら」をサブタイトルに、災害への備えについて過去の事例から学び、私たちにできることを参加者同士で話し合った。	9月1・8日	2	18
東口ガイドボランティア 養成講座	歴史ある仙台駅東口地域に愛着を持ち、その魅力を伝えるガイドボランティアの養成講座を開催。終了後は知識を深める学習会やまち歩き実習、特別公開講座など開催し、年度末には自主団体「宮城野さんぽみち」を立ち上げた。	5月9日 ～3月29日	27	302
★市民企画会議	仕事の関係などで日中、市民センターを利用する機会の少ない方を対象に、震災後1年を経た社会の共通課題の解決に役立つ講座を企画・運営した。	4月26日 ～1月10日	13	113
東口ゆうえんち企画 会	子どもの健全育成に関心の高い学生、社会人ボランティアの情報交換、スキルアップの機会とすることを目的に、「東口ゆうえんち」をより充実させるための企画・運営を行った。	4月14日 ～3月2日	10	73
★被災地は今	震災の記憶が薄れつつある今、復興の様子や被災地の状況などを伝えることで関心を喚起するため、パネル展示と仮設で作っている小物の展示を行った。	1月16日 ～2月16日	1	300
中央市民センター地 域懇談会	市民がより活動しやすい市民センター運営のために、中央市民センターの主催事業で活躍している市民と情報交換した。また、講座の参加者にこの地域についてのアンケート調査をすることで、市民の意識や要望をくみ取るよう努めた。	3月2日	1	14

高砂市民センター

〔沿革〕

昭和 43 年、仙台市高砂小学校校舎を改築し、高砂公民館として発足した。昭和 53 年宮城県沖地震で建物が大破し隣接する前高砂小学校給食センターを改築、昭和 54 年に移転した。平成元年「高砂市民センター・公民館」、翌年「高砂市民センター」と改称、その後平成 6 年高砂地区の中心部に複合施設として新たに開館した。この地区は、七北田川、貞山運河、蒲生干潟、そして南部には広い田園地帯が広がっている自然に恵まれた地域である。また東北の海の玄関口、物流の拠点である仙台港を配し、背後地には近年大型複合施設、大型商業施設等の進出も相次ぎ、急激な都市化が進んでいる地域である。平成 23 年 3 月に発生した東日本大地震により、沿岸部が津波で大きな被害を受けたが、平成 24 年 11 月に策定された仙台市震災復興計画のもとで、現在急ピッチで復旧・復興が進んでいる。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★高砂サローネ1010		
参加者	仮設住宅、みなし仮設住宅の居住者	参加延人数	336 人
開催日	全 13 回 4 月 28 日(土)、5 月 20 日(日)、6 月 8 日(金)・27 日(水)・29 日(金)、 7 月 7 日(土)、8 月 31 日(金)、9 月 27 日(木)、10 月 16 日(火)、11 月 17 日(土) 1 月 18 日(金)、3 月 6 日(水)・12 日(火)		
協力者・協力団体	地域ボランティア		
ねらい	東日本大震災以降、多くの家屋の流失や崩壊のため、高砂市民センター管内には8ヵ所の仮設住宅ができ、またセンター周辺のアパートには、みなし仮設住宅として多くの被災者が居住している。仮設住宅で実施した地域懇話会でメンタルケアや生活に生かせる講座の希望があり、生活基盤の再生を形成していくためにも参加しやすい講座を開設し、住民のコミュニケーション、そして塞がりがちなメンタルな部分のケアに寄与していく。		
概要・成果	インテリアの趣味を生かした講座、健康講座、おはなしおばさんとのお話会、ふれ合いコンサート等、多種にわたり講座を実施した。講座に参加しやすかったことで、震災後引っ越してきた住民の参加もあり、地域住民とのコミュニケーションが図れた。今後も一日でも早く新しい環境に馴染むよう、支援を継続することが必要である。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
地域子育てサロン出前講座 親と子のほっとタイム	センターから遠い距離で開催される「子育てサロン」で出前講座を開催し、子どもとふれあいながら学習できる場を設けた。	10 月 23・25 日 11 月 6・15 日	4	89
高砂子育て元気塾	震災後の地域を元気にしていくために、若い世代への支援として、子育て世代の親を対象に、子どもとの向き合い方や親自身のセルフケア等を学ぶ機会を提供した。	11 月 28 日 12 月 5・12・20 日 1 月 23 日 2 月 13・27 日	7	81
★「地域をつなぐ！」 あきらちゃん・ラーメンちゃんクリスマスコンサート	少しずつ復興が進み、小さい子どもを持つ家族も暮らし始めている高砂地域で、地域の子育て支援関係者と協働してコンサートを開催した。	12 月 16 日	1	340

＜宮城野区＞

地域小学校連携講座 「夏休み学びの講座」	地域小学校と連携し、夏休みに児童・保護者が参加できるさまざまな講座を開催し学びの場を提供した。ボランティア講師が活動する地域サークルと小学生が交流することで、青少年健全育成を図った。	7月30日 ～8月3日	11	314
宮城野区インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍しなければならない児童・世話人に子ども会活動の充実を図るための知識やレクリエーションゲームなどの学習をした。	2月23日	1	35
高砂老壮大学	高齢者に必要な講座を展開し、受講生の交流と親睦を図りながら、生涯において学習を続ける意欲を高めることにつなげた。	5月16日 ～2月20日	9	983
★こんにちは！高砂市民センターです。	仮設住宅入居者が興味を持つ内容の講座を展開し、「生きがい」を見つける活力を取り戻し、「学び」を通して地域を支える人づくりを推進した。	4月24日 ～3月30日	50	2,303
七北田川の歴史 そして復興へ ～運河と交易～	水路・陸路・鉄道など時代の変遷により物流の要として仙台を支えた七北田川下流水域を再考察した。	9月 8・15・21日	3	133
市民企画会「高砂の地元学ーおらほの歴史さがし」企画講座	東日本大震災で蒲生地区の歴史的資産・日和山や蒲生干潟など地域資産がなくなったが、まだ思い出すことができる今だからこそ、価値あるこれらの資産を記録に残し、次世代につなげる一助とした。	5月19・26日	2	52
★高砂地域復興支援 ～共に手をつなごう～	東日本大震災で甚大な被害をうけた高砂地区には、地元や他地域の多くの団体から励ましの申し出がある。これらの団体のボランティアの芽が育つよう活躍の場を提供した。	9月16日 10月5日 11月3日	3	470
★ボランティア養成講座「あなたも傾聴ボランティアになってみませんか」	家族を喪い、愛着のある家を流された哀しみを持つ人々にとって、今一番必要なのは「思いを話す」ことであるため、被害の程度を理解している地元の方を中心にボランティアを養成した。	8月22・29日 9月 5・12・26日	5	53
★市民企画会「高砂の地元学ーおらほの歴史さがし」	東日本大震災により大きく変貌したが、地域にまつわる諸々のことを学ぶことにより、地域に愛着を持って街づくりにつなげる講座を企画した。	4月13日 5月19・26日 6月8日	4	16
★市民企画会「中学生のサバイバル飯」	実際に被災した高砂中学校の生徒が企画委員になって東日本大震災当時の事を振り返り、家にある食材を使い、限られたライフラインを使って中学生だけで作れる「サバイバル飯」を考え、今後の災害に対する意識を高めた。	11月 27～29日 2月27日	5	34
TAKASAGO キッズ・クラブ	高砂中学校の各部に所属している生徒が、地域の小学生に指導し体験させることにより、中学生と小学生の交流を図り、中学生にとって地域ボランティア活動のきっかけとした。	9月29日 11月24日 12月5日 1月9日	4	103
地元学地域連携事業 高砂小学校区 地元学	高砂小学校の児童を対象に、地域の歴史や自然等について学びの場を提供し、地域の人や歴史への興味を喚起した。学びを通して、地域に愛着と誇りを持つとともに、地域講師との異世代交流も図られた。	9月7日 ～1月23日	11	1,136
★みんなで輪になろうー笑顔安心・いきいき高砂	東日本大震災後、様々な状況を抱える地域住民が交流を深め笑顔を取り戻せるよう、被災者も含め多くの人が声をかけあい集える場、再会し旧交を温め、郷土愛を確認してもらえる場として、まつりを開催した。	12月8日	1	1,215
高砂市民センターまつり	各世代が参加し楽しめるイベントやサークル学習成果発表で地域住民の交流を図った。小中学生の作品発表を通じて青少年健全育成へ貢献した。	10月27・28日	2	8,750
高砂市民センター懇話会	センターの事業運営に対する意見や、地域課題について意見交換を行った。	11月10日 2月13日 3月26日	3	36

岩切市民センター

〔沿革〕

当市民センターは昭和24年仙台市に設立された7つの公民館の一つで、平成2年「仙台市市民センター条例」により市民センターと名称が変更された。昭和56年12月に現在の建物が建設され、平成18年6月から12月に大規模改修が行われ現在に至っている。建物内部には市民センターのほかに、保健センター、老人憩いの家、コミュニティ防災センター資機材倉庫が併設されており、さらに平成22年3月より岩切証明発行センターが併設された。

当地区は宮城野区の北東部に位置し、美しい田園風景が広がる。古からの歴史と文化を伝える神社、仏閣、遺跡が点在している。近年は岩切駅前地区の再開発により若い世代の人口増加が著しい。人々の学習意欲は高く、自主サークル活動が盛んに行われてきた地域である。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●すずむしリンリン講座		
参加者	①④一般 ③岩切小学校4年生 ②その他	参加延人数	506人
開催日	全4回 ①7月28日(土) ②8月22日(水) ③9月6日(木) ④10月28日(日)		
協力者・協力団体	すずむしの里づくり実行委員会、宮城野区まちづくり推進課、岩切小学校、岩切保育所		
ねらい	仙台の「市の虫」が「すずむし」であることを、子どもたちをはじめ広く市民に知ってもらふ活動を継続することで、自然環境に興味・関心を持ってもらい、うるおいのある「まちづくり」を考える一助とする。		
概要・成果	すずむしの里づくり実行委員や宮城野区との共催・連携による事業を通じて開催されるすずむしの普及活動は年々広がりを見せている。特に小学校で行なわれる出前授業や保育所の子どもたちと一緒に放虫をとおして、小さいころから自然環境について考える機会を提供することができた。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
よちよちルーム	子育て支援サークルの多い地域であるが、市民センターからは遠い為、活動場所に出向き、防災意識向上を含む内容や親子で楽しむ講座を開催し、子育て支援と地域子育てサークルへの活動支援を図った。	2月14～25日	3	77
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図る為、子ども会のリーダーとして活躍する児童と世話人の研修を行なった。社会教育主事による講話・レクゲーム・工作など。	2月2日	1	35
子どもの広場	市民センターで活動するサークルや地域講師による様々な体験学習の機会を提供し、休日の子どもの居場所作りを行った。囲碁・将棋・ものづくり体験やジュニアリーダーとの遊びなど	6月2日～12月22日	12	129
昔あそび	子ども達と高齢者との世代間の交流を図った。お手玉・けんだま・こま回し等の伝統的あそびの交流会。	12月18日	1	66
岩切老壮大学	地域高齢者に充実した生涯学習の活動の場を提供し豊かなシニアライフを営む手助けを行った。軽運動や文学・健康講座等。	4月～3月	12	560

岩切老壮大学院	高齢化の進む中、地域の高齢者が心豊かにイキイキと生活できるよう学習の機会と場の提供を図った。又、自主的活動の充実に向けた支援を行なった。	4月～3月	10	612
すずむし里づくりコンサート	実行委員と共に仙台の虫「すずむし」の普及活動の一つとしてすずむしの魅力を伝えるコンサートの開催。併せて、すずむしの生態や飼育状況等のパネル展示や実行委員の活動を紹介した。	8月4日	1	90
仙台市域北部の奥州合戦	東北政治史を画する戦の一つが奥州合戦である。当時、岩切周辺は戦略的要地であった。歴史を通じ、当時の岩切を知ること地元の魅力を感じてもらい愛着を持ってもらうための講演会を行った。	7月14日	1	60
●地域連携企画講座 いわき親子でわいわい広場	岩切地区はJR岩切駅の再開発に伴い乳幼児の子育て世帯が年々増加している。安心して子育てができる環境づくりと仲間づくりのきっかけを提供できるよう、宮城野区家庭健康課・宮城野区中央市民センター・地域の子育て支援団体が企画会議を経て、連携して講座を開催した。	6月27日	1	232
図書ボランティア養成講座	新しい図書ボランティアの養成を図り図書室の活性化へ繋ぐため、活動概念や本の整理・補修の実技を学び、他施設で活動中のボランティアとの交流会を実施した。	7月26日 ～9月5日	3	20
★市民企画会議「歴史から見た岩切の東日本大震災」	過去の震災と東日本大震災を照合することで地域住民が防災害を考える企画を行った。会議～講座実施～反省会まで。	2月	1	2
家庭教育地域交流会	地域内の6つの団体が一同に会し情報交換をすることにより地域社会教育の普及と発展、及び内容の充実に繋げた。企画会議～講座実施～反省会の実施。	5月～2月	6	64
●岩切子育て講座 企画会議	「いわき子育てネットワーク」に所属する地域内の関係団体と連携し、子育て支援講座の企画と実施を行った。	6月～1月	8	441
★「ミュージカル in 岩切」いじっぱりの王様とみえっぱりの猫のはなし	東日本大震災は1年が過ぎた今も岩切地区の人々に大きな爪痕を残している。心の癒しが必要とされる中、ミュージカルを上演し、多くの方々に心温まるひと時を提供し地域を元気にする一助とした。	8月25日	1	140
地元学地域連携事業	岩切小学校の児童を対象に地域の歴史や自然等について学びの場を提供し、地域への興味を喚起した。学びを通して、地域に愛着と誇りを持つとともに、地域講師との異世代間交流も図られた。	9月19日 10月3・17日	3	121
市民センターまつり	市民センターで学習するサークルの学習成果を発表する場と世代を超えた交流の場を提供した。展示発表や出店、健康づくりコーナー等。	10月6・7日	2	1,200
岩切地域懇談会	市民センターの今後の取組みや事業運営に反映させるために、センター利用者、地域住民、諸団体と地域作りや課題等についての情報交換会を実施した。	12月18日 ～2月21日	2	19

鶴ケ谷市民センター

〔沿革〕

当センターが所在する鶴ケ谷地区は、東北最大級のモデル団地として、昭和 43 年入居を開始した新興住宅団地である。当館は、団地の完成とともに RC3 階建、温水プールを併設する施設として昭和 47 年 5 月 22 日に開館した。

その後、地域住民から生涯学習への要望が高まり、昭和 59 年から岩切公民館の協力を受け各種の講座が開設されることとなるが、本格的に生涯学習が展開されたのは、平成元年、市民センター・公民館として発足してからのことである。

平成 4 年 4 月には児童館が併設され、地域の生涯学習・児童福祉・コミュニティづくりの拠点となった。

平成 23 年 3 月の東日本大震災により使用不能となり、平成 24 年 3 月より会議室 2 室を備えた仮事務所で生涯学習事業を行っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★出前講座「君もプチレスキュー」		
参加者	鶴谷、西山中学 3 年生全員、西山小学校 6 年生全員	参加延人数	396 人
開催日	全 6 回 6 月 29 日(金)午前、午後、10 月 24 日(水)、11 月 1 日(木)、11 月 15 日(木) 11 月 16 日(金)		
協力者・協力団体	鶴谷中学校、西山中学校、西山小学校、宮城野消防署救急係、宮城野消防署予防係、宮城野消防署鶴谷出張所、仙台市防火安全協会救急サポートセンター、ドコモショップ泉店、東北福祉大学ボランティア支援課、鶴ケ谷地区民生委員児童委員、地域ボランティア		
ねらい	鶴ケ谷地区は高齢化が進んでいるため、高齢者・弱者に配慮したまちづくりが課題である。東日本大震災では、避難所となった中学校で本講座を受講していた卒業生等がボランティア活動を行い、地域の人々に高い評価を得た。若い層の力を必要としている地域事情を考慮し、中学 3 年生を対象に避難所運営に必要な知識・技能を体得させ、いざという時、地域の一員としてボランティア活動ができるように意識付ける。		
概要・成果	【避難所生活に必要な実技体験】 ・仮設トイレ組立訓練・災害伝言ダイヤル体験・AED を含む救急救命講習 ・災害弱者疑似体験・災害図上訓練 学校・関係諸団体の協力により充実した講座内容となり、受講生から「いざという時は学んだことを生かしたい」との感想が多く聞かれ、中学生の防災意識向上に大きな効果があった。西山中学校を会場とした回には、西山小学校 6 年生全員が参加し、中学生と一緒に講座を受け、地域の防災活動に対する理解の輪が広がった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会活動活性化のための知識と技術を学んだ。 ・講話「子ども会の活動について」・演習「ゲームのリーダーになろう」など。	2 月 9 日	1	60
つるがやキッズクラブ	学区を超えての仲間づくりを促進し、子どもたちの健全育成を図った。 ・ミニ七夕を作ろう・ジュニアリーダーと遊ぼう・いろいろな実験をしよう など。	6 月 30 日 9 月 8 日 12 月 26 日	3	50

≪宮城野区≫

鶴ヶ谷ことぶき大学	高齢者の生きがいづくり、社会参加の促進のため、月 1 回の定例講座を開催した。 ・「東北の経済の動き」・館外学習・医療講話・歴史講話・NIE講座・笙コンサート など。	5 月 16 日 ～2 月 20 日	11	663
ひょうたん沼を知ろう	市民企画会議「ひょうたん沼を知ろう」を経て企画し、地域住民の主体的な活動を支援するとともに地域コミュニティの活性化を図った。 ・歴史講話・巣箱づくり・観察会 など。	10 月 5・6 日 1 月 26 日	3	47
キャップハンディ体験	障がいを持つ人への理解を深め、弱者支援の手段について学んだ。 ・聴覚障がいについて・手話について・視覚障がいについて・白杖体験・車いす生活について・高齢者体験 など。	9 月 11・25・27 日 10 月 2・23・25 日	6	298
★鶴ヶ谷みんなの防災講座	鶴ヶ谷地区の防災について学習し、地域の絆を深め、災害に強いまちづくりの一助とした。 ・講話「災害に備える―住まい編」・減災すごろくで学ぼう・実習「非常時のカンタン調理」	7 月 3・10・17 日	3	32
●宮城野区役所連携「鶴ヶ谷地区健康まちづくり事業」	区役所と連携し、幅広い年代の住民が健康で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、・ワークショップによる健康づくり情報紙の発行・デジタル写真撮影ワークショップ・健康講話 などを行った。	8 月 3 日 ～11 月 13 日	10	198
おはなし会をひらこう	おはなしボランティア活動へのきっかけとし、子どもの読書活動推進を図るため、中高生が、手遊び・読み聞かせ・紙芝居などの勉強をし、発表の場として「おはなし会」を開催した。	11 月 20 日 12 月 1・15・22 日	4	54
市民企画会議「ひょうたん沼を知ろう」	地域住民の声を受け、市民企画会議を実施。地域コミュニティ活性化を図るためにひょうたん沼に親しむための講座を企画・実施した。	6 月 19 日 7 月 7 日 9 月 8 日 2 月 16 日	4	20
鶴ヶ谷市民センターまつり	センターまつり実行委員会と地域団体の協働により、コンサートを主体としたセンターまつりを開催した。 ・マリンバコンサート・地域サークルの作品展示・地域サークル活動情報の掲示 など。	10 月 27 日	1	180
鶴ヶ谷市民センター地域懇談会	町内会・諸団体・サークルなどとともに地域課題に関わる意見交換・生涯学習活動支援・市民センターへの要望などについての話し合いを行った。	9 月 1 日 3 月 26 日	2	62

榴ケ岡市民センター

〔沿革〕

日本住宅公団の高層共同住宅の建設に伴い、一階・地階部分の一部を市民会館の分館として位置付け、昭和48年6月に開館し、平成元年4月に公民館が併設され、翌年4月に榴ケ岡市民センターに改称された。

当市民センターは、市民の憩いの場である榴岡公園の東側に位置し自然環境に恵まれ、近くには仙台市歴史民俗資料館・国の合同庁舎・クリネックススタジアム宮城などがある。中心市街地として都市基盤整備が進み古くからの街並みが日々変化している中、新旧地元住民の交流の場として、また各種会合や生涯学習活動の場として多くの人々に利用されてきたが、平成24年7月31日に本館を閉館。同年8月28日に榴岡公園軽体育館の名称を榴ケ岡市民センターへ変更した。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	榴ケ岡かいわい伊達日和		
参加者	成人	参加延人数	64人
開催日	全3回 7月11日(水)、7月18日(水)、7月25日(水)		
ねらい	仙台駅東の開発が進み、新しいマンションと共に新住民が増えている榴ケ岡市民センター周辺は仙台中心部の東側にあり、仙台藩時代に関する史跡なども多く残っている。新旧住民が榴岡周辺の歴史・文化・自然などを学び、地域の魅力を再発見をする。		
概要・成果	榴岡公園を中心に歴史がボランティアと、歴史民俗資料館の学芸員による講話で歴史・石碑・樹木など多方面から学ぶことができた。発展を続ける町の古い歴史や文化を知り、町の魅力再発見をする機会を提供することができ、町への愛着と興味関心を高めることができた。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
榴ケ岡おはなしの部屋	地域に住む若い世代の親子を主な対象に、地域の読み聞かせボランティアが趣向を凝らしたプログラムで読み聞かせ・手遊びなどを開催。親子のスキンシップや参加者同士の交流を図った。	10月24日 2月27日	2	57
星空観察会 in 榴ケ岡	日頃、天文に馴染みのない方に、榴岡公園にベガ号にきてもらい、天文台職員による分かりやすい解説を聞きながら、星空に親しむ場を提供した。	3月15日	1	55
ジュニアと遊ぼう	小学生を対象に、ジュニアリーダーから工作やゲームで遊びを教えてもらった。学校や学年を越えて交流を図るとともに、自分で工作をして遊び道具を作り、あそぶ楽しさを体験する場を提供した。	10月30日	1	5
インリーダー研修会	市民センター管内3小学校に通う児童が所属する子ども会の活性化を図るため、子ども会の核となるインリーダーと世話人を対象に、子ども会に関する知識の習得と運営・技術を学ぶ機会を提供した。	2月16日	1	79
地域が伝える「平和学習」	第二次世界大戦から戦後の激動の時代を生きてきた世代の地域住民が近隣の小学校へ出向き、自身の体験を伝えることで、子ども達が平和の大切さについて学び、考える機会を提供した。	11月20日 12月7日	2	99

榴ヶ岡老壮大学	社会状況の変化に対応する現代的課題・一人ひとりの人生を豊かにしていく教養講座・健康に過ごすための学習会を開催し、また、学びを通じた交流も図った。	4月19日 ～3月9日	12	1,123
●未来に遺そうすずむしの里	管内小学校へ出前授業を行ない、子ども達にも仙台市の象徴としての「すずむし」を知ってもらうとともに、小さな命を守り育むことの大切さを学ぶ機会を提供した。	8月4日 9月5日	2	173
市民企画講座 「みやぎのはぎ楽舎 ～地域と学ぶ～」	地域に多く居住する高齢者の健康維持、地域資源の活用、住民間の交流として、「体に良い発酵食品の料理講座」「ラフターヨガの体験」「ちんどんパフォーマンス」を実施。	7月20日 11月9日 2月1日	3	42
「平和学習」語り部ボランティアブラッシュアップ講座	語り部ボランティアが自分の思いをより正確に子どもたちへ伝えられるように、話術や思考をまとめる方法など基本的な技術を学んでもらい、一人ひとりのスキルアップを図った。	9月26日 10月 3・10・17日	4	42
みやぎのはぎ楽舎 「～地域と学ぶ～」企画検討委員会	学びを通じた地域のコミュニティづくりを推進するため、市民センターと五輪町内会とがいっしょに地域の課題やニーズを把握し企画を検討した。	5月15日 ～2月22日	8	50
「萩こぼれて」企画検討委員会	榴ヶ岡市民センターと管内4社会学級が集い、地域活性化に向けた取り組みについての情報交換などを行い、地域への情報発信や地域コミュニティの活性化を図るための事業企画を検討した。	6月5日 ～10月31日	4	32
萩こぼれて企画検討委員会企画講座 「和・輪・話で踊ろう！」	地域住民が気軽に参加しやすく健康増進に繋がるフォークダンスや茶話会を開催し、交流を図った。又各社会学級の活動報告行い、社会学級への理解と参加を促すと共に地域住民の輪が広がった。	9月6日	1	60
原町小学校地元学	地域とのつながりが求められている現在、学校・センター・地元関係者で地元学推進委員を組織し、学校に出向いて昔の原町地域の話をして地域住民と小学生の交流を深めた。	6月28日 7月6・18日 9月28日	4	424
★ハートフルコンサート in 榴ヶ岡 榴ヶ岡に自衛隊音楽団がやってくる♪	東日本大震災における災害派遣活動により、自衛隊をより身近に感じるようになった。そこで、音楽団を招き、音楽で参加者の心を癒すとともに、活動中にあった心温まるエピソードを披露してもらい、相互交流を図った。	7月28日	1	112
榴ヶ岡センターまつり	榴ヶ岡市民センター・榴岡公園軽体育館の利用サークル合同で日頃の学習活動成果を発表する場としてまつりを開催した。まつりを通して地域住民が気軽に集い、楽しく交流ができる場と機会となった。	10月27日	1	800
榴ヶ岡市民センター・榴岡公園軽体育館懇談会	榴ヶ岡市民センター及び榴岡公園軽体育館両館の利用者、町内会役員、地域住民など各層の方々に両館の併合に伴う今後の動向を報告すると共に地域情報や課題の共有・解決にむけた意見交換を行った。	6月 15・27・29日	3	24

東部市民センター

〔沿革〕

昭和 47 年 5 月に旧保健所庁舎の一部を改装し開館した「東部市民福祉会館」を前身としている。昭和 58 年 4 月に改築され、平成に入り「東部市民センター」に改称、平成 5 年 4 月には「東部児童館」が併設されている。また、この地域は鉄道景観が見事に交錯する街並であり、東北本線、仙石線、貨物線、新幹線等がある。

当市民センターは、宮城野区役所から北東へ約 0.7km の地点に位置し、南に国道 45 号線 (R45) と北に利府街道、その中間を跨ぎ繋ぐ形で、通称「中原地区」といわれる住宅地にある。また、付近には、東仙台・苦竹・原町などそれぞれに歴史を持つ住宅地や商業地が広がっている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	地域防犯講座「中学生が自ら考案した防犯劇」/中学生地域貢献講座企画会議		
参加者	地域高齢者/仙台市東仙台中学校 生徒	参加延人数	236 人
開催日	全 1 回 8 月 10 日(金) /企画会 6 月～8 月全 20 回		
協力者・協力団体	仙台市立東仙台中学校 防犯ボランティア「スーパーアルカス」/宮城県仙台東警察署		
ねらい	地域住民に向けて東仙台中学校の防犯ボランティア「スーパーアルカス」が防犯寸劇と注意喚起メッセージ発信などの講座を行う。 地域の防犯協会や社会を明るくする運動の活動と連携し、防犯意識の向上を図り、地域ぐるみの防犯を促す。 /東仙台中学校の生徒会や防犯ボランティア「スーパーアルカス」有志を核として中学生が地域課題（防犯）のためにどのような事が出来るかを考え、講座を企画し運営をする。		
概要・成果	平成 24 年度も地域の高齢者向けに中学生自身が防犯講座を企画・演出・公演を行った。宮城県仙台東警察署と協力し、地域の現状と課題を検討しながら中学生が脚本を作成した。これにより、地域の高齢者をはじめ住民の防犯意識を啓蒙啓発することができ、中学生の防犯活動を通じたボランティア活動を周知するきっかけとなるとともに、中学生の地域貢献の意識向上も図ることができた。また、市民センターがコーディネーターすることで多様な団体とのネットワークの構築や異世代交流に繋がった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子で体験！苗から作るトマト料理	地域の畑を借り、畝作りから、苗の植え付け、支柱作り、芽かき、草取り等を体験し、苗からトマトを育て、収穫したトマトでパスタ料理を作り参加した親子で味わった。	5 月 12 日 6 月 9・23 日 7 月 14・28 日 8 月 4 日	6	68
仙台市子ども会インリーダー研修会	児童はインリーダーの心構えを学習した後、行事プログラム作りを体験し、世話人は子どもの現状と子ども会について講話を聞いた後、情報交換をした。児童の作成したプログラムの発表の後、児童と世話人がいっしょに、ジュニアリーダーの指導で、レクリエーションゲームを体験した。	2 月 3 日	1	56
東部こどものひろば	(ワークショップ)・環境局共催「水の搜索人」 (紙芝居)電機紙芝居 (工作教室)作って遊ぼう！梅田川カルタ (工作教室)「お正月飾りを作ろう」	7 月 28 日 9 月 19 日 11 月 17 日 12 月 21 日	7	565

	(かるた大会)カルタdeカルタ (体験学習)地域の方と昔あそびをしよう (コンサート)親子で童謡コンサート	1月12・24日 2月27日		
シニアのための軽運動教室「毎日笑顔でストレッチ」	高齢者が無理なく楽しくできるストレッチ体操の実技と生涯現役で過ごすための毎日の生活についての講話	11月14・28日 12月5・12日	4	113
東部いきいきスクール	開講式・オリエンテーション、物忘れと認知症、川柳に挑戦、健康ウォーキング、映画上映会、口腔衛生の講話、落語寄席やギター演奏の鑑賞、仙台市天文台、仙台文学館の見学、クリスマスの交流会、閉講式を開催した。	4月18日 ～3月6日	11	354
地域を繋ぐ仙台七夕	センターで伝統の仙台七夕作り教室を行い、家に持ち帰れるミニ七夕と、屋外に飾る七夕の2種類を作った。地域の小中学校と連携し、近隣の商店街に飾り、地域活性に寄与した。	6月28日 7月5・12・18・ 19・26日 8月4・10日	8	71
東仙台苦竹を写真で残そうわが町・わが風景	・地域の素材を活かす地域づくり講演会 ・地域の素材を活かす撮影方法 ・地域の素材を撮影したものを活用するには ・地域づくりに参加(コンテスト応募) ・地域づくり懇談会	9月1・15日 10月13・27日 11月10日 2月16日	6	92
とうぶ秋休み体験隊	昔の体験プログラム「炭を使って蒸しかまどでご飯を炊こう」にもとづき、米を研いだり、マッチで火をつけたり、炭を熾す体験をして、羽釜で炊いたご飯を試食した。	10月10日	1	13
広げよう！緑のカーテン	【実技】朝顔・へちま・ゴーヤの育苗と緑のカーテン設置作業。 朝顔の花を押し花にして、コースター作り ゴーヤ料理を使った調理実習 【講演】緑のカーテンの環境効果について	6月8日 8月1・7・24日 9月8日	5	34
★今こそ学ぼう「防災減災術」	東部管轄地域で、東日本大震災の発生時、多くの避難所生活や自宅での不自由な生活を経験した。そこでこの経験をふまえ、それぞれの異なる課題に即した災害に対する備えと対応を学び、町内会や各種団体等地域連携による防災力の向上を図った。	7月7・28日 10月28日 12月19日 2月13日	5	171
幼児のための読み聞かせボランティア講座 はじめての読み聞かせ	見守り型の同室託児の環境の中で、わらべ歌や手遊びを導入として、読み聞かせの楽しさを体験し、最終回は、実際に、子どもたちに読み聞かせを披露した。	11月 1・8・15・22日	4	47
地域プロデュース 東仙台耀きクラブ	講演会 ・地域の素材を活かす地域づくり グループワーク ・地域の素材とは/地域の未来について ・地域の未来像・地域づくり懇談会 館外学習 ・地域づくりの拠点見学/先進事例に学ぶ	9月1日 11月10日 12月15日 1月19日 2月23日 3月2・16日	7	62
東部ふれあいまつり	当市民センター利用サークルの作品展示と舞台発表と小中学生の作品展示、バザー、模擬店、抽選会	9月30日	1	1,200
★東日本大震災後の地域の活動記録	各町内会・連合町内会・商店街商興会・学校関係者等による震災時の避難所運営等の記録をまとめた。	4月20日 ～3月20日	12	12
東部市民センター地域懇談会	事業計画企画について説明し、地域の方からご意見を伺い併せて地域の方々のニーズを把握したまた、地域課題を全体で共有した。	6月5日 10月23日 2月19日	3	56

幸町市民センター

〔沿革〕

平成 5 年 4 月 20 日、幸町児童館及び幸町コミュニティ防災センターを併設した複合施設として開館した。

当施設がある幸町中学校区は、近年大型商業店舗の進出、民間マンションの建設などで町並みの変容著しい幸町・大槻地区と、与兵衛沼、柊江の森などの緑豊かな自然に恵まれた柊江地区からなる。仙台市ガス局をはじめ、県・市障害福祉センターなど公共施設やきぼう園、いずみ授産施設などの福祉施設とともに、国、県、市の公営住宅があり、民間も含め、集合住宅が多い地域でもある。ここ数年で地域の環境は大きく変化し子育て中の世代や若年層の住民の増加がみられる。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	学校へ行こう隊 戦争体験語り部講座		
参加者	地域住民	参加延人数	47 人
開催日	全 11 回 5 月 31 日(木)、6 月 26 日(火)、9 月 7 日(金)・21 日(金)、10 月 12 日(金)、 11 月 2 日(金)、12 月 11 日(火)・13 日(木)・18 日(火)、2 月 19 日(火)		
協力者・協力団体	戦災復興記念館、幸町南小学校、柊江小学校		
ねらい	戦争体験を語り継ぐ語り部として、地域住民を対象に養成講座を行い、グループまたは個人としてより広く活動を平和学習の大切さを子ども達に伝承していくことを目的とする。		
概要・成果	実際に戦争体験したことをどのように伝えるかについて、学校側の要望などを踏まえた講座の内容とした。 戦争を体験していない世代の参加者も、実際に体験した話を聞き、平和教育の観点から子ども達へ戦争の悲惨さを含めて語り継ぐことの大切さを考える機会となった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
親子で挑戦！ 地域(仙台)を知ろう	体験学習として、万華鏡づくり、自然散策、仙台みそづくりと、植物に関する講話を実施	6 月 30 日 ～10 月 28 日	4	94
にこにこママの子育て講座	親子一緒に、音楽鑑賞やリトミックや子育てについての講話と相談や話し合いを実施	6 月 15・29 日 7 月 6・20 日	4	73
さいわいどんぐりクラブ	体験学習を主体として、和楽器体験、工作、自然観察、ケーキづくり、ヒップ・ホップを実施	5 月 19 日 ～1 月 19 日	5	78
仙台市子ども会イン リーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に、子ども会活動に役立つ知識やレクリエーション・ゲームを実施	2 月 17 日	1	49
幸町生涯大学	開講式・エンディングノート・ラフターヨガ・仙台市電が走っていた頃・脳トレーニング・認知症予防について・懐かしい歌などを実施	4 月 26 日 ～2 月 14 日	11	478
ようこそ幸町 ～陽だまりサロン	茶話会で今年度の講座の内容の話し合いを行い、幸町地域の散策・絵手紙・陶芸・折り紙・調理実習・ラフターヨガを実施	5 月 16 日 ～1 月 16 日	14	157

＜宮城野区＞

ハッピーナイトコンサート	幸町南小学校 KONAN' S・BigBearLightMusicOrchestra ジャズバンドによるクリスマスコンサートを実施	12月15日	1	180
わいわい農園 Part2 「野菜を育てよう会」	野菜作りの基礎を学び、野菜の苗植えから収穫まで一連の活動を実施。終了後、自主的な活動を実施	4月28日 ～8月25日	8	75
★市民企画講座 3.11から学ぶこと ー震災体験を活かそうー	震災の体験を活かし、役立った品物などワークショップやアンケートから情報を集め冊子づくりを実施	10月25日 ～2月21日	10	74
さいわいふれあい講座	障がいの理解・障がいのもつ方からの講話やワークショップを行い、福祉センターで行っているクワイヤチャイム音楽広場の参加体験を実施	2月6・20日 3月6・17日	4	31
幸町市民センター・児童館ふれあいまつり	ステージ発表・作品展・出店コーナー・ジュニアコーナー・児童館コーナー・環境コーナー・防災コーナーなど実施	11月18日	1	3,000
ジュニアリーダーとあそぼう	小学生を対象にゲーム・工作づくり、などを実施	7月25日 11月18日	2	33
市民企画委員会	防災をテーマに講座の企画・運営を実施	6月14日 ～3月13日	17	90
幸町地区社会学級との事業企画会	社会学級との情報交換を行いながら、連携事業ハッピーナイトコンサートの企画・運営を実施	6月15日 ～1月30日	6	13
●幸町南学区地元学推進事業	幸町南学区地元学推進委員会を立ち上げ、幸町南小学校の児童を対象に講話やワークショップを実施	7月31日 ～3月15日	6	474
★一人ひとりやさしい 防災の輪（地域の絆づくり推進事業）	地域づくり推進事業企画会議を行い、福祉を視点避難所や、被災した女性のアンケート調査からの課題について講話やワークショップを実施	9月14日 ～3月2日	5	48
幸町市民センター地域懇談会	幸町地域の有識者、地域団体の方々から、震災により利用団体が減り、「ふれあいまつり」を盛り上げるための意見交換を行い、対策についての話し合いを実施。	6月26日 ～2月5日	3	32

田子市民センター

〔沿革〕

平成 11 年 8 月、仙台市で 53 番目の市民センターとして開館した。仙台市東部に位置し、市中心部と直結する JR 仙石線(最寄駅: 福田町駅)や国道 45 号線等の交通利便性から人口が増加し、近郊都市化が進行している田子地域にある。施設の特徴としては児童館とコミュニティ防災センターを併設し、多目的ホールや会議室 2 室、和室 2 室、調理実習室、児童館図書室などがある。幼稚園や小中学校、高校等の教育施設に恵まれ、地域リーダーとして活躍する人材も豊かで、地域づくりに関する住民意識が高く、防災訓練等の特色ある活動が活発に行なわれている。

本市民センターは、これらの立地要件を活かし、地域団体や学校との連携に努め、事業を展開している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★みんなで学ぶ地域防災		
参加者	田子中学校生徒・田子中学校区10町内会	参加延人数	705 人
開催日	全 3 回 11 月 10 日(土)、12 月 1 日(土)、12 月 8 日(土)		
協力者・協力団体	田子中学校、田子中学校区 10 町内会、高砂地区第一民生委員児童委員協議会、福田町包括支援センター		
ねらい	田子中学校区 10 町内会と田子中学校が合同で防災訓練を行うことで、生徒と地域住民が一体となり、発災時における協力体制とそれぞれの役割を認識し、東日本大震災によって明らかになった地域協力の重要性を再確認する。 また、避難所運営のノウハウを学び、地域防災に対する意識を高め災害時に備える。		
概要・成果	田子中学校と学区内の 10 町内会および市民センターが地域防災訓練実行委員会を組織し企画・運営。実行委員会の提案により、事前に授業のなかで町内会毎に生徒と打合せ会を行い、中学生が自らの役割を組入れた訓練内容となった。その結果、中学生の自主性を高め地域の一員としての自覚や責任感が育まれ、町内会ごとの状況に即した現実的な訓練へとつながり、有事の際に行動を共にする相手や各自の役割について確認することができた。また、避難所運営ゲーム(HUG)・災害図上訓練(DIG)を事後学習として行うことで、災害時を想定して地域を見直し、地域の特性、弱点、長所を確認することができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会活動を担う小学生を対象にインリーダーの心構えの講話と行事プログラム作りや紙飛行機作りの実技を行い、世話人対象に役割についての講話や情報交換を行った。その後全員でレクゲームの進め方をジュニアリーダーより学んだ。	3 月 3 日	1	14
夏の講座	デイキャンプ・手話・動物とのふれあい・茶道・表現あそび・工作・コンサート・天体観測など、主に地域人材を講師とした、小学生対象の体験学習講座	7 月 22 日 ～8 月 3 日	12	361
自活力を高める 手間いらずの男の料理	料理初心者男性を対象に基本的な調理法を学んだ。「ご飯の炊き方と味噌汁」「電子レンジを使った簡単料理」「ヘルシーなバランスのとれた献立」など	10 月 6・13・27 日	3	14

緑でつながるひととまち 園芸講座	土づくりや苗えらび、剪定、花壇づくりなど、園芸の基本と、園芸を地域緑化、まちづくりへとつなげる取り組みを学習した。	6月1日 ～9月7日	5	87
気軽！お手軽！運動タイム	高齢者を対象に、関節の運動、日常生活で出来るストレッチ、脳を活性化するゲーム等の実技と健康づくりや熱中症対策などの講話を行った。	6月6日 ～8月29日	10	206
田子老壮大学	講話「漢方による生活習慣病予防」「振込め詐欺から身を守る」「仙台ゆかりの小説家」「幕末の仙台藩」実技「歌を通した健康づくり」「座ってできるストレッチと筋トレ」、二胡コンサート、納涼落語、映像鑑賞	5月9日 ～1月9日	10	423
★仙台港をめぐる物流の歴史と変遷、そして復興	近代の歴史と復興をテーマに「御舟入堀と木道社」、「野蒜築港から仙台港までのあゆみ」、「仙台塩釜港の復旧について」講話を行った。	9月 8・15・21日	3	133
学びの杜	田子小・高砂小の3年生を対象に七北田川に遡上する鮭の採捕と採卵・授精と稚魚の放流を体験できる学習講座の実施	11月16・27日 ～3月5・8日	4	344
みんなで学ぶ地域防災	田子中学校と地域10町内会が合同で行う地域防災訓練と、訓練のフォローアップとなる避難所運営ゲーム(HUG)と災害図上訓練(DIG)の体験	11月10日 ～12月8日	3	705
本はすてきなパートナー	いまどきのお奨めの本の紹介と小学1年生を対象に本の読み聞かせの実技、館外学習としてトーハンの選書を体験した。	11月 7・21・28日	3	25
傾聴ボランティア養成講座	傾聴の心構え、進め方、効果やメンタルヘルスについての講話とロールプレイによる実技体験を重ね、後半に2回は福祉施設で体験実習を行った。	11月8・15・ 22・29日 12月6日	5	28
市民企画会議「田子を愛する住民塾」	高齢者の生きがいづくりのためのアンケート実施。質問項目の洗い出し、アンケート用紙の作成、配布方法の検討、配布依頼先への交渉、回収箱の製作と設置、回収、集計作業、分析、報告書の作成。	4月18日 ～3月19日	19	116
ちょっとひと息タイム～子育てしゃべり場～	社会学級と連携し、学校の枠を超えて様々な世代が子育てへの思いを語り合える場を開催。全体でのアイスブレイクの後、グループごとに子育てや教育をテーマにおしゃべり会	12月13日	1	27
たごっ子まつり	田子小・田子中ジョイントコンサート、消防分団や高砂日赤奉仕団・地域の活動団体やサークルによる展示発表とステージ発表、田子小・高砂小・田子中・宮城野高の作品展示各町内会による模擬店。	2月16日	1	2,200
田子市民センター懇談会	各町内会長・学校・地域団体と①年間の行事等についての情報交換②防災訓練についての意見交換③次年度事業についての意見交換を行った。	6月28日 12月4日 3月2日	3	47

福室市民センター

〔沿革〕

この地域は西に七北田川、北は多賀城市に接し、南は仙台港背後地に囲まれた地域で、かつては豊かな田園地帯であった。昭和 30 年～40 年代にかけて住宅地や市営住宅が造成され、住環境が急速に整備された。国道 45 号線、JR 仙石線の沿線という利便性から、最近では仙台港背後地の開発や商業施設の増加に伴い、高層住宅、集合住宅が増え、人口は増加傾向にある。旧来の農地は激減したが、今も七北田川周辺の豊かな自然は健在である。当センターは中野中学校区を対象地域として平成 15 年 3 月に開館し、児童館、コミュニティ防災センターを併設。年々利用者も増加し地域住民の生涯学習の拠点として、広く親しまれ利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「仙台藩と和田家の系譜」		
参加者	成人	参加延人数	138人
開催日	全2回 7月21日(土)、7月28日(土)		
協力団体	仙台市博物館		
ねらい	大震災で甚大な津波被害を受けた蒲生地区は、かつて伊達家の家臣であった「和田家」が所領していた。仙台藩の発展に寄与した三人の当主を取り上げ、当主たちの生きざまや時代背景を学び、震災のためかつての景観が失われた地域の歴史を振り返る。		
概要・成果	豊かな自然や歴史遺産に恵まれていた蒲生は、町も、武家屋敷の風情が残る一帯も津波に流され、多くの犠牲者を出した。地域の面影が失われたことで、この地域の貴重な記憶をたどることは困難になり、風化も進むであろうことを懸念し、市民企画員が「和田家」をテーマに取り上げた。 講座には「和田家」の子孫や、かつての居住者はじめ多くの受講希望者が殺到した。関係資料が少ない中、講師の尽力で興味深い内容を提供でき、震災以降、地域の歴史を学びたいという受講生の要望に応える事ができた。また、歴史を学ぶことを通して、地域への愛着を深め、被災地の再生について思いを新たにできる機会となった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
インリーダー研修会	子ども会の児童および世話人を対象に、子ども会の意義や、インリーダーの役割を学ぶとともに、行事の企画づくりと集団ゲームの実技演習を行った。	3月2日	1	45
学社連携事業	地域の方を講師に、福室小学校と「福室歴史探検隊」「昔あそび」、中野栄小学校とは「昔あそび会」「戦争体験を語る」「地域の昔の話～農作業編～」を行った。	9月6日 ～1月23日	5	569
★三館連携事業「七北田川下流域の歴史そして復興へ」	かつて仙台藩の物流の拠点であり、後に東北発展になくなくてはならない物流拠点として発展を遂げた地域の歴史を振り返るとともに、震災復興へといち早く動き出した仙台港地域を考察した。	9月8日 ～9月21日	3	133
福室老壮大学	「仙台藩の歴史」「マジックショー」「ジェネリック薬品」「映画鑑賞」「津軽三味線」「奥の細道文学講話」「歌声サロン」「落語の会」などの講話と実技を行った。	5月～2月	10	746

＜宮城野区＞

ふくむろ和みサロン	地域の集会所に出向き、高砂西区町内会「なつかしの仙台8ミリフィルム鑑賞会」、中野栄コミセン「仙台にゆかりのあるレコードの蓄音機による鑑賞会」、高砂東町内会「歌って元気！うたごえサロン」を行った。	11月6日 ～3月3日	3	145
★みなし仮設入居者支援講座	センター管内のみなし仮設住宅の入居者が、旧来の地域住民と出会い、交流する機会づくりとして、①昔の仙台ゆかりの映像を見て語り合う会 ②地元有志の出演者とプロのチンドン屋を招いての”縁芸会”を行った。	10月23日 3月16日	2	101
社会学級との連携事業	社会学級との講座の企画打合せを経て、Ochla木管五重奏による「音楽から元気をもらおう！～仙台フィル復興コンサート～」を行った。	6月14日 ～12月13日	4	154
市民企画講座 「子育てママのほっこりサロン」	0歳～3歳児の親子を対象に「てあしでベタベタ～フィンガーペインティング～」、「優しいクリスマスお菓子づくり」、「ぼっかぼか親子ピクス」の講座を実施した。	9月12日 12月5日 2月14日	3	118
市民企画講座 古代を体験し隊「古代米づくりに挑戦！」	かつて米作りが盛んであった郷土のいしえ人の稲作、日々の暮らしに思いを馳せ、古代米作りや土器づくり等で、古代人の知恵と工夫を学んだ。	5月27日 ～11月18日	7	120
★ふくむろ防災塾	震災の教訓を活かし、安心安全な地域づくりを推進するため、町内会等関係機関と連携しながら地域全体での防災組織整備、防災訓練など、防災力の向上を図った。	4月～11月	17	424
ふくむろ「あそび」の応援団	あそびの応援団として、話し合いや実技練習を重ね、中野栄小学校と福室小学校1年生の授業「昔あそび会」の支援を行った。	6月15日 ～2月1日	8	76
緑のまちづくり 庭木剪定講座	「緑化・剪定について」の講義の後、市民センターの植栽の剪定と近くの公園のクロマツで剪定の実技を行った。	6月23日 ～10月6日	4	53
市民企画「子育てママの市民企画会Ⅱ」	子育て中のママ企画員と「子育て中のママたちが今やりたいことは何か」を話合って3講座を実施した。講座実施に向けて参加者のプレゼント用メダルやクリスマスカードの作成も行った。	5月～2月	22	99
市民企画会	市民センター事業の企画、運営に関わり、自分たちの企画案を実践していくことで、地域に目を向け、まちづくりへの参画意識を高めた。	4月～2月	22	147
福室学びのコミュニティづくり推進委員会	年間を通して「福室小おやじの会」「福室小PTA」との協議を重ね、定例行事の「ピザ作り体験」「もちつき体験」を行った。また、児童館行事への協力、新行事の準備に努めた。	5月～1月	5	39
学コミ推進事業講座 「福室みんなの体験楽校」	「福室学びのコミュニティづくり推進委員会」での会議を経て、定例行事の「ピザ作り体験」「もちつき体験」の開催と、児童館行事「デイ・キャンプ」への協力を行った。	8月25日 9月29日 1月19日	3	234
★復興絵馬づくり講座	所管エリア内に間借りしている中野小学校5・6学年を対象に、復興への思いを新たにするための段ボール製の絵馬づくりに取り組んだ。完成した絵馬は学校と市民センターに展示し保護者や地域住民に披露した。	11月14・21日 1月5～31日	3	62
福室市民センターまつり	地域住民の交流と、地域で活動する個人・サークルの日頃の学習成果発表の機会として、「作品展示」「舞台発表」「出店販売」等を実施した。	11月3日	1	2,600
地域懇談会	地域の単位町内会会長や、学校長、地域団体代表などの参加により、市民センターと地域のキーマンとなる人々の間で情報共有を図った。	5月9日 10月4日	2	19

若林区中央市民センター

〔沿革〕

昭和 53 年、当時の養種園の改築に伴い、養種園の複合施設として「南小泉市民福祉会館」の名称で開館した。その後、条例改正により「南小泉市民センター」と名称を変えたが、平成 5 年 9 月 28 日、若林区文化センターの新設に伴い移転し、現在の「若林区中央市民センター」となった。旧建物は、児童館・社会福祉協議会等との複合施設となり、「若林区中央市民センター別棟」として運営されている。

若林区文化センターは、市民センター・図書館・市政情報センターが併設されている複合施設であり、当市民センターは地域の生涯学習活動の拠点として多くの区民に活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	親子で楽しむおはなし音楽会		
参加者	未就園児の親子	参加延人数	128 人
開催日	全 2 回 7 月 5 日(木)、11 月 29 日(木)		
ねらい	親子での共有の時間を本の読み聞かせと音楽で楽しみ、参加者の交流を図る。お話と音楽をコラボレーションすることにより、本の楽しさを知る場を提供する。		
概要・成果	1 回目：読み聞かせと吹奏楽アンサンブル 2 回目：読み聞かせとトーンチャイム 音楽と読み聞かせのコラボレーションの部分も多く内容も充実しており、好評を得た。未就園児親子が、周りに気兼ねなく音楽を楽しめる場として定着しつつある。次年度は、さらに参加者同士の交流の要素を取り入れた内容で講座を実施する予定である。		

〔平成 24 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
家庭教育講座 幼児編「わたしと子どもと子育てと」	子育て中の保護者が、講話やワークショップを通し、「子育てはマニュアル通りでなくていい」「ママじゃないわたしも大切に」「身体を使って遊びましょう」などを学んだ。	7 月 20・27 日 8 月 3 日	3	38
サイエンスたまため箱	学校や地域を越えた交流を図り、科学への関心を引き出すため、万華鏡の仕組みや流れる空気の不思議(ブーメラン作り)などの科学実験工作を行った。	6 月 30 日 11 月 4 日	2	30
子どもクッキング	体験活動を通じて食への興味を育み、食習慣の重要性を身に付けるために、「七夕」「お月見」「クリスマス」の旬の食材を使った行事食を作った。	7 月 8 日 10 月 6 日 12 月 2 日	3	44
子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習した。	2 月 23 日	1	82
秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」—ジュニアリーダーと遊ぼう	秋休み期間中に子どもたちの居場所づくりと、市民センターを利用するきっかけとなるよう、かさ袋ロケットを作って飛ばす体験コーナーを行った。	10 月 7 日	1	190

仙台七夕に願いを	七夕飾りを中心とした七夕を文化センターのエントランスホールに飾り、その下で七夕飾り作成体験を行った。	7月28日 ～8月7日	4	203
南小泉老壮大学教養コース	60歳以上の方を対象に、ともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生き甲斐のある人生を送るために、文学・福祉などの多種多様な学習の場を提供した。	4月18日 ～3月6日	11	846
南小泉老壮大学健康コース	60歳以上の方を対象に、ともに学びあう場を設定し、心身ともに健康で実り豊かな生き甲斐のある人生を送るために、健康講話や軽運動などの多種多様な学習の場を提供した。	4月25日 ～3月13日	11	751
【出前講座】 シニア元気倶楽部	高齢者が参加しやすいように、集会所に出向き豊齢を高めるストレッチやリズム体操などを入れた健康教室を開催した。	11月 7・13・27日	3	35
【市民企画講座】 音読～声を出してリフレッシュ	地域の方どなたでも気軽に参加し、特別な技術を要さない「音読」を楽しみながらリフレッシュする機会を提供した。	7月19・26日	2	47
【市民企画講座】 かえてみる！～アイディアいっぱいのリメイク術	「快適に便利に生活するためのヒント」としてユニバーサルデザインについての講話とリメイクについてのワークショップを行った。	11月8・15日	2	47
★タぐれどきのミニコンサート～復興を願って～	地域の方どなたでも気軽に参加し、心安らぐ時間を過ごしながら震災後の心を癒し、活力を取り戻せるように夜間にコンサートを開催した。	8月4日	1	110
読み聞かせボランティアフォローアップ研修	幼児・小学生対象に読み聞かせをしていたグループに活動の幅を広げてもらい、かつ、市民センター事業での協力や地域からの要請に応えられるように、高齢者対象の読み聞かせなどについて研修を行った。	8月29日 3月5日	2	18
市民企画会 「若中スタッフ会議」	地域住民が企画・運営を通して市民センター事業に関り、地域の学習ニーズを反映した学習の場を提供した。また、学ぶことの楽しさや必要性を知る機会となった。	4月26日 ～11月29日	16	57
市民企画会 「地域で暮らすということ」	「共に支えあえる社会」「地域コミュニティや地域の絆づくり」について、地域住民が参画しながら話し合い、講座の企画会を開催した。	6月16日 ～3月23日	5	14
「聞こえてますか子どもの声、伝えてますか親の思い」	子育てに生かす家族のコミュニケーションや子どもの心の理解と接し方のポイントについての講演会を開催した。	11月27日	1	41
父母と教師の会・社会学級共催事業企画	南小泉小学校PTAや社会学級と地域課題を共有し、講演会「「聞こえてますか子どもの声、伝えてますか親の思い」を企画、実施した。	7月19日 ～11月29日	6	37
若林区中央市民センター 学習発表フェスタ	若林区中央市民センターを利用している団体・個人、また若林地区で活動している団体・個人の学習成果の場、及び地域住民が気軽に集え、交流できる場を提供した。	2月16・17日	2	1,761
若林区中央市民センター事業懇談会 田んぼっ区懇話会	市民センターの事業を魅力あるものにするために、地域の課題やニーズの聴取を行い、市民センター運営に関する意見を通して、地域住民とともにより良い市民センターの運営を考える場を提供した。	6月2日 9月29日 3月9日	3	18

七郷市民センター

〔沿革〕

地元住民の要望により七郷公民館として昭和 58 年 4 月に保健センター・コミュニティ防災センターの複合施設として開館。平成元年には、七郷公民館・市民センターとなり、若林区の拠点館となった。平成 2 年七郷市民センターと改称。平成 5 年 9 月には若林区中央市民センター開館に伴い、拠点館機能を移行した。平成 14 年 4 月児童館を併設、さらに平成 22 年 2 月大規模改修工事を終え、再開した。

近年、復興住宅を含めた荒井土地区画整理事業及び地下鉄東西線の開業を見据えた中での新しい街並みが形成されつつあり、今後の街づくりに向けて市民センターの果たす役割は大きくなっている。新旧住民が交流しながら発展するまちの街づくり、文化づくりに市民センターは機会と場を提供している。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★あの時を忘れないー震災の記憶(地域の絆づくり推進事業)		
参加者	地域住民	参加延人数	252 人
開催日	全 34 回 4 月 19 日(木)～3 月 26 日(火)		
協力者・協力団体	七郷地区町内会連合会、東北大学災害科学国際研究所、六郷・七郷コミネット、せんだいメディアテーク		
ねらい	東日本大震災の被災者や支援活動者等から震災における体験や記憶を聞き取り、次世代へ記録として残す作業を通して、また、その作業過程で見出した課題等の解決策を講じること、多くの地域住民が関わり合いを持ち、地域の絆の再生、そして復興への歩みを進めていくことのきっかけづくりとする。		
概要・成果	地域の絆づくり推進事業として平成 24 年度から 3 年計画で取り組んでいる事業である。平成 24 年度は、町内会の代表の方々から当時の被災状況や活動状況など生の声を聞き取り、その聞き取ったことをまとめ、記録集「町内会長編」を発行した。その聞き取りを通して被災者や地域の諸団体が抱える様々な問題点、課題の把握へとつながり、次年度の課題解決に向けた事業展開への足がかりとなった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援講座 「子育てママのハッピーサロン」	子育ての不安を軽くし、楽しさを再認識できるような場を作り出し、子育て中の仲間が集える機会を提供した。ハンドマッサージ、ベビー・ママストレッチ、忙しいママのメイク術と情報交換・交流会。	9 月 14・21・28 日	3	32
七郷子どもクラブ	様々な体験の場、他校や異学年等、出会い・交流の場を提供した。「消える貯金箱」「光の箱」の作成、兵庫県立「人と自然の博物館」による移動博物館、「フライングディスク」でゲーム。	6 月 9 日 7 月 26 日 10 月 10 日 1 月 26 日	4	284
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会の知識やレクリエーション・ゲーム等を学習する機会を提供した。	2 月 23 日	1	35

地産地消講座	この地域の農業や作物を知り、調理を体験し、交流を図る機会を提供した。農業改良普及センター職員による地産地消への取組みについて講話。農家レストラン訪問、地場産品による調理実習。	11月29日 12月6日 12月13日	3	36
第30回 七郷老壮大学	地域の高齢者が日々元気に生きがいを持って生活するために学習・情報交換・交流する機会を提供した。歴史講話・映画鑑賞・健康づくり・運営委自主企画講座	4月11日～ 3月13日	11	757
★四季のコンサート	被災者が少しでも癒される時間、心豊かに過ごせる時間を提供した。センター利用団体(5団体)による四季折々のコンサートを開催した。	7月14日 7月15日 9月29日 12月1日 2月2日	5	280
七郷学びの応援隊企画講座「みんなあったかヒートアップ」	生活習慣病予防に関する講話と、体操を行った。普段の生活習慣を見直すきっかけとなり、家族や地域での健康管理に関心を持つ機会を提供した。	1月31日	1	25
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせの大切さ、スキルを習得し近隣の小学校や、児童館などで活動する読み聞かせボランティアを養成した。読み聞かせについての講話実技、お話会の見学、わらべうたの習得。	6月1・8・15・ 22・29日 7月6日	6	99
市民企画会企画講座 一笑顔再発見！絆・つなぐ 地区対抗ゲーム大会	七郷・荒浜学区民体育大会を参考に、住民が交流しやすいゲームを行なった。ミニコンサートや交流タイムを設けることで、情報交換や異世代間交流へとつながった。	3月14日	1	25
七郷学びの応援隊企画会	地域の社会学級生と連携し、より身近に関心の高い地域課題について理解を深め、課題解決の為に講座開催に向けて企画会議を運営した。企画会、講座実施、反省会。	6月21日 8月31日 9月2日 10月24日 11月28日 1月23・31日 2月27日	8	28
★市民企画会 一結ぼう！地域の「絆」	被災者自らが、可能な限り自立心を取り戻しながら、明るく元気で生活を送るための講座を企画、運営した。企画会、講座実施、反省会。	10月12日 11月9日 12月14日 1月29日 2月15・26日 3月8・14日	8	18
★第29回 七郷市民まつり	各種団体に学習成果発表の場を提供し、継続した学習意欲を高める機会とした。復興支援の一環として、スペシャルゲストトークと絵画展示。元七郷地区住民も多く来場され交流の場となった。	11月25日	1	13,800
★七郷地域憩和会	地域で震災の復興に向け活動している町内会、諸団体等との懇話会を開催することで、課題や情報を共有し、相互理解を深め、その課題を今後の事業展開に反映させた。	11月30日 12月5日	2	16

荒町市民センター

〔沿革〕

昭和 47 年に旧斎藤記念館を全面改築し、「荒町市民福祉会館」として昭和 48 年 5 月に開館した。昭和 58 年 4 月「荒町市民センター」と名称変更になり今日に至る。建物は施設の老朽化と機能拡充の必要性から現在地に改築され平成 22 年 2 月 2 日に開館した。

当市民センターは、仙台市のほぼ中心部、昔からの老舗街である荒町商店街の一角に位置しており、仙台藩の名残を今尚残している地域である。

また、地下鉄五橋駅から徒歩 5 分、JR 仙台駅から徒歩 20 分と交通の便に恵まれ地域の方はじめ市内全域から多くの市民に利用されている。日中はもとより、夜間も仕事帰りの活動の場として、幅広い年齢層に活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	市民企画講座「パパと遊ぼう！～夫婦で子育て～」		
参加者	4歳～小学3年の親子(親子体操・講演会) 小学4年～中学3年生を持つ保護者(講演会)	参加延人数	76 人
開催日	全 1 回 2 月 2 日(土)		
ねらい	荒町地区は若い世代の転勤者が多く、特に父親が地域の行事等に関わらず、お互いに知り合う機会が無いことが大きな課題として企画委員から挙げられた。そこで子どもと気軽に楽しめるイベントで父親の参加を促し、後半で普段は敬遠されがちな講演会に移行することで、今しか楽しめない子育ての意識や、育児への父親参加の重要性を学ぶ事を目的とする。		
概要・成果	講座前半に親子(父親)一緒に体操をしたことで父親の参加が多く、その点ではねらいを果たす事が出来た。後半の講演会は「不安解消！子育てにパパの出番です」をテーマとした話を聞き、その間子どもたちは体操や豆まき等で楽しく過ごした。二部構成としたことで、父と子双方が満足できる講座になった。同じ年代の子を持つ企画員が考え運営したイベントであると知ってもらえたことで、市民企画の周知にもつながった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
あらまち子ども囲碁クラブ	囲碁を通じて地域の子ども達に土曜日の余暇活動の場を提供し、地域ボランティア講師との交流を図る。囲碁の基礎知識の習得と対局練習。礼儀とあいさつの指導	4 月 7 日～ 3 月 16 日	24	195
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、子供会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象とし、講話「子ども会活動について」「子ども会と世話人の役割」実技「レクリエーション・ゲームの進め方」「子ども会活動の中で役立つゲーム等を考える」を行った。	2 月 16 日	1	66
広瀬川とサケ～サケの卵の育ち方と稚魚になるまで～	講話「サケの一生」、サケの遡上の観察、サケの卵から稚魚までの育成・観察、稚魚の放流を記録に残した。	12 月 1 日～ 3 月 23 日	4	104
★荒町いきいき講座	聴覚障害者を対象に講話「避難所からの報告と話し合い」、調理実習「エネルギーの上手な使い方と非常食簡単メニュー」、講話と実技「心肺蘇生法と AED の使い方」を行った。	9 月 6 日～ 9 月 20 日	3	71

あらまち町民大学シルバーセミナー	定例講座:コンサート、講話「マネー新時代の資産管理」「終活セミナー」「お口の健康」、実技:七夕飾り作成、館外学習、仙台弁民話語り、運営員会自主企画講座等。各種クラブ活動:コーラス・ハーモニカ・散策・川柳の支援	4月18日～ 3月6日	11	712
シニアのための生き生きライフ講座	高齢者を対象に介護予防に必要な知識を習得し介護予防の向上を図った。講話「バランスのよい食生活・非常時にも役立つエコクッキング」「現代の葬祭事情」「相続と遺言書」実技:イスでできる介護予防運動、寸劇鑑賞、振り返り	9月27日～ 12月6日	6	84
伝統の仙台七夕(手話・要約筆記付)	荒町商店街の七夕まつりに参加し、地域活性化を図った。また、聴覚障害者も参加できるように配慮し学習のバリアフリーを図った。講話「仙台七夕の由来」実技「七夕飾り作り」	7月5日～ 8月2日	5	115
あらまち子ども企画室	地域の小中学生が、自ら一年を通した計画を立て、自主活動を行った。定例企画会、地域のゴミ拾い、「児童館であそぼう!」イベントの実施、センターまつりへの参加	5月9日～ 3月17日	23	267
★荒町小学校区総合防災訓練(避難所運営)	総合防災訓練と避難所運営訓練。体験:濃煙、ぐらら、簡易組立トイレの設置、アルファ米炊出し、発電機操作、AED使用方法、防災無線のデモンストレーション等	9月30日	1	420
中将七五郎記念室運営講座	講話「展示のための資料整理方法」、資料・遺品の目録作成、実技「遺品の手入れ法・取扱い方を学ぶ」、座談会「齋藤七五郎ってどんな人」、今後の方向性についての話し合い等	6月7日～ 2月21日	8	33
ママ・パパの企画会～子育てについて考えてみませんか～	子育て中の保護者が持っている不安や問題を解決するために、企画員が「パパとあそぼう!～夫婦で子育て～」を企画立案し実施運営。また、交流会や振り返りの実施	6月30日～ 2月5日	13	86
荒町市民センター・児童館フェスティバル	地域住民と利用サークルが学習の成果を発表する場として開催し、生涯学習及び地域住民の交流とコミュニティづくりの促進を図った。作品展示・ステージ発表、バザー、α米炊出し訓練等	10月6・7日	2	2,690
★それぞれの「あの日あの時」	地域住民にそれぞれの記憶や思いを綴ってもらい、毎月発行している市民センターだよりに掲載し地域に発信するとともに記録として残した。オリエンテーションおよび情報交換、文章の書き方とコツを学んだ上での執筆作業、および振り返り	4月20日～ 3月8日	13	29
地域懇談会	町内会をはじめ地域の各種団体を中心に、地域課題を収集・把握するために意見交換を行い、地域課題解消について検討した。総合防災訓練に向けて具体的な打合せ	5月25日～ 11月9日	6	159

六郷市民センター

〔沿革〕

昭和 56 年地域住民の福祉増進を目的に、保健センターとの複合施設「六郷市民福祉会館」が開館し、昭和 58 年に「六郷市民センター」と名称を改め、地域の社会教育活動の場として地域に定着した。平成元年には公民館としての機能が加わり、平成 2 年には「六郷児童館」併設、さらに平成 22 年 12 月に大規模改修工事を終えて再開し、生涯学習の拠点として現在に至っている。

六郷地域は名取川と広瀬川の合流点を有し、かつては河口には美しい干潟や貞山堀運河、屋敷林の居久根など自然環境や歴史的遺産が残されていた。しかし、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、沿岸の東六郷地区は住宅・学校・農地・事業所といった生活基盤のほとんどが壊滅的かつ甚大な被害を受け、地域が一変した。

現在、地域住民・町内会・各団体が連携を保ち、情報を共有しつつ互いに自助・共助の心構えを持ちながら、早期の自立や地域の復興・復旧に努めている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●★六郷・七郷コミネット連携 「ふるさと継承事業」		
参加者	地域住民	参加延人数	53 人
開催日	全 3 回 7 月 18 日(水)、9 月 19 日(水)、1 月 23 日(水)		
協力者・協力団体	「六郷・七郷コミネット」、若林区まちづくり推進課 連携 「NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台」、「東北学院大学」災害ボランティアステーション		
ねらい	東日本大震災で甚大な被害を受けた若林区沿岸部は、復興計画の策定により安全な住まいの確保の観点から集団移転せざるを得ない集落が生じることとなった。そこで六郷の藤塚・井土地区住民を中心に、昭和の 8 ミリを見て、古き良き時代を回想し、後世へ語り継いでいくことを目的とする。		
概要・成果	コミュニティの再生と自立に向け支援する組織「六郷・七郷コミネット」等と連携し、対象者や会場を変えて、3 回実施した。離れ離れになった住民が集い、昭和の 8 ミリ映像を見て、震災で失われたふるさとを思い起こし、交流する機会となった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ジュニアリーダーと遊ぼう	秋休みの居場所づくりとして気軽な学習の場を提供し、地域の子ども同士、異年齢交流を図り、社会性を育てた。	10 月 10 日	1	29
インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会活動に必要な知識やレクリエーション等を学習する機会を提供した。	2 月 16 日	1	38
中高生の「六郷クラブ」	仙台東高等学校と六郷中学校の生徒が講師となり、地域の小学生に部活動の得意分野を指導することで、地域交流や異学年交流が図れ、中学生や高校生の活躍できる居場所づくりにつながった。	6 月 23 日 8 月 18・25 日 1 月 19 日	4	89
★健康講座「ノルディックウォーキング」	地域で活動するサークルを講師に迎え、自らの学習活動を活かす場とするとともに、被災した六郷地域をウォーキングすることで地域の状況を知り、復興へ向けての活力を取り戻す一助となった。	5 月 23・30 日 6 月 6・13 日	4	21
六郷あすなろ大学	50 歳以上の方及び高齢者に対応した一般教養や現代的課題などについて、さまざまな分野の講師を招き学ぶ機会を設けるとともに、生きがいづくりや受講生同士の親睦を深めた。	5 月 17 日 ～ 3 月 7 日	10	925

六郷お月見会	「お月見」を通して若い世代に伝統文化を伝えるとともに、様々な年代・地域の人々との交流の場を提供した。また、ワークショップを通して子どもたちと地域の大人がかかわる事で顔見知りになり、人との繋がりの輪を広げた。	9月28日	1	53
「六郷ふれあい広場」	日頃、子ども達と接する機会のない高齢者と地域の子もたちが市民センターに集まり、一緒に調理をしたり昔遊びを通してふれあう機会を提供した。また、子ども達は飯盒炊飯の体験を通して、災害時の対応を学んだ。	5月26日	1	77
中学生と学ぶ「パソコン講座」	六郷中学校のパソコンを借用してハガキの作成方法を学び、IT機器の苦手意識の克服と活用を広げて、社会活動の意欲へとつなげた。また、教師や中学生がアシストする事で、受講生との世代間交流・地域間交流を図り、若い世代と地域の絆づくりにつなげた。	8月4日	1	9
エコでいこう！	環境学習の重要性が叫ばれている現在、簡単にできる身近なエコを学び、生活の中で実践することを目的として、地域の様々な年代の住民が交流を図りながら環境にやさしい技術を学んだ。	8月29日 9月5・12日	3	62
●★六郷地域防災事業	「六郷地区防災対策推進委員会」と「東六郷防災委員会」が連携し、広域の諸団体や住民が、円滑な避難や避難所の開設を自助・共助の心得を持ちながら対応できるよう、新たな六郷地域の防災の確立を図った。	7月22日 11月18日	2	489
読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせボランティアの拡大と現存のボランティアのレベルアップを図ると共に、地域の子もたちのためのボランティア強化につなげた。	11月28日 12月5・12日	3	43
「子どもボランティア」の育成支援	地域の子もたちの心と体の元気を目指して、六郷児童館で活動する「子どもボランティア」を市民センター事業のスタッフとして参加させ、ジュニアリーダーの活動を学び交流する中でジュニアリーダー登録へつなげた。	9月25日 10月10日	3	20
市民企画会 「六郷おもしろ倶楽部」	日頃、市民センターをあまり利用していない成人男性から地域の代表としてスタッフを選出し、地域が活性化するような楽しい内容の事業を展開し、震災で低迷した市民に活力が湧くように働きかけた。	4月20日 ～3月6日	14	88
★市民企画「男の料理教室」	被災した六郷地域で、復興へ向け少しでも明るく前進できるように、日頃市民センターを利用しない成人男性を対象に、地元食材と地元の人材を活用した男性向けの料理教室を実施。	7月28日	1	7
ハートフル六郷協議会	人と人がつながり、温かみのある豊かな地域づくりを目指すことを目的として、子どもからお年寄りまで様々な地域の人々が交流できる場を提供するために、六郷地区の諸団体が協力し合い企画した。	4月13日 5月15日 6月14日 9月11日 10月16日	5	58
★郷土芸能「黒潮太鼓」保存事業	震災による東六郷小学校の児童数の減少から、「黒潮太鼓」の存続が難しい中、学校と地域住民が地域伝統を受け継ぐ担い手を育て、地域諸団体が協議会を発足させた。	6月14・21日 7月29日 11月18日	4	44
★「子どもたちに伝えたい六郷の暮らし」～平成の六郷をふりかえる～	東日本大震災で被災した東六郷地域の子もたちに、自然豊かだった被災前の生活を語り継ぐために、30～50代の以前の住民を対象に学習会を実施。	9月30日 ～3月17日	8	166
●★「元気！六郷復興の集い」～希望の光を～	震災後の地域の「復興」を願い、「参加・ふれあい・連携」のテーマのもと、市民センターで活動しているサークルの発表、地域内小中学校と高校の学習成果の発表、地域団体・個人の活動の発表等を通して、地域住民同士の交流を図った。	11月3日	1	2,300
★市民企画講座「クリスマスコンサート」	被災した六郷地域住民が復興へ向け少しでも明るく前進できるよう、誰もが気軽に参加できる「クリスマスコンサート」を実施。	12月2日	1	100

≪若林区≫

★「六郷地域支えあい事業」	震災以降、地域の仮設住宅以外に借上民間住宅にお住いの被災者も多くいる。地域の諸団体や仙台市社会福祉協議会と連携し、被災された方が普段の生活に戻り地域に根差した生活が築けるよう、地域の拠点として市民センターができる地域の絆づくりを支援した。	5月23日 ～3月15日	15	988
市民センター・児童館事業運営懇談会	地域の課題検討を通じて、市民センター・児童館の地域の中で果たすべき役割を明確なものとしながら、運営方針や事業内容についての理解を得るとともに、意見要望を広く聞き、事業計画や運営に反映させて、内容の充実と改善を図った。	7月5日 12月7日	2	38

沖野市民センター

〔沿革〕

平成3年4月、児童館・老人福祉センター及びデイサービスセンターとの複合施設としてオープンした。平成4年、センター前広場に、多種の木が植えられ、「光と風」を設計コンセプトとした豊かな広場を持つ市民センターとして、地域住民の憩いとふれあいの場所として利用されている。

地域住民の生涯学習活動に対する関心は高く、また自主サークル活動も盛んである。また、町内会や老人クラブの結束力が強く、活動も活発で、学校や他の公共施設等とも円滑な関係を保っている。様々な分野の達人も多く、地域人材も豊富な地域である。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	おきの学園 ～夏休み体験講座～		
参加者	沖野地区の小学生と中学生	参加延人数	450人
開催日	全16回 8月7日(火)・8日(水)・9日(木)・10日(金)		
協力者・協力団体	沖野東小学校、沖野小学校、沖野中学校、沖野東小学校支援地域本部、若林区中央市民センター共催		
ねらい	地域の3校による「おきの学園＝自分づくり教育」への支援として、夏休み期間を利用し開催する。地域の児童生徒に様々な体験の場を提供し、地域の人々とのふれあいを通して、自分づくりへの意識を高めるための一助とする。		
概要・成果	2つの小学校・中学校・市民センターを会場に午前と午後「和菓子・洋菓子作り・ミニテニス・タグラグビー・茶道・生け花・座禅・動物とのふれあい」等を子ども達が体験することにより、チャレンジ精神が生まれたこと、新たな友達とのコミュニケーションがとれたこと、練習した成果をボランティア体験やステージ発表に繋げて達成感を得たことは、大きな成果と言える。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママの応援隊	子育て中の母親を対象に、子育てに必要な情報提供と母親同士のコミュニケーションの場づくりとする。・音楽であそぼう・安全安心の食生活・ベビーヨガ・折り紙で楽しむ交流会	9月7・21日 10月5・19日	4	141
おはなしいっぱい	健やかな子どもの成長の支援と地域の人材活用を兼ね低学年には紙芝居、わらべ歌、簡単工作を通して高学年には宮沢賢治の作品に触れることで読書することの喜びや地域の方とのふれあいを体験した。	6月1日 7月26日 11月20日	3	213
インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図る為、児童及び世話人が子ども会運営の知識や進め方を学んだ。	2月16日	1	54
「仙台伝統七夕七つ飾り」を作ろう	①七夕飾りの作り方講習会を開催。②①の受講生が小学生に伝統的な仙台七夕飾りの話と作り方を教え、各学校に飾った。	6月13・20日 7月3・5・27日	5	332
沖野なごみくらぶ	・女性目線による講座：牛乳パックでいす作りをしながらほっとしたひとときを過ごす講座 ・男性でも参加しやすい講座：沖野地域の歴史を学び、歩きながら交流を図った。	9月26日 10月13・20日	3	46

沖野耕友大学	高齢者に学習と社会参加の場を提供し、相互の親睦と交流を図る。講話：食について・震災に関する資料レスキュー活動・エンディングノート、フォークダンス、コンサート、民話	5月～3月 第2金曜日	11	578
沖野環境くらぶ	中庭にゴーヤで緑のカーテンを作り、広瀬川の自然や、天体についての講話を聞きながら、仙台、仙台市東部の環境を学習した。	6月16日 8月11日 9月29日 11月23日	4	56
めざせ、バイリンガル 沖野っ子	東高校の英語科の生徒によるゲームやクイズを楽しみながら、小学生達に英語を身近に感じてもらう機会を提供した。	8月7日	1	10
サークル体験会 ～はじめのいっぽ～	センターの学びの場としての機能の充実とサークルの活性化を図った。・ヨガ・絵手紙・太極拳・パッチワーク・フラダンス・ハーモニカ	3月12～27日	7	17
沖野でザリガニつり	地域財産である「用水路」に棲息するザリガニの生態や習性を学び、ザリガニ釣りをしながら家族の絆を深める一助とした。	7月21日	1	67
読み聞かせボランティア研修会	活動の支援と情報交換や勉強会を開き、ボランティアのレベルアップを図った。①本の選び方や読み方について②わらべうたと小物づくり	7月4日 3月6日	2	29
市民協働企画会議	①市民協働企画会議についての学習②事業企画の検討③④⑤講座「なごみくらぶの実施」⑥反省	5月8・15日 9月26日 10月13・20日	6	12
沖野地区市民まつり	地域コミュニティの拠点として学習成果発表の場を提供した。ステージ発表・作品展示・出店・フリーマーケット等	11月2・3日	2	8,400
★東日本大震災の記録in沖野	大震災後の地域の復興状況を正確に把握し、今後に役立つ情報を記録し、かわら版として編集発行した。	9月29日～ 2月15日	8	35
懇話会	地域団体や各学校やサークルの代表が集まり、様々な地域課題についての意見交換を行った。	8月30日 2月21日	2	41

若林市民センター

〔沿革〕

平成3年4月に若林児童館、コミュニティ防災センターを併設して開館した。以来、地域の社会教育活動や福利厚生活動に活用され、親しまれて現在に至っている。管内は藩政時代伊達政宗公ゆかりの史跡や広瀬川舟運、商人の町の歴史ある町名を残すとともに、広大な河川公園などがあり、自然に恵まれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	～若林を知って好きになろう～		
参加者	若林小学校5学年児童	参加延人数	206 人
開催日	全4回 10月23日(火)、10月30日(火)、11月21日(水) ※11月21日は2部構成		
協力者・協力団体	仙台市立若林小学校		
ねらい	若林市民センターエリアは、古代から藩政時代に関する史跡の多い地域である。そこで小学生を対象に地域の歴史に触れる機会を提供し、地域への理解と愛着を育むとともに、地域在住の講師から学ぶことで世代間交流を図る。さらに、市民センター事業から発生したサークル「ブックトークの会」の指導により、小学生が地域の歴史を課題とした図書への関心と学習への意欲を高めることを目的とする。		
概要・成果	1 回目：ブックトーク「歴史の窓をのぞいてみよう」 (1) 広瀬川ミニ知識/源流はこの区・橋は何本かかっているか。 (2) ブックトーク：①広瀬川をたどって②海を渡って③伝えたいふるさとトークを通して地域の歴史に関する図書への興味・関心が高まった。 2 回目：講話「若林地域の歴史」 若林区の特徴/仙台で一番小さい区、「若林」のネーミングの由来、有史以前からの居住者の存在。「舟丁」を拠点とした広瀬川水運の流通センター/生活用水の恵みと開発（清水小路・五橋・土樋・孫兵衛堀）/若林城のかたち 町の名称の成り立ちを知るとともに、それぞれの町の役割があった時代への理解が生まれた。 3 回目：講話：若林城について 若林城の発掘調査から分かったこと/なぜこの地に城がつくられたかなど。 4 回目：校外学習「若林城ぐるり散歩」若林城の広さを足で計ってみよう！ 市民センターを拠点に若林城遺構に沿った最も近いルートを巡る。 講話や校外学習を通し、「城」への理解と、形状を見ることが出来るポイントや用水路沿いなど普段足を踏み入れることのできないルートを歩き、地域の遺跡への関心が深まった。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ママの生きいきタイム	ストレッチやヒップホップダンスの振り付けの習得を通して、乳幼児を育てている母親のリフレッシュと仲間づくりの一助とした。	4月25日 5月9・23日 6月6日	4	28
子どもサイエンス入門	太陽エネルギーの学習、酸性・アルカリ性実験、水中生物の顕微鏡観察、植物の飛ぶ種の秘密、ペガ号による冬の月・木星観望を実施し、自然環境について学びながら学校を越えた交流を促進した。	8月4・22日 10月25日 1月18日	4	50

仙台市子ども会インリーダ研修会	子ども会の活性化とインリーダ育成のため、世話人の役割やプログラム作成、ゲームの進め方を学習した。	2月23日	1	60
古城小学校連携事業「地域の歴史探検」	5年生の総合学習において地域学習を行った。歴史に関する本のブックトーク、地元講師による地域講話、校外学習、発表会等。	8月28・30日 10月3日 2月13日	4	303
●自分で作る！「これからの男」の食生活	男性対象の介護食講話と調理実習。テーマを朝食／卵・昼食／肉・夕食／魚・最終回／を旬の食材を使った調理	11月 9・16・30日 12月7・14日	5	44
★地元学～災害への多様なアプローチ	災害を正しく理解し、これからの災害に備えるため、地域の災害を歴史から振り返ると共に、地震・津波の教訓、放射線の知識と防災を学習した。	10月20日 11月17日 12月15日	3	23
若林老壮大学	健康や歴史・経済等に関する講話や音楽の一般公開講など色々なジャンルを学び、充実した生活の一助として、受講生の交流を図る。	4月13日 ～3月8日	12	911
アフタヌーンコンサート	地域の音楽家を発掘し開催。ピアノとバリトンの兄弟ユニット、アコーディオン、クラリネットとピアノのコラボ、ソプラノ独唱など。	8月25日 10月6日 12月8日 3月2日	4	144
★まざらいん若林・愛逢いサロン	震災後若林地区に移転してきた方々が少しでも地域になじめるよう、地域住民も交えたサロンを開催した。折り紙・盆踊り・新聞エコバック・はがき絵・ストレッチをした後、お茶のみ交流会を実施	5月16日 8月29日 9月27日 10月24日 11月22日 12月19日	6	132
読み聞かせボランティア養成講座	「読み聞かせとは」に始まり、「読み聞かせのポイントと実際」、「読み聞かせの実践」と展開した。最終回は若林小学校において、ブックトークと読み聞かせの時間の見学とした。	5月31日 6月7・14・21・28日 7月5日	6	255
ジュニアリーダ「にゃくりん」とあそぼう！	ジュニアリーダに活動の場を提供するとともに、小学生にジュニアリーダと遊ぶことの楽しさを味わってもらうため、ゲームとダンスを行った。	7月25日	1	40
市民企画会議「空地の有効利用」	市民センターの空地について企画委員と現地調査や話し合い等。	4月26日 5月18日 6月29日 7月13日 8月3日 10月26日	6	13
若林ふれあいまつり	サークルや地域住民による作品展示、ステージ発表、出店、地域団体による防災コーナー・安全教室、児童館によるあそびひろば、むすび丸によるねんりんぴっく体操等。	6月24日	1	1,200
若林地域懇話会	地域の有識者・町内会会長等との懇談を通して、市民センター事業への理解と地域ニーズを探るとともに、地域コミュニティ拠点機能の充実を図った。	10月10・16日 11月6日	3	25

太白区中央市民センター

〔沿革〕

太白区中央市民センターは、平成11年6月長町商店街の中核をなすJR長町駅前に開館した複合施設内にある。同施設には太白区文化センター、太白図書館、太白区中央児童館及び太白区情報センターも設置されている。JR長町駅前と国道旧4号線沿道という立地条件に恵まれ、JRやバス、地下鉄などの公共交通機関の利便性に優れているため、近隣の広い地域の生涯学習活動や交流の拠点として、多くの市民が利用している。

当市民センターの周辺地域は、昔から仙台市南部地域における商業の中心として活況を呈してきた歴史のあるところであるが、近年は、地下鉄沿線やあすと長町地区での大規模小売店の進出やマンション建設等が進み、人口の増加が著しいことから、当市民センターでは地域コミュニティの活性化にも積極的に取り組んでいる。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	●家庭教育フォーラム 新・中学生NOWー今、中学生に何が必要なのか		
参加者	中学生・成人	参加延人数	中学生 22 名 成人 7 名 計 29 名
開催日	全 1 回 11 月 7 日(木)		
協力者・協力団体	仙台市子供相談支援センター、仙台市楽学プロジェクト、生涯学習課、太白区家庭健康課 太白区中央市民センター(区拠点館)		
ねらい	子育てに関する悩みや課題に対応できる情報を提供することで、安心して子育てができる環境づくりをめざし、中学生を交えてのワークショップを開催することで、お互いを知るきっかけを作る。幅広い子育て世代を対象とするため、託児付き・手話通訳付きの講座とする。		
概要・成果	親世代、中学生世代それぞれが自分達の地域活動について話し合い、その上で見てきた中学生の現状を理解し、お互いを知る一歩となった。 会場設営や会議運営、さらに受講生として講座に関わったことは、中学生にとっても貴重な体験となった。		

〔平成 24 年度 (地区館) 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
飛び出せ長町体験隊	地域の小学生が長町地域の施設や商店街を取材し、地域のラジオ放送局から発信をした。発信後、自分の取材先を発表し長町の良さを再確認した。	7 月 24・25・31 日 8 月 1・2 日	5	50
●インリーダー研修会	子ども会のリーダーとして活躍する児童および世話人を対象に、活動に必要な知識・技能を学んでもらうことで、子ども会活動の一層の充実を支援した。	2 月 2 日	1	97
太白区中央老壮大学校 いきいき健康コース	コースの特徴を生かしながら、いきいきと健康に暮らすためのヒントとなる講座を開催し自主的な活動を促進した。	5 月 11 日～ 2 月 15 日	9	570
市民企画講座「ハートフル出前講座 お寺で心と体のストレッチ」	市民企画により、対象地域の寺院を会場として、心と体の健康に関する講座を実施。	12 月 22 日	1	71

市民企画会議「ハートフル出前講座」	市民センターの管轄地域から外れている太白区内の町内会の課題を共有し、その解決の糸口を探るため新たに「出前講座」を開催した。そのための会議を当該町内会と市民企画で開催。	6月19日～ 12月22日	6	28
太白区中央市民センターまつり ながまち交流フェスタ 2012	当市民センターを拠点として活動している団体・サークル及び地域住民や町内会等による生涯学習活動成果の発表の場。運営は実行委員会を組織し、自主的な運営・交流を図った。	10月27日 10月28日	2	4018
●魅力アップ懇話会	地域内諸団体と地域ニーズや課題を共有し、センター事業に助言を受け事業に反映するための懇談会。	7月14日～ 3月9日	3	45
太白区中央老壮大学校 せいかつ教養コース	いきいきと生活しながら学習する機会を提供するとともに、地域や人との関わりの中で心豊かに生きていくことを育んだ。	5月11日～ 2月15日	9	544
太白区中央老壮大学校 ふるさと文化コース	高齢者が地域や人との関わりの中で心豊かに生きていくことを育み、コースの特色を活かし、地域の歴史・文化・慣習などを学びながら交流を深めた。	5月11日～ 2月15日	9	587
ながまち夜のプロムナード	今年度は、出演団体同士のネットワーク作りの構築や地域諸団体と連携することで地域活性化に繋げるよう開催した。また勤労者層にも気軽に参加できるように夜間開催とした。	7月20日～ 2月22日	2	200
太白区中央老壮大学校公開講座	太白区文化センター楽楽ホールを会場に①老壮大学の開講式記念講演として「まなぶ・調べる・わかる」-まちなかの変化とキャッチボール-の講演会②閉講式を兼ねた「箏と尺八と沖縄エイサーによる和楽団演奏会」を開催した。	5月11日 2月15日	2	896
太白区内生涯学習ボランティア・スキルアップ講座	地域ボランティアの役割や活動していく際に大切な事、また指導をする時のポイントや伝え方の工夫等の講話とグループワーク。	5月19・26日 9月8日	3	46
ひと・まち賑わい七夕作り	地域ボランティアの「仙台七夕作り応援隊」をサポートとし、長町地区の活性化を促進するため大規模の七夕飾りの制作をした。サポーターの活躍の場として定着し他のボランティア活動にも繋がっていった。	6月2日～ 8月8日	13	212
★社会学級連携事業 東日本大震災関連講座	東日本大震災を受け、地域に根ざした震災関連の講座を企画実施した。また社会学級生のネットワークを活かしアンケート調査等のデータをまとめ、今後地域に役立つ情報を発信した。	4月25日～ 3月13日	11	117

生出市民センター

〔沿革〕

昭和24年、生出村公民館として発足、生出小学校の一隅で公民館活動を行なってきた。昭和31年仙台市との合併により「仙台市公民館生出分館」と改称された。

地域住民の強い要望から昭和42年5月、地域社会教育の拠点として現在地に生出公民館が建設され、事業が活発になった。その後昭和55年5月に、地域住民から自由に利用できる体育館を併設した公民館の新設が要望されるようになり、公民館・診療所・保健センターが一体となった複合施設として開館した。同年10月には第1回生出コミュニティまつりが開催された。平成2年に「生出市民センター」に改称され、市民相互の交流と地域活動の振興の拠点、また地域づくりの拠点として利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	蛍と平家琵琶の夕べ		
参加者	一般	参加延人数	1,500人
開催日	全1回 6月30日(土)		
協力者・協力団体	ふる里坪沼実行委員会		
ねらい	坪沼地域活性化のため、地域住民と市民との交流の場を提供する。 地域に古くから伝わる伝統文化や農産物を広くPRするとともに、地域の良さを改めて認識し、活力とする機会とする。		
概要・成果	ふる里坪沼実行委員会と共催で実施。24回を迎えた今回も平家琵琶の演奏、蛍観察、地元の坪沼祭囃子の演奏に加えて、産直野菜や子どもたち手作りの行灯など、多数の来場者に坪沼の良さを周知できた。 また、地域の実行委員が準備から当日の運営まで主体的に活動し、地域住民同士の絆を深め、地域づくりに貢献した。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
●おいで子育て応援団	地域の子育て中の母親が気軽に集える育児サロンを定期的に開催し、地域全体で子育てを支援していく。	4月17日～3月28日	26	389
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るためリーダーとして知識や活動に必要な技能について学習する。	1月26日	1	46
おいで子どもシアター	月1回の土曜日に地域の小学生および幼児に向けて映画鑑賞会を実施した。	5月12日～2月16日	9	89
坪沼自然観察会	坪沼周辺には自然が残されている。この坪沼の動植物を観察しながら環境保全に関心を高めた。	6月23日 10月20日	2	28
出前講座	健康講座、ミニコンサート、手芸、ストレッチなど地域の方と協働で事業を進め、地域へ出向くことで広く学習の機会を提供した。	5月22日～2月2日	14	185

生出朗壮大学	地域の高齢者が健康や生活に活かせる知識を学び、前向きな姿勢で豊かな生活のために歴史・音楽・エコなど様々な分野での学習をした。	5月18日～ 2月15日	10	192
わんぱく広場	ジュニアリーダーと生出中学校のボランティア生徒で、コミュニティまつりに小さい子どもたちが楽しめるコーナーを設けた。	10月13・14日	2	127
花植栽ボランティア スキルアップ講座	地域の複合施設である当館の来館者に潤いを与えられるよう、花を植え環境を整備し、スキルアップを図った。	5月10日 10月4・14日	3	24
市民企画会議「メンズ専科」	現役で働く世代を対象に地域資源を学びながらふるさと「生出」について話し合いを実施。平成25年度に講座を実施する予定。	2月10・16・23 日	3	23
いきいき坪沼っ子 アントレ	坪沼小学校児童と坪沼幼児学園園児が、地域の支援・指導を受け、米や野菜づくりをし、販売についても学び、生出コミュニティまつりで「坪沼野菜村」として農作物を出店した。	5月10日 9月26日 10月12・14日 12月13日	5	244
生出すずめ踊り スキルアップ講座	新たな伝統と健康づくりのためすずめ踊りを立ち上げ、地域からの要請を受けられるようなスキルアップを図った。	9月15日～ 10月14日	6	172
生出物語「公開討論会」	生出の歴史をふりかえり、次世代へふるさとの誇りをつなげるための公開討論会を実施した。	9月23日	1	173
生出コミュニティまつり	舞台発表・展示・広場・模擬店など地域の子どもから高齢者まで地域住民の交流の機会になった。	10月14日	1	1,700
地域活性化懇談会	生出市民センター運営協力委員会を構成する25を超える団体と地域がさらに活性化するように意見交換をした。	6月2日	1	30

中田市民センター

〔沿革〕

昭和 44 年 10 月に、中田中学校跡地に同校の旧体育館と旧校舎の一部を改築して仙台市で 5 番目の公民館として開館。昭和 56 年 3 月に本館を鉄筋コンクリート二階建てとして新築。平成 2 年 4 月に「中田市民センター」と改称。平成 19 年 7 月からの外壁塗装や体育館暖房装置設置等を内容とした大規模改修工事を経て、平成 20 年 1 月に再開し、現在に至る。

平成元年度から平成 11 年 6 月までの間は太白区内市民センター13 館の拠点館として太白区全体の生涯学習推進を担っていたが、現在は地区館として事業を展開している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	あなたの住むまちの今を発信！！広報誌づくり実践塾		
参加者	成人	参加延人数	52 人
開催日	全 5 回 6 月 8 日(金)、6 月 29 日(金)、7 月 13 日(金)、8 月 24 日(金)、9 月 21 日(金)		
ねらい	現代社会の課題の1つとして、災害時においてライフラインが途絶えた状況時に、文字を使って広域的に情報をいかに有効に伝達するかが挙げられる。広報誌づくりの実践を通して、情報発信の手段や方法を学ぶ機会とする。		
概要・成果	広報誌づくりに必要な、事実が持つ説得力についての基本的知識から、文章表現、取材の極意、編集・レイアウトと専門的内容まで幅広く学んだ。講座終了後には、自主学習により学習記録誌完成を遂げ、自主サークル「PC サークル“愉快的仲間”」発足へと発展した。またこの講座を通し、地域の情報収集や情報交換をサポートする人材の発掘へとつながった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
「子育てでつながろう」 ～中田まざあず～	子育て中の母親を対象に、地域で支え合える関係づくりを目指し、話し合いや交流の場を提供する講座	10 月 26 日 11 月 2・9・16・30 日	5	44
インリーダー研修会	子ども会リーダーの育成と子ども会活性化のための講話と実技による学習	2 月 24 日	1	54
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダーが企画から運営まで自主的に活動する場を設けることで、個々のスキルアップとコミュニケーション力を養った。	10 月 21 日 3 月 2 日	2	139
これで安心！身近な暮らしのセミナー	身近な生活に関する様々な問題をテーマに学習する機会を提供し、地域の中で安全に安心して生活するための環境づくりをめざした。	5 月 13 日 12 月 1・8・15 日	4	55
中田老壮大学	地域の高齢者が定期的に学習することで、豊齢力を向上させ、生きがいを持って生活するための一助とした。	5 月 17 日～ 3 月 7 日	14	560
出前講座 「中田で話題・融和・環境」	高齢者が地域の中で積極的に交流を図るために遠距離の地域へセンターが出向いて開催した。	7 月 5 日 3 月 9・14 日	3	90

中田七夕deないと	地域の資源や自然、風習などについて世代を超えて学び合い、七夕まつりの復興と活性化を図るための実践講座	7月20・24・25・26・27・28・31日 8月1日	8	472
なかだ・まち探険	世代を超えて学び合い交流することで、周りの多くの人とつながり、地域への愛着を醸成するための一助とする。体験型学習講座。	10月10日 1月26日 2月2・9日	4	96
秋休み・デイキャンプ in なかだ	集団のルールやコミュニケーション力、また限られた資源の有効活用することの大切さを学ぶ体験学習と交流会	9月30日	1	21
★災害に備えて安心しませんか～地域の中での防災学習	地域の災害上の特性を知ることによって防災意識を高め、災害時に役立つ知識を身につける。地域の防災人づくりを目指す実践講座	6月16日 8月4日 9月8日 11月22日 1月26日 2月20・28日 3月13・20日	9	91
中田地区防災会議～地域防災リーダーの育成～	今回の震災を教訓に地域の防災活動を促進し、自主防災組織の向上を図るため、地域の防災リーダーを育成する。また、防災ネットワークづくりに努めた。	7月21日 8月11・25日	3	98
★なかだ支え合いサポーター養成講座	昨年度開催したまちづくりセミナーの参加者を中心に、さらに介護や手話などの実践的な学びを通し、地域を見守り支え合えるサポーターづくりを目指した。	5月31日 6月7・28日 7月5・26日 11月7日	6	59
市民企画会議「何でも話し合おうよ」	地域の課題や問題点を気軽な話し合いの場から抽出し、講座の企画につなげる。また、講座運営にも関わってもらい、人材発掘や育成を図った。	5月8日 6月8・29日 7月6日 8月2・29日 9月26日 2月7日	8	53
市民企画講座「笑顔ひろがるサロンづくり」	地域サロンの抱える問題を解消するため、サロン活動の基本を学び、グループワークを通して、魅力ある中田らしいコミュニティを作る一助とした。	10月13日 11月17日 12月13・22日	4	146
nakada はあとふるコンサート	音楽イベントを通して、地域住民の交流の場と音楽サークルの発表の場を提供した。	5月12日 11月10日 1月19日	3	130
なかだ篝火コンサート	新旧の地域住民が音楽を通して集い交流することで地域に対する愛着を深め、地域活性化を図った。	9月15日	1	500
中田まつり	新旧の地域住民が文化活動の交流と親睦を深めることで、地域の活性化を図り豊かなコミュニティづくりを目指した。	10月20・21日	2	4,980
中田地域懇談会	開かれたセンターを目的に、センターに対する地域住民の理解を深めてもらい、地域課題や提案、要望など情報交換を行った。	11月21日 2月19日	2	16

西多賀市民センター

〔沿革〕

西多賀地区は、桜で有名な三神峯公園や富沢遺跡があり、仙台でも暖かく環境に恵まれた、住みやすい土地である。昭和 50 年代、福祉に対する住民の要望が多様化し、自らが福祉活動に参加する傾向が現れてきた。そのため、活動拠点となる地域の施設を求める要望が高まったことから、昭和 53 年仙台市として 5 番目の福祉会館として開設された。昭和 58 年、地域住民のより幅の広い利用を可能にするため、名称を市民センターと改めた。平成元年政令指定都市移行に伴い地域の社会教育の充実のために公民館が組み込まれ、生涯学習の拠点として活用されている。平成 3 年には児童館が併設された。以後子どもから高齢者まで誰でも気軽に利用できる市民センターとして親しまれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	かけがえのない命		
参加者	西多賀中学校 1 学年生徒	参加延人数	124 人
開催日	全1回 5 月 24 日(木)		
ねらい	豊かさに恵まれた時代に生きている中学生にとっても、震災は思いがけない出来事であったと思われる。今回の震災で多くの命が失われたことは中学生にも衝撃的な体験であったろう。そこで、中学生がかけがえのない命の大切さ、引き継がれる命の存在を認識し、見守られて成長する自分をしっかりと見つめることができる学習の機会を提供する。		
概要・成果	西多賀中学校からの要望により復活した講座である。西多賀中学校1年生を対象に太白区保健福祉センターの協力により開催した。中学校の養護教諭の先生、助産師、保健師の方を講師としての講話や、妊婦体験グッズや赤ちゃん人形による体験と、充実した講座が実施できた。 自分が生まれた時や兄弟のこと、将来大人になって母親や父親になる時のことなど様々な視点で命の大切さについて考えることができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ニコニコ子育て、楽しく子育て支援講座	子育てに悩みを持つ母親に対する支援をする講座。保健師による講話やワークショップ、親子でのリズム体操の実技を行った。	9 月 7 日～ 9 月 28 日	4	33
●インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るために子ども会についての知識や技術の習得につながる学習の機会を提供した。	2 月 16 日	1	67
こども科学教室	科学に興味を持ち子どもたちに科学を通して明るい未来を感じてもらうことを目的に、夏休み期間中にサイエンスエンジェルを講師に科学教室を開催した。	8 月 3 日	1	20
おはなしひろば	おはなしボランティア「カンガルーのポッケ」と連携して子どもたちが本に親しむ機会としてのおはなし会を開催した。	4 月 18 日～ 3 月 27 日	12	606
仙台七夕を飾ろう	仙台七夕のいわれや成り立ちを地域の方を講師に学び、作り上げた七夕は市民センター内に飾り付けた。	6 月 30 日	1	8

西多賀寿大学	高齢者の誰もが地域の中で孤立することなく、心豊かに暮らし続けられるよう、社会の変化に対応できる力を身につける為に多様な学習を学び、大学生同士の地域交流を図った。	5月16日～ 2月20日	10	485
西多賀の百問作成委員会企画会	「地域を元気にする講座」の企画を目標に地域をアピール出来る企画を考え、実施した。	6月21日～ 3月28日	17	97
★楽しく遊ぼう地域防災～防災リーダーを目指して～	地域住民の防災対策と地域の中で震災後の活動を担う人材を育成するための講座。	2月26日	1	37
西多賀の今昔巡り	「西多賀検定」の実施により作成した「西多賀の百問」をテキストに実際に現地を歩き自分の住む地域を愛する心を生み地域の活性化を図った。	11月 13・20・27日	3	47
金剛沢小学校社会学級共催事業「フラで笑顔あふれる地域の輪」	震災を通し、日ごろの地域内における人間関係の大切さを経験した。この経験に基づき互助の精神を育む事を目的として、子育て世代及び中高年の方へ心身のリラックス効果のあるフラダンスをきっかけに集い、地域の中でお互いが関わり合う世代間交流を図った。	11月30日	1	16
環境講座「天沼・三神峯のしぜんを学ぼう」	地域の自然に触れながら環境保全の意義や大切さを学び活動に結びつけ、保護活動団体も一緒に参加することで交流も図った。三神峯はゴミ拾いしながら木の実を採取し、小さな森を鉢に作り、天沼は蜚蜚観察と、公園の木を観察しネームプレートを作製し取り付けした。	6月9日 7月28日	2	34
ジュニアと遊ぼう	ジュニアリーダー「にしたがつつまん」が、ゲームや工作を指導し、スキルアップを図った。異年齢の子どもたちがお互いのルールを守り元気に遊べる場とした。	8月25日 10月28日 12月26日	3	153
行ってみたいね、市民センターの図書室へ～図書ボランティアの養成及びフォローアップ講座	既存のボランティアのスキルアップと新規参加者を得ることを目的に実施し、ボランティアの役割を学びや実技を研修した。	9月 7・14・21日	3	23
花ボランティア養成～フォローアップ講座「天沼公園の花壇を整備しよう！」	地域住民の憩いの場である天沼公園の花壇を整備する花ボランティアを養成し、更にレベルアップすることを目的とする。春と秋の植え替え、天沼公園愛護効力会との交流を兼ねた活動を行った。	5月19日 6月2日 10月20日 11月3日	4	36
おはなしボランティアスキルアップ講座	子どもたちが本に興味関心をもつために、おはなし会の質を高めるられるよう、ボランティアのスキルアップを目指した。	11月1日 11月8日 11月22日	3	33
市民企画講座「市民が気軽に集える講座を企画しよう」	地域の方が気軽に参加できる講座を企画・実施した。	5月2日～ 3月6日	11	80
市民企画講座 手しごと楽集塾	地域に居住しながら一度も市民センターを利用したことがない人がまだ多いことから、一人でも多くの方が気軽に参加できる講座として企画し、着物を再利用して作務衣作りを行った。作品は西多賀ふれあいまつりに出品した。	7月4日 8月1日 9月5日 10月3日 11月7日 12月5日 2月6日 3月6日	8	111

中学生職場体験のための事前学習会	中学生の職場体験はキャリア教育の初段階である。職場体験がより効果的なものになるよう、保護者対象には親としてできることを学ぶ講話を提供し、中学生には職場体験が意義あるものとなるよう対象学年全体でワークショップを行った。	7月19日 12月10日	2	228
マナーアップ自転車！	自転車を安全に使用するために自転車の交通ルールや整備の仕方、マナーを中学生が自ら学ぶ講座を開催した。	8月22日～ 12月7日	11	1,918
金剛沢小学校社会学級共催事業企画会	金剛沢小学校社会学級と共催し家庭教育の充実を図り高度な事業を企画実施し、地域住民向けの学習を展開した。	5月17日 6月13日 9月4日 2月21日	4	26
第15回西多賀ふれあいまつり	地域住民の交流の場やサークル活動の学習成果発表の場として開催した。内容は作品展示、演芸発表、出店、こどもまつり、ジュニアリーダーコーナーなど。	10月27日 10月28日	2	3,600
西多賀市民センターと地域を結ぶ懇談会	地域の学習ニーズや地域の課題を把握するための懇談会を開催した。	7月20日 2月15日 3月13日	3	44

八本松市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、八本松地区の国有地を取得し、昭和 59 年 9 月にコミュニティ防災センターを併設した複合施設として着工され、昭和 60 年 5 月に開館した。さらに平成 20 年 4 月には、八本松児童館が新たに併設された。近辺には広瀬川が流れ豊かな自然環境に恵まれ、歴史資産として国指定を受けた郡山遺跡、北目城跡がある。長町副都心長町駅東再開発が行われ、歴史的情緒を持ち合わせつつ近代的な街並みを呈した地域である。

建物は八本松公園と隣接しており、町内会の集会や文化活動、レクリエーション、スポーツにと、子供から高齢者まで誰もが気軽に利用できる市民センターとして、地域住民に親しまれている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	★八本松地域防災サミット～住民による住民のための災害対策～		
参加者	地域住民	参加延人数	1,234 人
開催日	全10回 4月17日(火)、5月18日(金)、6月20日(水)、7月18日(水)、8月22日(木)、9月19日(木)、 9月29日(土)、10月13日(土)、1月23日(水)、3月13日(土)		
協力者・協力団体	八本松連合町内会、八本松社会福祉協議会、長町第一地区民生委員児童委員協議会、八本松小学校、八本松児童館		
ねらい	平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、特に高齢者、子どもといった社会的弱者を地域全体で守り、安心安全の基盤を確立していく。そのために、関連する地域団体が連携し、総合防災訓練という切り口で、Plan・Do・See を積み重ね、地域住民の防災意識を高めていく。		
概要・成果	10月13日の避難所立上げ訓練、防災訓練に向けて、地域各種団体が10回にわたる協議実施により、認識の共有化を行うことができた。今年は子ども会地区長も参加し、新たな立場からの発信もあり、訓練自体も前年度の改善が図られた。今後も継続して行わなければならない事業であり、そのためにも訓練後にアンケート調査等を行い、住民手作りの訓練のブラッシュアップをしていく。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てカフェ	八本松・長町地区は子育て中の若い親や転勤者が多く一人育児をしている親子が年々増えている状況をふまえ、気軽に集い、楽しく交流の出来る場と機会の提供を行った。	5月23日～ 12月19日	10	163
インリーダー研修会	子ども会活動の充実と活性化を図るため、子ども会のリーダーとなる児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識や活動に必要な技術習得のための学習機会を提供した。	2月16日	1	60
ワイワイキッズ体験隊	近隣の3つの小学校の児童を主な対象に、環境学習や運動・習い事など多方面の体験をしながら学びの興味対象を広げることを目的に講座を実施した。他の小学校の児童・保護者が、交流を深めながら、今後も学習や活動を継続できるきっかけづくりとした。	5月18日～ 11月17日	5	192

八本松寿大学	高齢化社会に対応した学習の場を設定し、高齢者が日々元気で充実した生活を送る事ができるよう支援すると共に、社会環境の変化など状況に応じたカリキュラムの情報を提供した。 地域課題として、仮設住宅の高齢者や新興住宅の新しく加わった高齢者のために門戸を開き、月一回の学習会をととして仲間づくりや安心できる環境をととのえる事に寄与した。	5月24日～ 2月28日	10	586
中学生とパソコンでつながろう	日頃、あまり行く機会のない郡山中学校の施設を借りて、パソコン教室を開催することにより、地域の方々と中学生の交流を深めた。中学生は講座運営のアシスタントとして活躍した。	7月25・26・27日	3	28
市民企画会議「男を磨き隊」	地域で活躍する四、五十代男性(PTA 会長、体振幹部、おやじの会)に参集してもらい、自分磨きの講座を企画検討した。	5月6・27日 7月8日 9月23日	4	21
ブログで残そう郷土の記録	地域ボランティアが編集している八本松市民センターホームページ「うぶすな」を発展・解消し、ブログで再編する。内容は、発展する郡山・八本松の記録・写真等を紹介した。	4月20日 5月8日 6月13日 7月20日 9月13日 10月12日	6	34
市民企画会議「地域の力」	地域課題や現代的課題など、企画委員とともに取り組み素案から講座を企画し運営することにより、地域間交流と世代間交流を図った。	7月13・20日 8月1日 9月11日	4	19
ちょっと長めのソフトボール大会	地域組織への新規参加者の促進と郡山中学校区内各種団体の交流を目的に開催し、実年男性の地域への密着度を深めた。	7月28日 1月27日 2月3日	3	109
まちの風景を探ってみよう	八本松・郡山地区は、あすと長町再開発によって町並みが大きく変貌し、自分たちの住む生活環境や自然に対する関心が高まっている。そこで、日頃目にしている地域の風景を題材にして学び、今後の地域を考える手助けとした。	9月25日 10月17日 11月7日	3	35
社会学級共催事業企画会議	3 社会学級との共催で地域住民が求めるテーマを絞り、その学習の場を提供すると共に、受講生相互の交流も図るための講座・講演会を企画した。	6月13日～ 10月12日	7	26
人と人がつながる音楽の世界旅行	震災の影響などもあり様々なストレスを感じる人が多くなっているため、地域で人とのつながりを感じることで日常の不安を軽減することを目的に音楽を媒介に人々がつどい交流する場を設けた。	10月5日	1	70
うぶすなフェスティバル	あすと長町地区の開発に伴い新興住宅が増えていることや、又、社会の高齢化・少子化の進行等生涯学習を初め、住民同士の交流の場が必要となってきた中、地域をあげて「産土フェスティバル」を開催することにより、子供から大人まで世代を超えて楽しい触れ合いのひと時を過ごして参加・協力・紡ぎあいながら、地域振興と生き甲斐のあるコミュニティを推進した。	7月15日 10月28日 11月3・4日	4	4,365
フォーシーズン コンサート	八本松市民センターを拠点に活動している音楽サークルの支援を通して、地域住民と交流した。 また、発表の場を求めている団体や個人に、機会を提供すると共に、地域住民に身近で生の音楽に触れて親しむ機会と、集いの場を提供した。	5月19日 7月28日 9月21日 10月27日 12月22日	5	293
市民懇話会「郡山・八本松の明日を考える」	郡山中学校区のネットワークづくりを行いながら、地域のニーズを探し出し、課題等について意見交換を行った。	2月27日	1	10

八木山市民センター

〔沿革〕

八木山市民センターは、昭和62年4月6日、仙台市南西部に位置し昭和30年後半～40年代中頃にかけて整備・開発された豊かな自然が残る調和の取れた住宅地である八木山地区に開館。

平成20年11月新しい体育館がセンター北側に増設され、市民の自主活動及び生涯学習の拠点施設として利用され親しまれている。また、八木山動物公園や八木山ベニーランドなどのレクリエーション施設をはじめ、大学、野草園、放送局、総合病院など学術・文化・医療の施設等が揃い、地域住民ばかりでなく広く仙台市民に親しまれている地域でもあり、センター隣接地が平成27年開業予定である地下鉄東西線西起点(動物公園駅)となることから地下鉄東西線の開通とともに大きく変貌することが予想される。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	自転車で学ぶ社会のルール		
参加者	八木山中学校1年生・3年生	参加延人数	約272人
開催日	全1回 6月29日(金)		
協力者・協力団体	連携:仙台市立八木山中学校		
ねらい	自転車の乗り方やルール、点検の仕方等を学ぶことにより、自分の自転車の乗り方を見直し、交通ルールや危険性を知ることにより互いに迷惑を掛けず社会の中でのルールの大切さを学ぶ。		
概要・成果	中学1年生と3年生を対象に、自転車の正しい乗り方や毎日できる「最速10秒点検」、事故を起こした場合の損害賠償を学んだ。高校生で自転車通学となる前に、社会のルールの1つとして学習する望ましい内容であり、自転車での行動に責任を持つことの大切さを知る機会となった。また、自転車点検指導補助に地域の交通安全協会メンバーが入ることにより、きめ細かい実技指導ができたと共に、地域の人と生徒の顔と顔が見える関係作りへつながった。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
治山の森を歩こう	貴重な地域資源である「金剛沢治山の森」を親子で散策することにより、自然への関心を高め、地域への愛着心を育む場を提供した。	5月27日	1	14
子どものための囲碁教室	子ども達の土曜日の居場所作りとして健全な余暇活動の場を提供し、地域のボランティア指導により、囲碁を学びながらの異世代や異年齢の交流の場とした。	通年	42	563
八木山サイエンスラボ	科学の実験や観察を通して、科学の面白さに気づききっかけを作るとともに、異年齢交流の機会を提供した。	8月4日 8月25日	2	44
仙台市子ども会インリーダー研修会	子ども会活動の充実を図るため、児童及び世話人を対象に子供会活動の意義や役割を学び、レクリエーションやゲームの技術を習得する機会を提供した。	2月2日	1	78

やぎやまシニア大学	高齢者が健康で心豊かな生活を送るため、知識・情操など学習の機会を提供する。また、受講者相互が交流をもつ場を提供した。	5月10日 6月14日 7月12日 9月14日 10月11日 11月8日 12月13日 1月10日 2月14日	9	454
男の自立応援食堂	ひとり暮らしの高齢者が、調理の知識と技術を身に付け、豊かで健康的な食生活ができるようにした。また、学びながら受講生同士の交流を図った。	7月18・25日 8月1・8日	4	39
神無月コンサート	地域在住の声楽家とピアニストによるデュオコンサート。講話と鑑賞により、音楽に対する理解を深め、参加者相互の交流を図る機会を提供した。	10月21日	1	60
在仙外国人向け日本語講座 「日本語ティールーム」	日本滞在中あるいは定住する外国人が言葉の壁を越え、快適に生活できるよう支援することにより、国際交流と理解を深める場を提供した。	通年	71	1,100
読み聞かせボランティア養成講座「みみをすまし、このころをきく」	読み聞かせを通して子どもの想像力や読書に対する意欲を喚起することの大切さとコミュニケーションの技術を学ぶ機会を提供し、ボランティア活動参加を促した。	11月20日 11月27日 12月4日 12月8日	4	79
★「探そう、つくろう、八木山新名物」(地域の絆づくり推進事業)	地域にある小学校・中学校・高校・大学の学生とその保護者世代を中心に、住民自らが地域を歩き、学び、八木山の新たな名物をつくることを通して地域に関心を持ち、地域を支える人材の育成や地域活性化を図った。	7月29日 8月19日 9月29日 11月24日 12月8・26日 1月26日 2月23日 3月23日	9	100
★「八木山こどものくに」をつくろう企画会	子育てに関わる地域の団体が集まり、課題について話し合うことで地域の子育てネットワークを広げ、震災時にも対応できる環境作りを支援する場を提供した。	8月8日 10月24日 11月22日 1月23日 2月27日 3月19日	6	60
認知症を正しく知ろう ～集まLINE(らいん)地域見守り隊～	認知症を具体的に学ぶことにより、正しく理解し、高齢化の問題を地域ぐるみで考え、高齢者を見守る事ができる人材育成を行った。	5月31日 6月7日 6月14日 6月21日	4	46
第24回八木山市民センターまつり	地域で活動している団体やサークルの学習成果の発表を通して住民相互の交流を図った。	10月6・7日	2	2,600
第7回秋の八木山フェスタ～こどもにやさしいYagiYama～	公営・民営教育施設及び地域団体と連携し、地域のひとづくり・まちづくりを推進し、また、地域で活動しているサークル・個人に発表の場を提供した。	11月3日	1	4,900
八木山気軽に懇話会	住民とともに地域課題について話し合い、地域の特性に合った講座を企画するために、課題・ニーズを把握した。	7月16日 10月17日	2	16

山田市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、コミュニティ防災センターを併設して昭和 62 年 4 月 17 日に開館した。

本地域は旧笹谷街道に沿った地域で戦後住宅街として開発され、発展してきた。当市民センター周辺は縄文遺跡や鹿除土手などの歴史遺産や昔ながらの自然を残す恵まれた環境の中にあり、太白消防署、鉤取郵便局、鉤取球場、縄文の森広場などの公所・施設や小中学校、大学などの教育機関も多く立地している。また、国道 286 号線沿いには大型商業施設が立ち並び、高い集客力を有している。こうした中、当市民センターは地域の生涯学習や地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	にこにこダンベル倶楽部		
参加者	成人	参加延人数	259 人
開催日	全 14 回 4 月 13 日(金)・27 日(金)、5 月 11 日(金)・25 日(金)、6 月 8 日(金)・22 日(金) 7 月 13 日(金)・27 日(金)、8 月 10 日(金)・24 日(金)、9 月 14 日(金)・28 日(金) 10 月 12 日(金)・26 日(金)		
協力者・協力団体	連携：山田地域包括支援センター		
ねらい	高齢化率が上昇しているこの地区で、高齢者を対象とした健康講座を実施し、高齢になってもできるだけ自分で行動することの出来る高齢者を増やすとともに、介護者の負担軽減を図る。		
概要・成果	受講生の中から運動サポーターが数名誕生し、講座の運営を積極的に担当するようになり、高齢者を対象とした健康サークルの運営が可能となった。講座終了後、この運動サポーターを中心に健康サークル「にこにこダンベル倶楽部」が誕生し、受講生の大半がサークルに参加し、月 2 回定期的に玄米ダンベル体操他、様々な軽運動を行うようになった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てほっとカフェ	調理実習、講話と実技(ベビーマッサージ)、絵本の紹介と読み聞かせの実技、子育て情報交換会	9 月 27 日 10 月 27・18・25 日	4	20
インリーダー研修会	「インリーダーの役割と心構え」「子ども会活動と世話人の役割」など講話と演習	1 月 28 日	1	65
山田わんぱくクラブ	七夕飾り作り・木製ベンチ作り・ヒップホップダンス体験・人形劇鑑賞	6 月 30 日 7 月 28 日 12 月 8 日 2 月 13 日	4	93
山田豊齢大学	高齢者が地域の中で孤立することなく暮らすための生涯学習や交流の場を提供	5 月 10 日～ 3 月 14 日	9	731
山田健康講座～フラで健康と笑顔を	フラダンスの技術習得を通して健康づくり。又その成果を山田ふれあいまつりで舞台発表	9 月 7 日～ 11 月 11 日	6	89
再発見 地域の自然－笹川、鉤取山－	地域の治山の森「鉤取山」、地域を流れる「笹川」を観察しながら散策	5 月 17 日～ 1 月 23 日	13	148

民話から学ぶ心の絆 ～昔を知り、今を感じ、そして明日へ～	東北地方に伝わる民話を聴いた後、地域の絆をテーマに座談会	12月5日	1	27
図書ボランティアフォローアップ講座	図書ボランティアとして役立つ「カウンター業務について」・「書棚のレイアウトについて」講話と実技	7月21日 1月19日	2	18
市民企画―山田食楽講座	調理実習：夏の行事食、秋の楽しみ、お正月料理、春のごちそう	8月9日 10月13日 12月6日 2月9日	4	41
★市民企画講座 小さな復興支援の輪 ―私達にできること―	体験談「3.11を語り伝えよう」・被災地取材DVD上映・津軽三味線演奏（石巻被災者）・被災者も含めた交流会	2月23日	1	75
★市民企画会「絆プロジェクト」	被災された方と心の交流を図ることを目的に、関心のある方に呼びかけ、共に取り組める企画を検討。	7月26日～ 3月1日	13	73
市民企画会「続・山田食育プロジェクト」	郷土食や行事食、食文化の伝承について話し合い、結果をもとに事業の打ち合わせと実施、まとめ。	6月13日～ 2月9日	9	18
社会学級連携事業企画検討会	社会学級と地域の課題やニーズについて情報交換をし、話し合い、地域に必要とされる講座を企画検討。	5月29日 6月12日 7月3日 10月31日 12月5日	5	43
★地域防災力向上 「地域地震対処総合訓練」	地域の指定避難所である山田中学校、上野山小学校を舞台に小・中学生を交えて地域の諸団体、住民が合同で大地震の際の避難行動、対処要領の訓練実施。町内会連合会等地域団体と小・中学校が準備、企画会議を開催。	7月19日～ 11月20日	7	1,370
★第16回山田ふれあいまつり	作品展示、舞台発表、模擬店、出店、サークル体験会、復興支援コーナー、防災コーナー	11月10日・11月11日	2	3,300
山田みんなのオンステージ	地域で活動するサークルやプロの演奏家によるコンサートを実施し、地域の交流と震災後の新たな仲間作り・生活拠点作りの一助とした。	5月20日 8月11日 12月1日	3	191
山田鉤取地域懇話会	地域の課題・ニーズについて意見交換	10月12日 2月15日	2	38

茂庭台市民センター

〔沿革〕

茂庭台地区は仙台西部で青葉区に隣接し、市内中心部より約 20 分の距離に位置しながらも、自然環境に恵まれている。当センターは昭和 63 年 4 月にコミュニティ防災センターとともに開館し、平成元年 4 月から地域社会教育の拠点として公民館事業を開始。平成 2 年には児童館が併設された。近隣には高層マンションや多くの福祉施設があり、高齢者、子ども、福祉施設の方々や外国人居住者の利用も多く、地域コミュニティの場となっている。また、地域住民、各種団体とともに、地域性を生かした事業や地域人材を活用した講座なども開催している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	「よみがえれ！水道山」整備事業と水道山の自然		
参加者	一般	参加延人数	75 人
開催日	整備日 4 月 12 日(木)、5 月 10 日(木)、6 月 14 日(木)、7 月 19 日(木)、9 月 13 日(木)、10 月 11 日(木)、12 月 6 日(木) 自然観察会 4 月 21 日(土)、10 月 27 日(土) 工作教室 1 月 19 日(土)		
協力者・協力団体	茂庭台剪定ボランティア		
ねらい	茂庭台地区には、自然公園としての水道山(茂庭台緑地)があり、遊歩道などが設置されているが、整備されずに荒廃していた。しかし、平成 21～23 年度の整備作業で自然公園としての再生の兆しが見えてきた。事業の継続開催により尚一層水道山を甦らせるとともに自然観察会・工作教室を開催することにより、地域の方への水道山の自然の魅力を伝えることを目的とする。		
概要・成果	枯木や倒木の整理など、これまでの継続的な整備作業によって、少しずつではあるが、さまざまな植物が自生し、自然豊かな里山となりつつある。また、自然観察会を春、夏の 2 回、工作教室は冬に 1 回開催したことにより、水道山の魅力を大勢の方に伝えることができた。今後も水道山が地域の憩いの場となるように整備作業を続けていくことを通して、地域住民の地元への愛着心を深めるとともに、人材の育成につなげていく。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
市民企画講座 「親子で楽しむサマータイム」	①講話「コミュニケーション育児のすすめ」 ②親子で体験「親子でヨガに挑戦」 ③親子工作「夏の思い出工作」 ④交流会「地域の先輩ママ達とお話し広場」	8 月 2 日・9 日・23 日 9 月 7 日	4	48
梨野こども野菜づくり村	子どもたちが、野菜の生産者から、直接、畑で野菜にふれながら、その特徴などを学んだ。	5 月 12 日 6 月 16 日 7 月 28 日 8 月 7・25 日 11 月 17 日	6	38
インリーダー研修会	子ども会活動の活性化を図るため次年度最上級生となる 5 年生と世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・ゲームの研修を行った。	1 月 26 日	1	46

秋休みデイキャンプ in 水道山	①竹筒でお箸作り。空き缶の加工とダンボール燻製器の組み立て②火おこし体験。空き缶炊飯と手作りの燻製作り	11月3日	2	34
思い出創ろうスケッチ で	自然豊かな茂庭台を色々な角度からスケッチをした。地域の市民文化祭へ作品展示をした。	6月14・28日 7月12・26日 9月13・27日	6	69
茂庭台大学	介護予防講話、健康体操、气象台出前講座、郷土の歴史、短歌、年忘れ寄席、映画鑑賞会、環境講座、記念公演など 他に運営委員会主催の年末忘年会など	5月18日～ 3月8日	10	402
市民企画講座 「ふれあいコンサート」	クリスマスコンサート・ウクレレ独奏・フォルクローレ演奏・フルート演奏	12月8日	1	67
ジュニアリーダーとあ そぼう	茂庭台地区夏祭りや茂庭台地区市民文化祭への参加をした。	7月28・29日 10月7日	3	340
初心者向けパソコン 講座「広報誌づくりで 地域づくり」	パソコン初心者を対象に word を使った暑中見舞い、お便りの作成の仕方を学んだ。	8月22日・23 日・24日	3	48
★～3・11を忘れない～「今やるべき震災への備え」	①講話「活断層と直下型地震に備える」東日本大震災の検証、地震のメカニズム、地域と活断層。②講話「生きのこる 生きのびる」	5月19日 6月24日	2	503
読み聞かせボランティア養成講座	①講話「読み聞かせボランティアとは」「絵本の選び方」「おはなし会を始める前に」など②講話「紙芝居の歴史」「絵本と紙芝居の選び方」実習「みんなで読んでみよう」③先輩ボランティアさんを囲んで	9月5・12・19 日	3	25
音楽のある街 茂庭 台「ふれあいコンサート」企画会	市民の企画・運営により、コンサートを実施した。	5月26日 6月30日 9月15日 11月10日 12月8日	5	28
「茂庭台子育て支援 ネットワーク」企画会 議	地域課題の解決やニーズに沿った未就学児親子を対象とした事業企画の話し合いと事業の実施。講座当日の運営（設営・受付その他）	5月29日～ 10月23日	9	59
茂庭台地区市民文化 祭	市民センターを日頃から利用している方々の作品展示や、ステージ発表、出店、フリーマーケット、じどうかんまつりを開催した。	10月6・7日	2	2,100
地域懇談会	・学校関係者との懇談会・地域住民（どなたでも）との懇談会・町内会、各種団体との懇談会	11月13日 12月15日 2月16日	3	29

東中田市民センター

〔沿革〕

東中田市民センターは、平成元年4月に児童館、保健センター、コミュニティ防災センターを含む複合施設として開館した。

仙台市太白区の東南端・名取川下流域に位置するこの地区は、名取川と広瀬川の合流点にも近く、素晴らしい自然環境に恵まれ、古墳や寺社仏閣などの歴史的資産を有している。

農村地帯であったこの地域に、近年は高層の市営住宅や高齢者福祉関連施設、ミニ開発による一戸建て住宅が次々に建設され、商業地帯の発展も著しい。新旧住民が混在し、地域が急速に発展している地域環境にあって、今後、総合的かつ重層的な地域コミュニティの確立が望まれている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	母なる川 名取川を探る		
参加者	小学生、成人	参加延人数	45 人
開催日	全3回 7月29日(日)、10月27日(土)、11月17日(土)		
協力者・協力団体	東中田児童館、仙台市環境局		
ねらい	異年齢の子どもと成人の方が、近隣を流れる名取川に親しみながら、様々な活動を通して川環境とその保全の大切さを再認識することを目的とする。		
概要・成果	第1回目・名取川中流(秋保・赤石)で自然観察会、レスキュー、カヌーを体験。 第2回目・秋保二口溪谷へ源流を訪ねる。 第3回目・下流で鮭の遡上観察と孵化場見学。 3回の講座で名取川自然環境の現状を知り、その環境を今以上に保護し未来へ継続することの大切さを学ぶことができた。また小学生から高齢者まで様々な年代の参加者が、講座を通して交流を図ることができた。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て応援ひろば	子育て中の母親を対象に、親子で英語に親しんだり、託児付で救命救急や子育てのことを話し合うなどしてリフレッシュする時間を過ごした。	10月25日 11月 1・8・15日	4	362
かにっこおはなしタイム	講座から立ち上がった読み聞かせボランティアが、小学生を対象に毎回テーマを設けて読み聞かせを開催した。	5月9日 7月11日 9月12日 11月14日 1月9日 3月13日	6	174
東中田わくわくタイム	学校休業日を利用して、地域講師やセンター利用サークルが講師となり、小学生が一般利用者と共に世代間交流を通して多様なテーマの文化を学んだ。	7月4日～ 1月20日	11	179
インリーダー研修会	子ども会の世話人と児童を対象に、子ども会活動の意義や役割について学び、ジュニアリーダーからゲームの進め方を学んだ。	2月9日	1	50

市民企画講座「凧フェス in 東中田」	親子を対象に、地域のボランティアに協力してもらい、地域の小学校を借りて凧作りと凧上げを開催した。	10月6日	1	24
漢字について四郎丸(知ろう。)	面白い漢字の話や魚偏の漢字について話を聴き、漢字の創作や漢字カルタ取り競争等をして漢字に親しみ脳の活性化を図った。	1月18・25日 2月1日	3	59
エコで快適なくらし	ゴミ処理場施設見学や重曹を使ったエコ家事、古着を利用してトートバッグを作ったりと多角的に環境問題を学んだ。	7月18・25日 8月1・8日	4	92
歩こう東中田～てくてく東中田めぐり～	仙台市体育館の指導員にウォーキングのコツや体に負担のかからない歩き方等を教わり、健康づくりをしながら地域の史跡を巡り歩いた。	10月12・19・26日	3	38
東中田老壮大学	地域の高齢者が、歴史や防災の話、音楽鑑賞や運動など毎回多様なテーマで学習し、親睦を深めながら交流を図った。	5月9日～3月6日	10	533
平成24年度・館長の国際理解講座	アフリカやヨーロッパなど世界各国に赴任した体験を交えて、世界と日本の文化の違いや歴史・人物等を学んだ。	11月24日 12月1・15日 1月19日 2月16日 3月9日	6	121
★東中田防災地域ネットワーク	各学校や町内会と連携して指定避難所である小学校の避難所開設マニュアル作りや防災訓練を開催した。	6月21・28日 7月14日 8月31日 9月7日	5	109
昔遊びボランティア養成講座	お手玉、あや取りなどの遊び方について実技指導を受け、受講者全員で手作りお手玉を作成した。	6月15・29日 7月13日	3	50
「みんなで東中田もりあげ隊」市民企画会議	地域での子育て支援を図る事業として凧作りと凧上げを企画・運営した。	5月19・29日 6月26日 7月12日 9月4日 10月6日	6	32
東中田市民まつり	実行委員会を組織し、町内会や各団体、各学校と連携し、サークルや地域住民が参加して開催した。	9月30日	1	4,000
東中田コミュニティ懇話会	町内会、学校、センター利用サークルの方々と意見交換をし、地域のニーズ、地域人材等について話し合いをすると共にセンターへの理解を深めて頂いた。	5月19日 6月22日 11月10日 2月9日	4	31

柳生市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、平成9年4月に、市内52番目の市民センターとして児童館・コミュニティ防災センターを併設して開設された。

当地域は、市内最南端部に位置し住宅地・商業地として発展している。また自然環境に恵まれ、柳生和紙など伝統工芸も残されている。マンション等の建設に伴い、他地域からの転入者も多く、若年層の世帯が比較的多い地域である。

こうした地域の特性と施設の機能を活かしながら、住民の多様化に対応した生涯学習の地域拠点として各種事業を展開し、地域のコミュニティ・住民の自主的活動の場としての役割を担っている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	子ども会世話人ネットワーク		
参加者	管内子ども会	参加延人数	42人
開催日	全3回 6月23日(土)、8月4日(土)、1月26日(土)		
協力者・協力団体	管内子ども会		
ねらい	子ども会世話人による情報交換の場を提供し、世話人相互の交流を図り、課題や解決策を探り、地区子ども会活動に役立てることとする。また世話人同士のネットワークづくりを推進し子ども会活動の活性化を図る。		
概要・成果	地区子ども会世話人が一堂に会して情報交換することにより、各子ども会にとって有益な多くの情報を得ることができたとともに、世話人同士のつながりが深まった。学習会として、ジュニアリーダー指導のレクリエーションゲーム体験や、カウンセリング技法を取り入れた子どもとの関わり方の講演会を実施し、子ども会活動の活性化と円滑な運営の一助となった。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
いっしょにあそぼ！	広いホールを使って、親子で自由遊びを満喫し、親子のコミュニケーションを深めた。①親子であそぼう(運動) ②リズムであそぼう ③ダンボールランドへようこそ ③ダンボールランドでは、JLや大学生企画員・地域ボランティアも加わり世代間交流も広がった。	6月9日 9月8日 2月9日	3	141
ロボットとあそぼう	高専ロボコンで全国優勝に輝いたロボットの実演見学や操作体験をした。また小型ロボットの動きをパソコンで指示するプログラミングの体験をし、科学の面白さに触れた。	7月21日	1	46
柳生ワンダーランド	H23 主催講座「子ども会世話人ネットワーク」の情報交換から課題解決策として子ども会と共催で実施、レクリエーションゲームやニュースポーツを体験した。	12月15・22日	2	184
柳生伝承くらぶ	昔の暮らしや文化を伝えるために食の文化「おにぎり」とすいとんづくり・昔の遊び「かるた・福笑い」を実施、手作りの良さと物を大切にすることを学んだ。	2月2・11日	2	33

柳生こどもくらぶ―楽しく作ろう！	三種類のものづくり講座の実施を通して、自分で作る面白さを体験した。①②調理・朝食とお弁当③木工・折りたたみイス④手芸・クリスマスリース	5月12・19日 7月28日 12月8日	4	43
インリーダー研修会	来年度、子ども会のリーダーとして活躍する5年生の児童及び世話人を対象に、子ども会活動に必要な知識や会の進め方について学んだ。	2月23日	1	41
●目指せ！いきいき健康生活	多忙な日々を送る成人男性を対象に、自身の健康について見直し、より健康的な生活を送れるよう生活習慣改善を促す学習を行った。①健康講話②メタボ改善体操③低カロリー調理方法	11月10・17・24日	3	12
柳生シニアスクール	現代社会における様々な課題に即応した学習を実施した。健康・くらし・生き方・等また、仲間づくりを推進するために参加型の学習を取り入れ交流を深めた。	5月23日～ 2月27日	10	362
秋だ！集まれ！柳生スポーツ合戦	大学生企画員による地域活性化事業。地域住民や震災で引っ越してきた方々もいっしょに、年齢を問わずに気軽に参加できる手作りのスポーツゲームを楽しみ、交流しながら地域の絆を深めた。	9月15日	1	33
手話となかよし	初歩的な手話を学び、障がい者への正しい理解を深め、障がい者も健常者も共に支えあうことの大切さを学んだ。既存の手話サークルと一緒に、手話劇でオータムコンサートのステージ発表を行った。	7月26日 8月2・9日 9月8日	4	20
緑のカーテンでプチエコしよう「みどりなライフ！」	緑のカーテン作りを学び、センターの花壇で成長観察と効果測定を実施。観察記録は、仙台市の環境Webサイトへ投稿。緑のカーテンが省エネ対策に有効であることを学習した。	6月15・27日 7月25日 8月22・31日 9月5日	6	37
★いざという時に役立つ「救命講座」	事故や災害時に役立つAEDの操作法や身近な素材を利用した応急手当の方法を学んだ。	9月12・19日	2	15
おいしく学ぼう in 柳生	管内の2小学校社会学級と共催し、①市場見学②地場野菜を使用した調理実習を実施。物流の仕組みと野菜について学ぶと共に、社会学級同士の交流も図った。	11月7日 12月6日	2	36
★安心のまちづくり「支えあう地域社会」	管内各町内会と連携し、仙台市地域防災計画を踏まえて自助や要支援者対応や避難所運営等の現状や課題について討議・情報交換を行った。	2月16日 3月9日	2	41
「柳生伝承くらぶ」ボランティアスキルアップ講座	地域の文化等を子どもたちに語り継ぐために、地域の歴史・伝承遊び・仙台七タづくりの講話・実技を実施した。また、受講生相互の体験談を通して学習を深めスキルアップにつなげた。	7月13日～ 1月18日	7	76
大学生プランナー「We Are 90ers」	センター周辺に住む大学生が市民企画員となり、若い感覚をや知識をいかした地域活性化を図る事業を企画運営した。またおまつりや講座でのボランティアとしてもつながりが広がって、若い世代の活躍という大きな成果が得られた。	5月12日～ 9月15日	13	45
柳生小学校社会学級・西中田小学校社会学級共催企画会	昨年度から続いて、協力体制の基盤を構築することができた。今年度は市民センターまつりへの参加で、地域へ活動PRができた。また「おいしく学ぼう in 柳生」講座では企画連携を図ることができた。	6月5日 7月5日 2月26日	3	12

第 8 回柳生市民センター・児童館まつり	①オータムコンサート・サークルや児童館・小学校・中学校・大人まで多様な発表の音楽会を開催した。②まつりー子どもからおとなまで幅広い世代の協力を受けて開催し、住民が気軽に集い、交流できる場となった。	9 月 30 日 10 月 28 日	2	2,600
柳生サタデーコンサート	気軽に音楽を楽しむことができる地域の演奏会として定着すると共に、音楽サークルに対しても発表の機会を提供。①ギターアンサンブル②軽音楽③二胡	6 月 30 日 12 月 1 日 3 月 2 日	3	172
地域懇談会	地域関係団体と懇談し、センター事業に対する理解と協力を得る機会となった。また要望をセンター事業へ反映したり、センターだよりにて地域行事情報の広報を行い、お互いの連携強化につながった。	6 月 15 日 7 月 7 日 2 月 22 日	3	43

秋保市民センター・馬場市民センター・湯元市民センター

〔沿革〕

秋保市民センターは、社会教育法の制定に伴い、昭和26年4月秋保村公民館が設置され、昭和42年4月町制施行に伴い秋保町公民館、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により秋保公民館、平成元年4月に秋保市民センターと改称され現在に至っている。

馬場市民センターは、昭和52年3月旧秋保町時代に開設され昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により馬場公民館、平成元年4月に馬場市民センターと改称され現在に至っている。

湯元市民センターも昭和53年3月秋保町時代に開設され、昭和63年3月仙台市と秋保町の合併により湯元公民館、平成元年4月に湯元市民センターと改称され現在に至っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	秋保郷土かるた大会		
参加者	地域住民	参加延人数	137人
開催日	全1回 1月12日(土)		
協力者・協力団体	共催:秋保教育文化振興会、秋保学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子推進委員会」、秋保郷土かるたの会		
ねらい	秋保の風土・伝統・文化についてわかり易くつづった「秋保郷土かるた」を用いて大会を行い、自分達の暮らしている地域についてさらに理解を深める。また、小学生から老人会会員まで、広く世代間交流の場とすることで、地域の一体化を促進する。		
概要・成果	「秋保郷土かるた」を用いたかるた大会。秋保地区小中学生、地域住民が3人1組でチームを編成し対戦した。秋保学びのコミュニティ推進事業の一環として事業を開催。秋保地区の小中学校をはじめとする各団体が一堂に会し、意欲的に運営に取り組む事で、相互の情報交換の場ともなり地域活性化につながっている。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
●あきう子育て広場	親子で遊び、ふれあう大切さを学んだ。子ども達の成長に必要な栄養と食事の取り方を学んだ。親子で体を動かして楽しく遊んだ。	7月12日 11月8日・22日	3	46
秋保ファミリー体験講座「あきう遊々クラブ」	家族で、秋保の夏・秋・冬の自然観察とツリーイング、そば打ち体験をした。	6月9日 8月18日 10月6日 11月17日 12月8日 1月26日	6	159
インリーダー研修会	児童と保護者を対象にインリーダーの役割と世話人の役割を学習した。	6月16日	1	24
学びのコミュニティづくり推進事業「がんばれ秋保っ子」キックベースボール大会	秋保地区の小・中学生が学校の枠を越えて、キックベースボール大会やニュースポーツを体験し、交流を深めた。	10月21日	1	51

仙台市史講座	中世秋保の歴史についての講話を博物館と共催で行った。	7月8日	1	97
生活百科・馬場塾	市民企画会議を経て企画した講座。 物づくりの体験学習として、陶芸・絵手紙・エコバッグ・茶道等を実施し、地域住民の交流と親睦が図られた。	8月28日 9月4日 10月2日 11月6日	4	49
秋保自然工房 「山の恵みクラフト」	里山の役割について座学で学習し、里山の自然素材でクラフトを制作。地域の社会福祉施設で施設利用者と交流しながら学習の成果を披露した。	9月9日 10月7日 11月18日 12月2・12日	5	49
秋保地域介護講座	認知症や介護の基礎的知識・介護技術を学び、在宅介護力の意識向上を図ることができた。	6月29日 7月13日	2	27
秋保の地産池消を考 える「秋保の地場産 品を食卓に」	秋保の地場産品を利用して、そば打ち、味噌作り、つけものづくりを行った。	11月2・30日 12月7日	3	52
あきう熟年のひろば	地域小学校を訪問しての、世代間交流や、防災・健康・文学・手作りなどさまざまな分野を学習した。	5月17日～ 2月21日	9	205
秋保地域出前講座	馬場・湯元地区の町内会や高齢者サークルと連携し、認知症予防や物作り、防災などの講座を開催した。	6月5日～ 1月27日	9	153
秋保自然紀行 「森づくりとトレッキ ング」	秋保の里山の役割と自然保護について学習し、植生観察をしながらトレッキングと枝打ち作業を体験した。	5月9日 6月13日 10月31日 11月14日 12月5日	5	85
市民企画会(市民参 画型事業)	馬場地区の住民を対象に物づくりの講座を企画した。	5月17日～ 2月21日	13	46
●市民企画講座「秋 保地区地域資源再生 活用委員会」	秋保の馬場地区の資源調査とそのまとめ、秋保の資源活用フォーラムを行った。	7月28日～ 2月16日	10	256
秋保ふるさと文化祭	市民センターで活動しているサークルや、中学生、幼稚園、個人及び主催講座の作品展示。	10月27・28日	2	793
地域懇談会	馬場・湯元地区の住民を対象に、各市民センターで懇談会を開催した。	4月21日 11月1・27日	3	36
★東日本大震災の地 域の活動記録	東日本大震災後の地域全体、市民センターの対応及び復興状況を正確に把握するため、懇談会や利用者、町内会等各種団体からの直接聴取などの方法を用いて情報収集、記録することにより、今後の地域づくりを進めていくうえでの資料とする。	4月1日～ 3月15日	5	62
秋保ふるさと文化祭 移動展示会	秋保ふるさと文化祭で展示した作品を、秋保・里センターで展示発表。	11月 8日～13日	1	1,288
秋保ふるさと舞台発 表会	秋保地域で活動している団体・個人の芸能発表	3月2日	1	228

富沢市民センター

〔沿革〕

富沢市民センターは、平成 13 年 11 月、地下鉄富沢駅近くにコミュニティ防災センターを併設し開館した。

富沢地区は、名取川・JR東北線・国道 286 号線に囲まれた地域で、中央部を笹川が流れ、かつては富沢・大野田遺跡のある田園地帯であった。地下鉄開業以来、交通の利便性から宅地化が急速に進み、高層マンションと昔ながらの農地が混在する地域である。単身・核家族世帯が多く、住民の転出入の頻度も高い。

当市民センターは、市民が気軽に利用できる共有スペースとして親子室・娯楽室・図書室やラウンジを有し、年間を通し多くの地域住民が来館し、生涯学習の拠点として活用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	とみざわ子どもの広場		
参加者	小学生と保護者	参加延人数	80 人
開催日	全7回 6月9日(土)、6月23日(土)、7月24日(土)、8月21日(土)、10月13日(土) 12月8日(土)、2月2日(土)		
協力者・協力団体	子どもの科学研究会、仙台市科学館		
ねらい	様々なテーマで子供たちの体験・学習・交流の場を提供する。学校や家庭を離れ、普段とは異なった学びの中から気付き・理解を深めて、学ぶ力・考える力を育み自立や社会性の向上を図る。		
概要・成果	富沢地域は小学生が多い地域であり、それらの児童への体験・学習の場を提供することは重要である。地域人材を活用するなど地域に根ざした体験型学習の活動として定着している。特に春・秋に開催している笹川観察会は、地域資源である笹川の環境美化への取り組みの一助となっている。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
おはなしの部屋	絵本の読み聞かせ・手遊び等で幼児の情操教育に役立てた。また、子育て世代の交流の場を提供した。	5月9日～ 3月6日	8	351
にこにこ子育て倶楽部	初めての子育てをしている母親を対象に、地域の子育て支援に関する情報提供やアドバイス、ネットワーク作りを支援した。	2月1・8・15日	3	27
社会学級共催事業 「笑顔を繋いで～ゆっくり元気に」	氾濫する情報や価値観の多様化など、複雑化する現代の環境の中で感じる不安やストレスの捉え方や対処法として、心の在り方・整え方を学んだ。	11月16日 2月7日	2	101
富沢中学校共催事業 「旬の秋刀魚に親しむ食育講座」	旬の魚の調理体験を通して地域や食の大切さについて学び、関心を深めるとともに、地域住民との交流を図った。	10月19日～ 30日	8	274
インリーダー研修会	子供会活動のための、児童と世話人を対象にした研修会を実施した。	2月17日	1	56
富沢発 ぐるりぶらり散歩道	地域にある知的財産や豊かな自然を、専門家の道案内で散策しながら理解を深め愛着を持つ機会を提供した。	5月11日 10月19・26日	3	54

富沢シニアクラブ	高齢者の生涯学習推進と親睦を図った。	5月17日～ 2月21日	10	428
図書ボランティア養成講座	新規ボランティアの育成と既存ボランティアのスキルアップ研修を実施し、充実した図書室運営とボランティア活動の活性化を図った。	5月23日 7月12日 9月8日 1月26日	4	27
市民企画会「アクティブエイジングサロン—定年後に地域で活躍する」	地域の定年を迎える世代が、新しい地縁や人の絆を生かして、魅力ある生き方をするための事業を企画した。	7月18日 8月1日 9月5日 11月7日 2月27日	5	21
富沢小学校連携講座「地域を知って富沢博士になろう！」	3年生を対象に富沢の歴史や史跡についてクイズ形式で学び、散策して理解を深めた。	6月28日 11月1日	2	224
社会学級共催事業企画会	地域の小学校区にある学習団体と協力・情報交換をしながら、地域の家庭教育力向上を目指した事業を企画実施した。	5月31日～ 2月7日	8	41
富沢市民センターまつり	市民センター利用団体、町内会等の参加発表の場とし、地域住民のコミュニティづくりを図った。	9月29・30日	2	2,000
支えあいセンターたいはく共催事業「絆再び2012」	東日本大震災で被災した地域の借上げ民間賃貸住宅入居者と地域住民の交流の場を提供し、新たな絆作りやコミュニティ作りを支援した。	8月3日 2月22日	2	61
富沢市民センター懇談会	地域課題やニーズの収集、情報の共有化を図りセンター事業の運営に活用した。	6月1日 2月28日	2	25

泉区中央市民センター

〔沿革〕

昭和 22 年 9 月、七北田中学校内に七北田公民館として開設され、昭和 43 年 7 月には、市名坂字東裏の現在地に移転し、今日まで泉区の生涯学習の拠点として、その役割を担ってきている。平成 16 年 1 月、施設の老朽化と機能拡充の必要性から改築され新館として開館した。

本地域は従来の歴史的・文化的要素が残されている七北田地区と仙台市の副都心として急速に発展した泉中央地区を包含する地域であり、住民を取り巻く社会環境は大きく変化しつつある。このような状況の中、現代社会に対応した生涯学習事業の展開を図るため、拠点館として機能がますます重要になってきている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある(地区館)事業〕

事業名	●★いざという時役立つ減災講座		
参加者	地域住民	参加延人数	106 人
開催日	全4回 6月16日(土)、9月15日(土)、9月21日(土)、9月28日(土)		
協力者・協力団体	市民局地域政策部政課、泉区民部民生活課、泉区保健福祉センター管理課、泉消防署、七北田小学校、市名坂小学校、七北田中学校、泉中央連合町内会、泉中東地区連合町内会		
ねらい	当地域は転出入者が多く、今後東日本大震災を経験しなかった住民も増えることが予想される。このことから、地域諸団体と連携を図りながら、災害時に必要な知識を学び、助け合うことができる地域づくりを目指す。		
概要・成果	前半2回は、避難所マニュアル(素案)の説明や模擬避難所開設・運営を開催し、連携機関である市民局、区役所、消防署と事前打合せを綿密に行ったことで、双方の狙い、役割分担が明確になり、スムーズな運営を行うことができた。また後半2回は普通救命講習・乳幼児の減災講座を開催し、講師の丁寧な指導により、受講生は講習の内容を十分に理解することができた。		

〔平成 24 年度（地区館）事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
●パパ＆ママふぁんふぁんフェスタ	地域で子育てに関わる機関等とともに、若い親子が気軽に集い交流できる講座を企画・実施。地域の機関が打合せを重ねることで協力関係を築き、転勤族でも子育てしやすい環境を整えた。誰もが参加しやすい子育てイベントを開催。	9月5日	1	135
いずちゅーキッズ	体験型のさまざまな学習を通して近隣小学校間の交流と異年齢交流を図る。ジュニアリーダーの活動周知。「七北田JLサークルありす」の支援の場とした。科学、調理、工作などの体験学習とジュニアリーダーが企画・実施する講座など。	7月28日 9月27日 10月27日 12月22日 1月20日	5	154
ウェルカムいちんなキッズ	小学生に地域のリーダーとなるための経験をしてもらう。七北田小学校と市名坂小学校との合同で行い、交流と協働意識向上を図った。ジュニアリーダーとのゲームや子ども会行事などの企画を立てるグループワークなど。	11月3日	1	78

★復興へのオモイ～ いずみの自然で形に しよう	震災復興に向けて住民同士の協働の場を作り交流を生むことが必要である。「復興」というみんなの「想い」を形にする講座を通し、交流の始まりとする。地域資源を再認識し、地域理解を深めることを目的とした。	8 月 4・11・25 日 10 月 27 日 11 月 11 日	5	73
泉シニア塾(文化コース)	高齢者が時代に即した情報や幅広い知識を自主的に学習し、積極的に人生を送るために、定期的な学習会を提供する。参加者相互の交流を図った。講話・ワークショップなど	5 月 16 日～ 1 月 23 日	8	358
●泉シニア塾(健康コース)	高齢者が生涯に渡り、社会と関わりを持ちながら心身ともに健康で豊かな生活を送れるように情報の提供や学習機会の提供をする。参加者相互の交流を図る。講話・実技	5 月 16 日～ 1 月 23 日	8	268
泉中央交流カフェ	当センターは転出入の多い土地柄であり、新旧住民の交流が不可欠となっている。地域への理解を深め支え合いの風土を醸成できるよう、気軽に参加しやすい事業を提供し地域住民の交流を促す。絵手紙・コンサート他	6 月 7 日～ 2 月 2 日	12	338
中高生企画会「あつまれ！中高生」	市民センターの利用が少ない中高生を企画員にすることで、同世代の市民センターへの関心を高める新しい企画を出してもらう。中高生の気軽な来館を促進し、地域の方の活動を知り、自らも企画することで自己表現の一助となった。	5 月 6 日 6 月 3 日 7 月 1 日 8 月 8 日 9 月 2 日 10 月 8 日	6	54
地域団体連携企画会	子どもの人口比が高い地域であることに着目し、地域団体と連携して企画することで関係を強化し、地域づくりへの意識向上をめざした。食育に関する講座の企画会	6 月 28 日～ 2 月 7 日	9	76
簡単！手軽！美味しい！毎日とりたい麴のチカラ	地域団体連携企画会を経て実施した事業。日本の伝統食である発酵食品の効果について学び、試食しながら参加者の交流を図った。	1 月 24 日	1	62
Wonder Land ～あつまれ！中高生～	体育の日を中高生への市民センター開放日にする。全館を使用し、ブース毎に企画員が企画したイベントを開催。スポーツ、おばけやしき、楽器体験など。	10 月 8 日	1	28
まつりだよ！泉区中央	誰もが気軽に集える「まつり」を通じて、市民センターをより広く周知していただけるよう努めた。サークル同士の交流と地域住民との交流を図り、地域の方や小中学生にも発表の機会を提供した。展示・ステージ発表等	11 月 10・11 日	2	700
泉区中央懇話会	地域の諸団体と情報交換や意見交換する場を持ち、より地域の連携を深めた。今後収集した情報を基に地域の実情に即した事業企画につなげる	5 月 25 日 3 月 2 日	2	19

根白石市民センター

〔沿革〕

昭和 21 年 11 月、根白石小学校内に設置され、昭和 23 年役場の移転に伴い独立施設としての活動がはじまる。昭和 28 年公民館新築促進が決議されてから 10 年の経過を経て昭和 38 年 7 月、待望の公民館が移転新築された。以来 20 年余、根白石唯一の社会教育施設として活動を続けてきたが、老朽化により昭和 63 年根白石字杉下前に新築移転、4 月に開館した。

当センターは、泉区西部に位置し泉ヶ岳を背景に豊かな自然環境に恵まれている。周辺は田園地帯と近年の開発による住宅地からなり、多様な住民構成の生涯学習の場として、また、スポーツ、コミュニティ、自主学习の場として広く利用されている。

館の特色として、299 席の移動式観覧席を備えた多目的ホールを有する。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	冠りのふるさと伝承まつり		
参加者	地域の小中学生、各伝統保存会、地域の方々	参加延人数	240 人
開催日	全1回 10 月 13 日(土)		
ねらい	根白石地域では、地域・学校・家庭が一体となって、子ども達の健全育成と各地域に伝わる貴重な郷土芸能の伝承・存続に努めている。地域の方々とともに伝承活動を通して、子どもたちの郷土愛を育み、健全育成につなげる。		
概要・成果	根白石小学校・福岡小学校・実沢小学校・根白石中学校の子どもたちが、各地域に伝わる貴重な郷土芸能を地域の保存会の方から指導を受け、その成果を発表。市民センターが一堂に会して披露しあう場を設け、それぞれの地域への理解と連携を深め、子ども達の健全育成と郷土芸能の伝承に大いに寄与した。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育てママのほっこりタイム	親子で楽しく 3B 体操	10 月 24 日	1	14
あつまれ！元気キッズ	福岡小学校・実沢小学校・根白石小学校に出向き遊びや体験を提供。①JL とゲーム②3D ボックスを作ろう③実沢小学校まつりに参加しよう④ホバークラフトを作ろう	6 月 16 日 7 月 4 日 11 月 24・28 日	4	129
親子でおもしろ体験	①講話「春の夜空」と天体観測②科学工作「お金が消える貯金箱」	4 月 20 日 9 月 29 日	2	44
●地域みんなで健康づくり	①講話「生活習慣病について」②③④「みんなで楽しく健康づくり」、ニュースポーツ体験	10 月 16・23・30 日 11 月 6 日	4	36
地域発見！レンズ越しの根白石	デジカメの基本操作や美しく写真を撮るためのコツを学び、根白石地区の風景を撮影。市民センターまつりで作品展示。	6 月 7・21 日 8 月 7・23 日 9 月 6 日	5	54

四季の食彩	地元根白石の食材を使った調理実習①初夏を味わう②精進料理③秋を味わう④だんごさし	6月23日 8月3日 11月28日 1月11日	4	52
仙台市史講座「根白石」	仙台市博物館仙台市史編纂室職員による講話「根白石—政宗が愛した風景—」	10月20日	1	165
根白石民俗ミニ七夕づくり	根白石に伝わる伝統的な七夕まつりについて学び、七夕を製作。地元の「根白石民俗ミニ七夕まつり」に作品展示。	7月12・20・26・27日 8月3・4日	6	63
出前講座	交通の便が悪く市民センターに来館できない高齢者に学びの場を提供。ギターコンサート、読み聞かせ、ラフターヨガ体験。	7月25日 9月4・11日 10月12日 11月16日 12月7日	6	101
さわやか大学	地域の高齢者に学びの場の提供。健康講座、防災講座、コンサートなど。	5月17日～ 3月7日	10	227
心と身体を活性化！シニア演劇ワークショップ	①②③演劇ワークショップ④市民センターまつりでの演劇「水神」の上演	9月11日 11月 4・6・11日	4	42
ふれあいウォーキング	健康講話と町内会行事の「歩け歩け大会」を開催。	10月28日	1	47
★高めよう！地域の防災力	防災についての講話・地域防災マップづくり	6月 13・20・27日 7月11日	4	68
傾聴ボランティア養成講座（入門編）	傾聴の意義や基本的なスキルを学び、地域の老人福祉センターで傾聴体験の実施。	10月3・10・17・24・31日	5	112
市民企画講座「地域の絆づくり」	市民企画会議。企画講座はH25年4月実施のため未完了	6月23日 7月14日 1月26日 3月9日	4	12
泉区西部のまち興し”春待ち風揚げフェスタ”	風揚げ行事開催の導入部として、地域興しに関する講座・会議・風作り教室の開催。2月の風揚げ行事の開催。	9月30日～ 3月9日	14	398
地域ぐるみふれあいコンサート	根白石管内3中学校による合同ふれあいコンサートの実施。	10月20日	1	115
根白石市民センターまつり	町内会個人作品、サークル作品展示、講座受講生作品展示・サークル、講座受講生舞台発表・地元野菜授産施設販売・抽選会	11月11日	1	579
地域懇談会	①泉区西部地区連合町内会の役員の皆さんと地域課題の話し合い②利用サークルとの懇談会	8月22日 11月22日	2	26

南光台市民センター

〔 沿革 〕

昭和 52 年 4 月、南光台公民館として開館し、昭和 62 年 8 月に泉図書館南光台分室がセンターに併設された。その後、平成 2 年 4 月に南光台市民センターと改称され、地域住民の交流の場・生涯学習の場として、その役割を担ってきた。

平成 23 年 3 月の東日本大震災によりセンターの建物が使用不能となり、平成 23 年 4 月より仮事務所で生涯学習事業を行っている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔 特色ある事業 〕

事業名	★南光台地域防災力向上計画		
参加者	南光台中学校生徒・南光台地域町内会役員・地域住民	参加延人数	564 人
開催日	全 3 回 6 月 27 日(水)、7 月 14 日(土)、2 月 19 日(火)		
協力者・協力団体	南光台中学校、泉消防署八乙女分署、南光台地区町内会・老人会・婦人会 他		
ねらい	高齢者の多い南光台地区において、地域の防災力として中学生が果たす役割は大きい。災害発生時の様々な想定をもとに 中学校と地域の関係団体が協力しながら、各方面で連携した体制を整えていく。		
概要・成果	防災講演会、実技学習(簡易トイレ組み立て、非常食づくり、救急救命 AED 訓練、災害用伝言ダイヤル実践、多言語表示学習)、地域防災連絡会を行った。 中学生にとっては、地域の方たちと一緒に活動ができ、地域の一員としての自覚が生まれた。また災害に対する危機意識や共助の大切さが、中学生・地域住民それぞれの立場でさらに強く認識されるようになった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
ジュニアリーダーと遊ぼう	ジュニアリーダー「南光台アドバルーン」の活動を支援する。南光台児童館と南光台東児童センターを会場に子ども達と一緒にレクリエーションゲームなどを体験した。	7 月 24 日 8 月 3 日	2	65
台原森林公園の知られざる魅力を探る	実際に歩いて台原森林公園の自然を学び、DVD を観賞しながら貴重な植物の保護について考えた。	6 月 28 日 7 月 5 日	2	43
南光台学院	館外学習「東北歴史博物館企画展・福島県大内宿」講義学習「振込め詐欺・バランスの良い食事・イスラムの生活・泉が岳の野草等」体験学習「陶芸・音楽鑑賞等」	4 月～2 月	11	550
★続復興コンサート in 南光台 2012	地域の誰もが気軽に集える場として、「復興祈念・南光台絆づくりコンサート」を開催。	10 月 20 日	1	150
夏まつり子ども会大会「わくわくプレイパーク in 夏まつり」	毎年 8 月の「夏まつり子ども会大会」にて“コマ回しコーナー”を担当した。	8 月 19 日	1	70

南光台地域 絆づくりプロジェクト	仙台フィルミニコンサートと3D 映像観賞会、被災者支援茶話会ほか	6 月 24 日 7 月 31 日 9 月 25 日 10 月 30 日	4	335
ワケルくんに学ぶ	4 年生を対象に環境問題について、地域講師から「環境にやさしいくらしとは」と題し講演を聞き、仙台市のごみ分別について DVD で学んだ。	7 月 18 日 9 月 14 日	2	180
★続復興コンサート in 南光台 2012 企画委員会	南光台「絆づくりコンサート」の企画、運営ほか	7 月～10 月	6	91
南光台スマイルひろば企画委員会	企画員に子育て中の親子を対象とした講座や託児付講座などを企画してもらう検討会	1 月 23 日	1	8
社会学級連携企画会議	南光台地区の 2 団体の社会学級との企画会	5 月 18 日 3 月 22 日	2	5
南光台市民センター懇談会	地域内の諸団体および町内会等との情報交換会	5 月 30 日	1	28

黒松市民センター

〔 沿 革 〕

昭和 47 年 4 月に開館した八乙女公民館(旭丘堤 1 丁目、建物面積 144 ㎡)を前身とする。平成 4 年 10 月の移転新築により、拡充され「黒松市民センター」として、地下鉄黒松駅に隣接する現在地(黒松 1 丁目、延床面積

1,491 ㎡)に開館した。

当市民センターは地域における生涯学習の拠点として機能し、また、交通の利便性により広域からの施設利用者にも活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★●防災プロジェクト 2012 ～その時わたし達にできること～		
参加者	中学生、地域住民	参加延人数	740人
開催日	全1回 11月1日(木)		
協力者・協力団体	八乙女中学校、泉区役所区民生活課、泉消防署、仙台市水道局		
ねらい	高齢化した地域の中で災害時に貴重な労力を提供できる中学生が、災害時の「共助」を目指し、適切な対応や処置ができるよう、地域住民と一緒に防災体験学習を行う。		
概要・成果	中学生を対象とした講話、実技(簡易トイレ組立体験、避難所体験、AED、消火訓練、濃煙体験)、および本年度は新たに「中学生の私たちができること」のチラシを作成、地域への配布を実施し、地域住民は訓練を見守ることに主眼をおいて行った。 これまでの成果として東日本大震災で中学生の活躍が見られたことで、地域の期待が高まっており、地区の防災訓練でも中学生を交えた訓練も行われ始めてきた。さらに平成 25 年度に向けてはこれまで個別に行われてきた地区の防災訓練が1中学校、2 小学校の地域全体が一体となっていくことが決まるなど、本事業を継続実施することで地域防災に大きく貢献することができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
黒松わんぱく親子農園	親子の話題作りや老人会との交流を深めることを目的に、黒松老人憩いの家の空き地を利用して野菜の栽培(種まき、畑準備、苗の植え付け、ハウス屋根かけ)、収穫、調理実習、ずんだ餅作りなどを行った。	4月28日 5月13日 6月9日 7月14日 8月4日	5	139
黒松おやこひろば	未就園児の親子が気軽に集い交流する場の提供を目的に、ダンス、小物作り、ヨガ、読み聞かせ、ハーブ工作、紙芝居を行った。	5月20日～ 3月1日	10	124
わくわくタイム	子どもたちに様々な体験の場を提供することを目的に、水の実験教室、真美沢公園での自然観察、簡単おやつ作りを行った。	8月22日 10月10日 1月12日	3	49
黒松どきどきキャンパス	市民センターに関心の少ない中学生や小学高学年を対象に、豊かな心と生きる力を育てることを目的に、センターまつりでのボランティア体験会、そば打ち、睡眠学をテーマにした体験学習を行った。	9月22・23日 12月18日 1月19日	4	66

健康講座 ノルディックウォーキング	地域資源を活用しながら、健康の維持・増進と仲間作りを目的に、台原森林公園や真美沢公園を会場にしたノルディックウォーキングの実技を行った。	5 月 22 日・29 日・6 月 5 日	3	66
第 2 回黒松ボッチャ大会	高齢化の進む黒松地域において、関係する諸団体と共催して、高齢者が気軽に参加できるスポーツ大会「ボッチャ」を行った。	11 月 7 日	1	18
黒松寿大学	高齢者の健康で心豊かな生涯学習の機会を提供することを目的に、歴史、震災復興、新聞、国際理解等をテーマにした講演会と、演芸やコンサート鑑賞、自彊術の実技、八木山動物公園の館外学習を行った。	5 月 17 日 6 月 21 日 7 月 19 日 9 月 27 日 10 月 18 日 11 月 15 日 12 月 20 日 1 月 17 日 2 月 21 日	9	467
市民企画講座「おとなの週末倶楽部」	若い世代に市民センターを周知し、利用してもらうことを目的に、食と健康をテーマにした学習（ウォーキングの実技、食のバランスに関する講話）と、講師と参加者に加え地域ボランティアを交えての交流会を行った。	10 月 13 日 11 月 10 日	2	31
からだと心をときほぐそう～よりよいコミュニケーションのために	地域の社会学級と共催で、コミュニケーションのための手法を学ぶ。自身の身体の動きを手がかりに相手を理解するための手法である「野口体操」を行う。（当日講師急病のため、太極拳の実技に変更）	2 月 8 日	1	26
★黒松市民センターサークル体験会	被災のため転居して来た方の仲間作りや、サークルの活性化のため、学習と交流の機会を提供する。26 団体のサークル（紙工作、混声合唱、パソコン、ヨガ、リズム体操、手話等）の体験会を行った。	5 月 11～31 日	14	67
読み聞かせボランティア支援講座「やっぱり子どもは本が好き」	黒松小学校での読み聞かせ活動の人材確保、及びボランティアのスキルアップと情報交換を目的に、読み聞かせの意義やボランティアについての講話、読み聞かせの実技による学習を行った。	10 月 5・12・19・26 日 11 月 2 日	5	76
市民企画会「コミュニケーションカフェ in 黒松」	市民センターの利用の少ない若い世代を対象に、市民による講座の企画・開催と、地域人材の育成を目的に、講座の企画・運営等の会議を行った。	5 月 27 日 6 月 10・24 日 10 月 13 日 11 月 10 日 12 月 8 日	5	25
地域の魅力を記録しよう	住んでいる町の記録を次の世代に伝えることを目的に、記録する方法や撮影技術についての講話、黒松夏祭りの撮影会、写真の講評と情報交換、センターまつりでの展示発表などを行った。	7 月 15・28 日 8 月 5 日 9 月 1・16・23 日 10 月 6 日	7	55
社会学級共催事業検討会	八乙女中学校区の 2 つの社会学級と市民センターが協力して、地域課題を共有し、地域のネットワークや生涯学習の整備・向上を図る場とすることを目的に、講座の企画・運営等の会議を行った。	5 月 23 日 6 月 13 日 7 月 26 日 10 月 25 日 11 月 15 日 1 月 31 日 2 月 8 日	7	21
黒松市民センターまつり	地域住民の交流促進、並びに各種サークルと地域住民の交流の場とすることを目的に、ステージ発表、展示発表、芋煮のふるまい、防災展示、遊びのコーナーなどのイベントを行った。	9 月 23 日	1	1,300
黒松市民センター懇談会	地域課題の共有・解決のための意見を聴取と情報交換の場、及び市民センターの役割や事業への理解を深めてもらうことを目的に、黒松地区、八乙女地区のエリアに分けて地域の各種団体との懇談会を行った。	7 月 24 日 2 月 26 日	2	41

将監市民センター

〔 沿 革 〕

昭和 47 年 11 月、将監団地の開発・発展を背景に地域住民の交流の場として「将監会館」が開館した。昭和 53 年 4 月、新たに地域生涯学習の拠点施設として名称を「将監公民館」に改め、昭和 54 年 6 月には研修室棟も竣工し施設の拡充が図られた。その後、仙台市との合併に伴い、平成元年 4 月から「将監公民館・将監市民センター」となり、翌年 4 月「将監市民センター」と改称された。

平成 3 年度には、施設の大規模な改築が行われ、平成 4 年 4 月に再開し、現在に至っている。当センターは、軽スポーツ活動が可能な多目的ホールを有し、多くの人々に利用されている。

（★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業）

〔特色ある事業〕

事業名	●ひとり暮らし高齢者のためのサロン		
参加者	75歳以上のひとり暮らしの方	参加延人数	26人
開催日	全5回 6月7日(木), 7月5日(木), 8月2日(木), 9月6日(木), 10月11日(木)		
協力者・協力団体	泉区家庭健康課、民生委員児童委員協議会、宮城県栄養士会		
ねらい	将監地域は高齢単身世帯が増加し、地域環境が大きく変わろうとしている。大震災により、地域コミュニティの助け合いの重要性を改めて再認識させられた今日、高齢者同士が仲間づくりをしながら気軽に和やかに、語り合い支え合い、地域の中で安心して暮らすことができるようにする。		
概要・成果	介護予防を目的とした軽運動、音楽(歌や演奏)をとおして仲間とのふれあい、介護予防の栄養講座などを実施した。受講生同士が毎回講座終了後に気軽に語り合える場を提供したことにより年央企画の「みんなの居場所づくり」講座へとつながった。受講生は受講をきっかけに積極的に地域と関わりを持ち、市民センターで活動している軽運動のサークルなどにも参加するようになった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
チアダンスで Happy!	ベガルタチアリーダーを講師に迎え、チアダンスに必要なポンポンを作り、簡単なチアダンスを体験し、その成果を発表した。	9 月 15 日	1	40
こどもチャレンジ講座	地域の小学生を対象に、食育講座、野菜や木の実を使ったクリスマスリース作り・パレンティンのおかし作りの体験学習を実施した。	8 月 2 日 11 月 11 日 2 月 9 日	3	66
泉ヶ丘小学校連携講座 「夏の講座」	市民センターで活動している講師を交通アクセスが不便で来館が困難な泉ヶ丘小学校に派遣し、泉ヶ丘地区の児童・保護者・地域住民を対象に、夏休み期間中に多様な体験会を開催した。	7 月 24 日～ 8 月 7 日	10	115
将監こども映画館	地域の子どもたちに映画上映とボランティアグループによる絵本の読み聞かせを行なった。折り紙のボランティアグループ作成の折り紙作品を参加者にプレゼントした。	8 月 17・24 日 2 月 2 日	3	108

ジュニアリーダー「将監くれよん」と遊ぼう！	1年生から6年生までの参加者で、ジュニアリーダーとドッジボール・サクランボ鬼・じゃんけんゲーム・だるまさんがころんだなどのゲームで遊んだ。	1月13日	1	12
軽快なリズムにあわせてエクササイズ	託児付の運動の講座を開催した。	1月24・31日 2月7日	3	62
将監寿大学	地域の高齢者を対象に、健康で生きがいのある毎日を過ごせるように、健康・環境・歴史・文化など身近な問題・課題について学習した。	5月15日～ 2月19日	10	482
ふるさと再発見～いずみを歩く～	地域の歴史資源を学び、地域のダム事務所や神社を見学した。センターで活動する歴史サークルの人材を活用した。	10月25日 11月1・8日	3	44
将監グラウンドゴルフ大会	将監地区の児童館、児童センター、市民センターが共催して、子どもから高齢者までが気軽に参加できるグラウンドゴルフを実施し、世代間交流を行った。	9月1日	1	53
将監ふれあいコンサート	地域の人たちが年齢を問わず幅広く参加できるコンサートを開催し、地域住民の交流を行う。演奏内容は吹奏楽、弾き語り、アルパ演奏。	11月11日	1	400
食生活で元気にいきいき！	市民企画から立ち上がった講座で、健康の源である「食」に関する知識と調理実習を学ぶことで食への関心を高めた。	2月 14・21・28日	3	16
★将監東中学校連携講座 「災害に備えて」	災害に備えて、将監東中学校生徒、職員が避難訓練を行った。	11月16日	1	250
気軽にサークル体験	センターを拠点として活動しているサークル23団体が体験会を実施した。	2月26日～ 3月2日	6	31
七夕作りサポーター養成講座	七夕飾りの制作を通して、参加者が交流を図りながらボランティア活動に対する意欲を高めた。	6月9・23日 7月 7・21・28日	5	62
市民企画会議「知りたい・教えたい」食事のちから	企画委員が『「知りたい・教えたい」食事の力』をテーマに、各世代が気軽に参加し、交流を深められる講座を企画した。	10月23・30日 11月6日 2月28日	4	16
★地域防災情報紙作成講座	災害時に地域情報が不足していたことを解決するために、地域の防災に関する情報を収集し、情報誌にまとめた。	6月 1・15・29日 7月6・20日	5	70
社会学級共催講座企画会議	社会学級共催企画会議(将監小学校社会学級、将監中央小学校社会学級、将監西小学校社会学級との企画検討会)により事業を企画した。	6月14日 7月19日 11月7日 12月4・5日	5	36
オペラってこんなに楽しく！すばらしい！	地域在住のオペラ協会会員の協力で、オペラの聴き方・楽しみ方の講話と、実際のアリアを鑑賞した。	12月5日	1	200
みんなの居場所“コミュニティ・カフェ”を作ろう	一人暮らし高齢者サロンを継続発展させた事業。講話・ワークショップ・見学会・カフェ等を開催。	10月17日～ 3月2日	8	203
将監市民センターまつり	市民センターの利用団体が学習の成果を発表する場として、展示発表、舞台発表、サークル体験を行う。	10月6・7日	2	2,500
将監地域懇話会	「将監地域の課題」をテーマに将監地域の町内会、学校、諸団体の代表や関係者が話し合った。	8月2・30日	2	44

加茂市民センター

〔 沿 革 〕

昭和58年4月、加茂公民館として開館した。その後、仙台市と泉市の合併や公民館と市民センターの併設を経て、平成2年に現施設名に改称された。平成10年には併設されていた加茂体育館が編入され、現在に至っている。開館当時は長命ヶ丘・泉中山の区域まで対象としていたが、平成5年4月の長命ヶ丘市民センターの開館に伴い、現在は加茂・虹の丘・上谷刈・みずほ台を対象としている。

当市民センター周辺に賀茂神社や古内志摩の墓、中世の館跡である長命館公園などが点在しているほか、七北田川や丸田沢堤・三共堤がある水の森公園などの自然環境にも恵まれている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	歴史講座(地域の歴史を学ぶ)		
参加者	成人	参加延人数	76人
開催日	全4回 6月26日(火)、8月29日(水)、10月3日(水)、10月24日(水)		
ねらい	地域の史跡を深く学ぶことで、新たな発見をするとともに、地域に愛着や関心を持ち、地域活動へとつなげる。		
概要・成果	加茂地域周辺3地域の史跡を巡り、それぞれの地域の特色ある史跡で歴史を学ぶことで、地域に対する愛着が一層深まり、住民との交流も図ることができた。 また、3地域の復習を兼ねたマップづくりを行い、その学びを生かして作品を市民センターまわりに展示発表した。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
かも 子育てひろば	子育て中の親を対象に、子育て講話と絵本の読み聞かせや3B体操を実施。	7月4日 8月1日 9月5日	3	60
わくわくキッズ講座	小学生を対象に、ダンス・調理実習・工作やマジックショー・映画上映会を実施。	7月24・25日 8月1・25日 12月26日 1月19日	6	111
加茂中学校へ行ってみよう	理科の授業「岩石のつくり」と給食体験を実施。	11月27日	1	11
●健康料理講座	中高年者を対象に、健康に過ごせるよう成人病予防や骨粗鬆症予防に関する栄養講話と調理実習を実施。	10月4・25日 12月8日 2月21日	4	49
健康講座(歩け歩け里山を歩こう)	地域内でもあまり知られていない場所を歩いて、新たな地域の魅力を発見しながらの健康づくりを実施。	5月29日 6月19日 11月20日	3	87
●ワイワイ若がえり塾	歴史講話・軽体操・調理実習・トールペイント・環境施設見学・館外学習・北山散策・音楽鑑賞・落語鑑賞を実施。	通年	11	356
●社会福祉協議会共催事業	血圧や体重測定を実施し、その数値を元に健康講話とストレッチを学ぶ。	10月5日	1	17

キラキラハッピーライフ	シルクフラワーアレンジメント、ポーセラーツ、クリスマス生リース作りを実施。	9月21・28日 12月8日	3 +	47
●★加茂地域防災協議会共催事業(震災が起きたら)	AED講習会・総合防災訓練の実施。	6月24日 10月13日	2	394
ロビートークサロン	地域の方とロビーでの懇話会を実施。 地域情報やサークル情報、センターへの要望などの把握に努めた。	7月13日 8月28日 12月21日 2月8日	4	33
●緑の環境ボランティア養成講座(剪定)	剪定についての講話とセンター内、地域の公園の植栽で剪定作業を実施。	6月16・23・30日 11月10・17日 2月9日	6	58
地域のボランティア育成講座	災害時に地域で連携、協働して対応できるよう中学生を含めカードゲームを通じて、世代間交流をしながら地域での災害時の対応を学ぶ。	12月16日	1	53
加茂ふれあいロビーギャラリー	サークルや地域で活動している方の作品展示とミニコンサートの実施。	5月8日 7月12日 11月21日 2月5・19日 3月7日	6	442
ジュニアリーダーになろう	現在活動中のジュニアリーダーの体験談を等してジュニアリーダーを育成する。	3月18・26日	2	160
市民企画会	「加茂地域を活性化する」をテーマに世代間交流に繋げる企画の実施に向けた会議。	6月20日 7月6・27日 9月29日 12月8日	5	10
加茂中学校区青少年健全育成推進協議会共催事業	青少年の健全育成の為に「薬物依存者からのメッセージ」と題して講演会と防犯・子ども、守ろうデーを実施。	11月13日 12月14日	2	265
加茂連合町内会共催事業	地域の町内会活動に従事している方を対象に、パソコンの講座を実施。ワードでの文章の作成やエクセルでの表計算の作り方を学ぶ。	7月13・20・27日 8月3日	4	44
加茂学びのコミュニティ推進委員会共催事業	小学生と保護者を対象に館内ウォークラリー、クイズ大会(悪天候のため)を実施。	12月15日	1	115
加茂市民センター出前講座	虹の丘コミュニティセンターで篠笛のコンサート、虹の丘地域の方達を対象に館外学習でリサイクルセンター見学を実施。	11月24日 1月26日	2	95
加茂市民センターまつり	地域のサークル、各種団体の学習成果の発表と地域交流ステージ発表、作品展示、子どもの広場、復興市を開催。	11月3・4日	2	1,500
地域懇談会	加茂・虹の丘小各地域の各種団体と、次年度の活動計画や情報交換を実施。	1月5・25日	2	35

高森市民センター

〔沿革〕

当センターは、地域住民の生涯学習活動の中心的施設として平成元年 4 月高森公民館として開館した。その後、機構改革に伴い高森市民センターと改称された。

この地域は、昭和 48 年以降、民間企業によって開発された地域で、閑静な住宅地のほか高森東公園や高森西公園などには豊富な緑地が残され、自然と調和した美しい街区が特徴的である。

町内会や地域ボランティア団体を中心に、「新しいふるさとづくり」を目指して、四季を通じたイベント等を行い、地域活性化を推進している。その中で、地域への愛着心を育む交流の場として多くの地域住民に利用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	新しいふるさとづくり事業(地域の絆づくり推進事業)		
参加者	一般	参加延人数	2,300 人
開催日	全20回 4月23日～5月20日、5月9日、5月1日～11月19日、6月15日、7月4日・6日、8月16日、 9月14日・15日、10月12日・17日、11月15日・23日・29日、12月8日・22日、 1月6日・15日・18日・24日		
協力者・協力団体	高森中学校、高森小学校、高森東小学校、高森東ふるさとづくりの会、仙台風の会、高森児童センター、高森東児童センター、日本野鳥の会宮城支部、サーラ保育園 等		
ねらい	泉パークタウンが形成されて30年以上が経過し、3・11の東日本大震災を契機に地域の絆と活性化を求める機運が高まった。この機会をとらえ、高森東公園を核として、ボランティア団体や、地域の諸団体と連携しながらイベントの実施を通して地域で活動する人材の育成につなげる。		
概要・成果	12事業20コマの事業(鯉のぼり吹き流し、野外ミニコンサート、野鳥観察会、巣箱づくり、灯籠流し、地域交流会、感謝祭、凧づくり等)を行うことを通して、地域で活動する人材育成につながった。本事業に 2,300 名の参加が得られ、事業は地域イベントとして定着しつつある。地域の諸団体と共催、連携により多くの団体の賛同が得られ、団体間の連携強化にもつながった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
私のチャレンジタイム	煩雑な社会において心身の健康を保つために様々なことに挑戦し生活のリフレッシュを目指す。また子育て中の方の社会参加の機会を提供するとともに、地域の方との交流を図った。	9月7日～ 10月5日	3	41
たかもりキッズクラブ	地域で暮らす小学生に、地域の文化や伝統を伝えたり、地域で活躍するジュニアリーダーの活動を紹介することにより、地域にある様々な資源や文化を認識してもらい次世代に繋げ引き継いでいけるように世代間交流を図った。	7月24日～ 1月12日	5	90
高森の魅力をたずねて―野鳥観察会	小学生が地域資源を活用して高森地域にある公園に生息及び飛来する野鳥の観察会を実施して、高森の自然を再認識する一助とした。	6月5日～ 1月24日	4	198
インリーダー研修会 子ども会交流会	子ども会活動の充実を図るため、地域の子ども会のリーダーとして活動する児童及び世話人を対象に、子ども会についての知識やレクリエーション・工作・ゲーム等を学習する場を提供した。	12月8日	1	49

わら縄をなってみよう！	小学生が地域の縄ないサポーターの指導の下、稲作の産物であるわらをなう体験をし伝統技術の継承を図り、地域住民との交流を深めた。	11月21日 11月30日	2	105
健康ウォーキング	日頃の運動不足の解消に、誰でもが気軽に取り組めるウォーキングを通して健康増進を目指した。	5月17日～ 5月31日	3	42
高森塾	高齢化社会に適応した学習活動を推進し、地域の実情やニーズに応じた学習内容を提供した。また、受講生同士の親睦を深めた。講話、施設見学等。	5月25日～ 2月22日	9	328
●シニアの健康プロジェクト	高森地域は高齢化率が高くなりつつある現状を踏まえて、シニア世代がこれから健康管理のあり方について学ぶ機会を提供した。	5月23日 6月13日	2	62
地域安全マップを作ろう！	小学生が子どもの目線で地域内の犯罪が起こる危険性の高い場所を歩いて探し地域安全マップを作成した。マップを作成し発表することで、危険を回避できる能力を身につけ、安全マップサポーターや保護者、地域の方など大勢の大人が見守っていることを知る機会とした。	6月7日～ 7月7日	4	395
★高森地域防災講座	中学生が東日本大震災の経験をもとに、地域貢献について学んだり、訓練を積むことにより地域住民と協力して貢献できることを意識したり、考える機会を提供した。	2月13日	1	31
サークル体験会	市民センターや地域で活動しているサークル団体の活動を見学や体験の機会を設け、生涯学習への関心を高める。同時にサークル活動の紹介と新会員入会の一助とする。	2月5日～ 2月9日	5	32
畑の先生養成講座高森ミニ農園	「畑の先生」として高森小学校・高森東小学校・高森児童センター・高森東児童センター所有の畑の手入れに参加したり、子どもたちへの農作業の指導を行うボランティアを養成した。	4月14日～ 11月10日	15	428
高森市民企画会議	地域住民が自らの知識や経験を生かし、多方面にわたる情報や人材についての情報を収集しながら地域の課題やニーズに応える講座を企画、運営を行った。	4月26日～ 2月9日	3	6
市民企画講座「大豆の効用を学ぶ」	市民企画会議からの事業で、被災地支援を検討して塩害で稲作が出来ない農地で大豆を栽培している農家の方に講師を依頼して大豆の効用を学んだ。	12月11・19日	2	33
高森福祉地域交流大会企画会議	高森東社会福祉協議会に所属しているボランティアもくれんと連携して高森福祉地域交流大会を企画、運営した。	6月～11月	4	16
高森市民センターまつり	センター利用団体や、地域活動団体の生涯学習の場として、また地域住民の交流の場としてセンターまつりを開催した。作品展示、舞台発表等。	9月29・30日	2	4,260
★高森絆コンサート	地域住民の震災後に塞いだ心を解きほぐし、活力を取り戻しながら地域の絆をさらに深めた。	12月15日 3月3日	2	370
高森福祉地域交流大会	各町内会で行われている高齢者サロンの高森東地区全体の位置付けとして年1回高森福祉地域交流大会を実施した。どの年代にも受け入れやすい内容を企画し、大会を通して心豊かな時間を提供し、地域住民の交流と健康増進につなげた。	11月17日	1	90
高森地域懇談会	市民センター運営、事業に対する意見交換や地域課題等を地域住民と共有する場として懇談会を開催した。	5月30日 10月19日	2	44

松陵市民センター

〔 沿 革 〕

松陵市民センターは、泉区の北東に位置する松陵ニュータウンの住宅地に平成 2 年に開館した。松陵・永和台・歩坂町・山の寺・向陽台・明石南の6つの町をエリアとし、県民の森をはじめ、豊かな自然と緑に恵まれた地域に立地している。子どもの減少により、平成 25 年度から2つの小学校が統合されるなど少子高齢化が進んでいる地域であるが、当市民センターは地域における生涯学習の拠点として市民に親しまれる事業を展開し、地域コミュニティづくり、交流の場として地域住民に広く活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	第 21 回松陵ふれあいコンサート		
参加者	地域住民	参加延人数	370 人
開催日	10 月 21 日(日)		
協力者・協力団体	松陵中学校区地域ぐるみ青少年健全育成推進協議会、松陵中学校、松陵小学校、松陵西小学校、向陽台中学校、向陽台小学校、泉松陵高校、東北学院榴ヶ岡高校、宮城学院高校、向陽台中学校吹奏楽部親の会、向陽台小学校ひまわり吹奏楽団保護者会		
ねらい	地域に根ざしたコンサートとして定着した事業となっている。地域の小学生から社会人までが吹奏楽の合同演奏会を行い、異世代間交流と子供たちの心身の健やかな成長を目指している。		
概要・成果	第1部 高校生から社会人までの小合同演奏 第2部 小学生から高齢者までによる合唱 第3部 小学生から社会人までの大合同演奏 近隣地域や異世代間交流によって、子ども達の健全育成が図られ、地域活性化へと繋がった。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
向陽台児童館・松陵児童館共催事業「夏と冬のお楽しみ会」	地域の児童センター・児童館を会場に 3 館の共催で児童と乳幼児親子を対象の講座を開催。①サイエンスマジック②人形劇	8 月 3 日 12 月 18 日	2	90
子どもゼミナール'12	松陵っ子土っと来い関係団体の地域の講師による体験学習。1・3 回目料理、2 回目クリスマスリースづくり	7 月 7 日 12 月 8 日 2 月 2 日	3	65
松陵っ子土っと来いまつり	土っと来い連絡協議会の各団体が遊びのコーナーをつくり子ども達はスタンプラリーを行なった。	11 月 10 日	1	300
●泉区役所・松陵市民センター連携事業 向陽台地区出前講座 「温泉でリフレッシュ！」	「温泉」の定義や様々な効能など温泉に関する基本的な知識や泉区内の温泉の紹介等、対話形式で実施した。 会場：向陽台コミュニティセンター	7 月 19 日	1	20
★～ココロ癒す時間～ ～クリニカルアートを体験しよう	4 回とも実技。①色と線のデザイン②量感画③アナログ画④立体造形 * センターまつりで作品展示	9 月 6・13・20・27 日	4	38

松陵小社会学級・松陵西小社会学級共催事業「佳麗なるいきいきライフ」	女性がこれからの健康とライフスタイルづくりを考える機会とし、医療・運動・食事・メンタル面について学んだ。講話・質疑応答・交流会を実施	7月14日	1	26
いきいき楽々講座	医療講話、ボッチャ大会、災害関連講話、歴史講話、軽体操、絵手紙制作、芸能講話、コンサート	5月11日～ 2月8日	9	577
なごみコンサート'12	合唱とバンド演奏によるクリスマスコンサート	12月15日	1	105
松陵ふれあい合唱	松陵ふれあいコンサート出演に向けての合唱練習。5～7回目は、手話ソングの練習も実施。また、有志でなごみコンサート'12へ出演した。	9月1日～ 10月20日	7	212
子ども会育成会、学区民体育振興会、はつらつ遊樹会共催事業「オリエンテーリングとデイキャンプ」	地域団体との共催により、小学生の親子や地域の方が気軽に参加できる事業を行った。松陵小でのデイキャンプと県民の森でのオリエンテーリング	9月29日	1	70
第21回松陵ふれあいコンサート合同練習	松陵ふれあいコンサート出演に向けての吹奏楽練習。	8月19日 10月8日 10月14・20日	4	710
おもちゃドクターボランティア養成講座	おもちゃドクターとしての心構えとおもちゃ修理の基礎知識と実践	5月 16・23・30日 6月6・13日	5	29
市民企画講座「げんき第一！～健康でいきいき暮らそう～」	①講話と試食「食の健康づくり」②実技「カントリーダンスで健康づくり」③音楽と交流会「歌で心の健康づくりと友人づくり」	10月 4・11・18日	3	69
市民企画会～集まれ！元気仕掛け人～	自己紹介、「市民企画」についての説明、具体的な話し合い(目的、対象、内容等)と決定、広報活動、開催講座準備、振り返り他	6月21日～ 10月18日	9	54
松陵小・松陵西小社会学級共催事業企画会	地域のふたつの社会学級による講座の企画会。企画・広報・講座の運営・振り返りと情報交換等	4月26日 5月16日 7月12・14日 3月5日	5	10
第23回松陵市民センターまつり	町内会、地域団体による、出店・舞台発表、展示発表。	11月11日	1	1,200
地域懇話会	向陽台地域の連合町内会長と地域課題や意見交換を行い、そのニーズを把握しセンター事業に反映させる。	6月27日	1	3

寺岡市民センター

〔 沿 革 〕

寺岡市民センターは、泉区北西部の大規模団地「泉パークタウン」の西部に位置し、緑豊かな自然が残る寺岡・紫山地区を受け持っている。

寺岡地区は、昭和50年代後半から急速に発展し、団地としては成熟している一方、高齢化も進んでいる。新しく造成された紫山地区は、若い世代を中心に住民も年々増加しており、対照的な年齢構成になっている。団地周辺には宮城県図書館をはじめ、宮城大学や仙台白百合学園などの文教施設があるほか、平成 20 年には大型商業施設がオープンし、週末や休日には遠方からも人々が集まり賑わっている。また、紫山地域の開発が更に進み住宅地が広がっていることから、今後もますます発展と活性化が期待できる地域である。

今後もますます発展と活性化が期待できる地域である。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	★共助精神で地域ボランティアを考える「伊達な防災イベント」		
参加者	寺岡・紫山地域住民	参加延人数	317 人
開催日	全6回 10月6日(土)、11月3日(土)・8日(木)・28日(水)、12月1日(土)、1月19日(土)		
協力者・協力団体	泉区中央市民センター、寺岡小学校、寺岡地区社会福祉協議会、泉消防署、泉警察署、泉パークタウン防犯協会、寺岡児童センター、寺岡連合町内会会長、紫山連合町内会会長、寺岡小学校区子ども会育成会会長、寺岡市民センター市民企画員、泉区区民生活課、仙台市観光交流課、街ナビプレス社、奥州・仙台おもてなし集団「伊達武将隊」、寺岡おやじの会有志、折り紙フレッシュタイム有志		
ねらい	一般市民企画員と子ども企画員とで、「防災」をテーマにした地域交流イベントを開催する。地域の小・中学校、町内会、地域諸団体等が連携し、いざという時に地域住民が自主的にボランティアとして活動し共助しながら思いやりのある地域づくりを目指す。		
概要・成果	寺岡市民センターと泉区中央市民センターが共催していた「子ども参画社会創造支援事業」の一環として推進する中で、寺岡小学校、寺岡地区社会福祉協議会とも「防災」をテーマにした共同開催となった。また、泉消防署、泉警察署、伊達武将隊、地域諸団体等の協力も得ながら、地域の大人や子ども達が共に企画し運営したことで、子ども参画の実践の場となり、地域ぐるみで防災に対する「自助・共助・公助」精神を啓発するという成果を得ることができた。		

〔平成 24 年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
●深めよう親子の絆	親子で体を動かそう(親子ビクス)・お母さんのストレス解消法と育児相談・親子で本を楽しもう(お話し会&手遊び)	9月 14・21・28日	3	72
社会学級連携事業 「子育てを楽しむために【託児付き】」	突然の訪問客にもあわてないよう家族で楽しみながらできる収納術を学んだ。	1月30日	1	34
子ども体験塾	万華鏡をつくろう・家庭でもできる茶道を体験しませんか・カルメ焼きを科学しよう・クリスマスのおやつをつくろう・アクリル毛糸でつくる人形たわし	7月25・27日 9月29日 12月8日 2月23日	5	115

宇宙のふしぎ	角田宇宙センター見学・天体観望会	7月31日 12月21日	2	76
ジュニアリーダーの育成・支援「ジュニアリーダーと遊ぼう」	ジュニアリーダーが講座の内容を企画・実施(ゲーム)	3月17日	1	19
寺岡小学校区 インリーダー研修会	世話人の心構えと子ども会活動について・レクリエーションゲームの進め方	8月26日	1	73
宮城大学へ行ってみよう	「地域政策論」受講・学食体験・施設見学	10月31日	1	29
温故知新で東北・仙台の歴史を学ぶ	東北地方にアイヌの足跡を辿る・仙台の遺跡から災害を考える・東北宮城の地名とアイヌ語地名の謎・仙台藩の地名と災害地名・仙台藩の地域的特色	6月28日 7月5・12・19・26日 8月2・9日	7	392
寺岡小学校子ども110番の家をたしかめよう！	防犯安全講話・こども110番の家紹介・現地確認	6月7日	1	116
地域で見守る～認知症と介護について～	認知症を地域で見守るには・移動介助の基本・施設見学・認知症サポーター養成講座	11月7・14・21・28日	4	90
多聞塾	脳の働き(脳卒中予防)・3B 体操・身近な犯罪と防犯、高齢者の交通安全・切り絵の世界・宇宙への招待・日本の常識は世界の非常識・石川啄木の世界・オーケストラの楽しみ方・爆笑パワーでいつも心に防災を・タオル体操	5月10日～ 2月7日	10	365
★寺岡・紫山地域「中学生とコミュニティ防災訓練」	地域と中学生が連携して取り組む防災訓練(AED/応急処置演習・炊き出し訓練・非常用トイレ組立て、撤収)	10月18日	1	152
市民センターの講座を企画しよう	子どもが課題を見つけ解決するためのプログラムをつくり、子どもと大人が一緒に地域イベントを企画	5月25日 6月15日 7月13日 8月1・17日 9月8・29日	7	82
寺岡・紫山地域防災会議	地域諸団体の防災情報交換と地域ぐるみの防災について意見交換	8月3日 2月16日	2	43
寺岡市民センターまつり	ステージ発表(ダンスパーティ・カラオケ発表会・寺岡中学校吹奏楽部・サークル)展示発表(サークル、地域団体・小中学校・児童センター)物品販売・ジュニアリーダーコーナー	10月20・21日	2	1,200
寺岡コンサート	ロビーコンサート(3重奏・トーク)・クリスマスコンサート(利用団体)	6月23日 12月15日	2	123
寺岡・紫山地域懇談会	昨年度懇談会での要望事項と経過報告・市民センター運営方針説明・情報交換・要望事項聞き取り	9月23日 1月23日	2	36

長命ヶ丘市民センター

〔 沿 革 〕

長命ヶ丘市民センターは、平成 5 年 4 月に泉区 10 番目の市民センターとして開館された。当市民センターの周囲は昭和 50 年以降に造成された長命ヶ丘団地で形成されている。利用者の約 65%が長命ヶ丘地区、25%が近隣地区、残り 10%が他地区からとなっており、地域に密着した市民センターといえる。地域利用団体の 27サークルをはじめ、常時 80 以上のサークルが活動しており、平成 24 年度は 50,000 名を超える利用者があった。当市民センターは、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の支持を得ながら、サークル活動はもとより、地域の生涯学習活動の拠点として定着しており、益々その役割と機能は、重要性を増している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔 特色ある事業 〕

事業名	地域ぐるみ青少年健全育成事業		
参加者	青少年と保護者、地域住民	参加延人数	96 人
開催日	全 1 回 10 月 20 日(日)		
協力者・協力団体	長命ヶ丘地区青少年健全育成推進協議会(長命ヶ丘連合町内会、長命ヶ丘地区社会福祉協議会、商店会、老人クラブ亀楽会、長命ヶ丘子ども会育成会、長命ヶ丘小学校PTA、長命ヶ丘中学校父母教師会、泉館山高校PTA)		
ねらい	長命ヶ丘に住む青少年の健全育成を支援する取組みを地域全体で推進していくことを目指し、事業を実施する。また、協議会メンバーである地域の諸団体と連携することで、顔の見える関係を築き、団体同士の結びつきを強くしていく。		
概要・成果	協議会での会議において、健全育成を支援する事業として標語の募集を行うことを決め、作品を募集した。協議会のメンバーが優秀作品を選考し、市民センターまつりにて表彰式を行った。 標語づくりを通して、家族のコミュニケーションを図ることができ、地域住民が子ども達の健やかな成長について考える機会を持つことができた。また、事業を通して、青少年の健全育成を支援する地域のネットワークがより強固なものとなった。		

〔 平成 24 年度 事業実績 〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
子育て講座	同一地域内にある市民センター・児童センター・保育所がそれぞれの特徴を生かし、運動あそびや造形あそび、子育てに関する講話、親子ふれあいあそび等を行った。	6 月 7 日 8 月 31 日 10 月 11 日 11 月 22 日 2 月 7 日	5	253
本と仲良し！長命ワ ンダーブックランド	子ども読書活動を推進するために、図書まつりを開催した。内容は本の情報コーナー、譲りますコーナー、ブックカフェ、DVD シアター、ブックトーク、うたとお話のコンサートで、多くの来館者でにぎわった。	11 月 23・24 日	2	215
料理もおまかせ！イクメンパパの伊達なキッチン	父親の家事参加を促すため、家族が喜ぶ野菜中心の簡単料理を学んだ。	12 月 1・8・15 日	3	19

フレンドスクール	長期休暇を利用した工作・化学実験、地域に開放されている長命ヶ丘小学校マイスクールの場所を会場に、放課後の小学生対象に木の枝工・読み聞かせ・天体観望会などを開催。	7 月 26・27・28 日 10 月 3・17 日 11 月 14 日 12 月 27 日 2 月 9 日 3 月 6 日	9	205
市民企画講座 美と心の再発見～40 からのキレイ計画	心身共に美しく健やかに生きるため、コミュニケーション力アップの方法、メイク術、カントリーダンスを学んだ。	9 月 21・28 日 10 月 12 日	3	48
転ばぬ先の介護予防	虹の丘地域包括支援センターと共催で、地域にあるリハビリテーション専門学校の協力を得ながら転倒予防のための運動、栄養改善、口腔ケア、認知症予防について学んだ。	10 月 30 日 11 月 6・13・ 20・27 日	5	96
●長命大学	地域の高齢者にニーズにあったさまざまなジャンルの講話や実技、音楽鑑賞などを取り入れた学習の機会や交流の場を提供することで、心身ともに健康で豊かな生活を送るための一助とした。	5 月 17 日～ 2 月 21 日	10	510
地域再発見「ぶらり長命ヶ丘」	長命ヶ丘に長年住んでいても地域のことをよく分らない地域の方々を対象に地域再発見になるべく、長命ヶ丘団地の中を歴史・自然・隠れスポットをテーマに訪ね歩いた。	10 月 5・26 日 11 月 16 日	3	29
長命コンサート	身近に音楽に触れる機会を提供するため、11 月に弦楽合奏、1 月に箏のコンサートを実施した。	11 月 10 日 1 月 12 日	2	170
正しく学べるお金の話	「経済」や「金融」に関する知識を学ぶことで、身近にある「お金」を取り巻く社会の仕組みについて理解を深め、時代に応じた社会力を高める機会を提供した。	5 月 26 日 6 月 9・23 日 7 月 7 日	4	47
微笑みの国タイの魅力	歴史のある王室を持ち、親日的といわれるタイをテーマに、その文化、国民性や日本との交流を知り、国際社会に目を向け、国際理解を広げるきっかけとした。	11 月 28 日 12 月 5・12 日	3	49
★組織で対応 地域の災害時対策を考える	地域の災害時の対策を考える機会を提供する事を目的に、先進的な取り組みを進めている町内会の取組の状況を伺った。	8 月 26 日	1	160
サークル体験講座	長命ヶ丘市民センターで、活動中のサークルや長命ヶ丘老人会サークルの体験会を実施。新しく活動を始めたと思っている方と、サークルのメンバーを増やしもっと活動を広げようとしているサークルとの出会いの場・きっかけの場とした。	5 月 29・30・31 日 6 月 1・2 日	5	63
こころのコミュニケーション～傾聴	傾聴の基本を学んだ上で、ロールプレイや施設での体験を実施し、傾聴の技法・手法を学習した。	8 月 29 日 9 月 5・12・19・ 26 日	5	64
自分磨きの講座を企画してみませんか	これからの人生を豊かで充実したものにするため、女性達が美しく輝ける講座を企画した。	5 月 25 日 6 月 1・8・15 日 9 月 14・21・28 日 10 月 12 日	8	40
長命ヶ丘市民センターまつり	市民センターを中心に活動している団体の学習成果の発表機会を提供。舞台発表・作品展示・子どもの広場・模擬店など。	10 月 20・21 日	2	2,530
長命ヶ丘市民センター地域懇談会	市民センターの事業や施設に対する地域住民との意見交換の場を設け、学習ニーズや地域課題を共有し、収集した情報をもとに市民センター事業へ反映させた。	6 月 15 日	1	45

松森市民センター

〔 沿革 〕

当市民センターは平成12年1月、鶴が丘中学校区施設として泉かむり訪問看護ステーション、コミュニティ防災センターと併設し、泉区内11番目の市民センターとして開館した。

市民センターの北側に、戦国時代の武将である国分氏が居を構えた松森城跡を仰ぎ、北東には鶴が丘団地、東西に細長く松森地区がある。近年大型店舗の進出や幹線道路の整備が進み人口増加の傾向にある。一方南側は、一面広大な田園地帯となっており、七北田川・仙台バイパスまで眺望が広がり、自然環境にも恵まれている。施設の特徴としては、市民が気軽に利用できる親子室・娯楽室・図書室・市民活動室や広々としたラウンジがある。地域のニーズに応える生涯学習の拠点施設として、相互交流の輪を持てる多様な事業を提供・支援している。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔 特色ある事業 〕

事業名	まなこみネット鶴が森推進事業 「巨大紙相撲鶴が森場所 2012」		
参加者	小学生、中学生、地域住民	参加延人数	112 人
開催日	全1回 7月16日(月)		
協力者・協力団体	鶴が丘中学校、鶴が丘小学校、松森小学校、鶴が丘児童センター 鶴が丘中学校親父の会、松森・鶴が丘学区民体育振興会 鶴が丘小学校区社会学級、松森小学校社会学級 鶴が丘中学校区健全育成推進協議会		
ねらい	市民センターが核となり、まなこみネット鶴が森推進委員会と連携し、ネットワークを広げ地域活性化を図る。また子ども達の健やかな育ちを支援し、さらに世代間交流を行うことにより地域の居場所づくりにつなげる。		
概要・成果	子どもから大人まで一緒にダンボールで巨大力士を作成し、鶴が森場所を開催した。多くの参加者により楽しく力士作りを行い、熱い戦いを繰り広げた。毎年参加している子どもたちが多く、力士作りから本場所までスムーズに進めることができた。 前日の土俵の準備から当日の本場所まで、中学生を含むボランティアスタッフが活躍し、大会を盛り上げ、なかなか市民センターを利用することない中学生にも市民センターを身近に感じてもらえる機会となった。また、今年度で4年連続の実施となり、一層地域に根ざした事業となった。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
移動天文台 ベガ号で探検！星座の世界	天体観測会で星座や月を観察し、子供たちに天文に親しむ機会を提供する。夜間開催の募集であり、親子そろっての参加を促し、思い出づくりやふれあいを図った。	11月30日	1	60
ジュニアちゃれんじ！	長期休暇、土日などで小学生向けの事業を展開し、学校ではできないモノ作りや遊びなどの体験を通して、子供たちの自主性や想像力、理解力を養う。また、ジュニアリーダーや高校生など地域資源を活用することで、異世代との中から人と人とのコミュニケーション能力を養う場を提供した。	7月27日～1月26日	4	68
踊って健康づくり 楽しくチアダンス	楽しく仲間と踊ることで、心身ともに健康で生き生きとした暮らしが出来るように、学習機会を提供し、健康づくりを支援した。	7月6日～10月21日	9	121

城前大楽(老壮大学)	地域の高齢者に生涯学習の場を提供し、また、話し合いの場をつくり参加者同士がふれあい、親睦を深め、さらに自主活動ができ心豊かな生活が送れるように支援した。	4月19日～ 2月21日	10	383
松森あったかコンサート	地域の人たちが気軽に集え、楽しめるコンサートを開催し、住民同士が交流する機会を提供した。市民センターを利用しているサークルに演奏発表の場を提供し、活動の活性化につなげた。	11月17日～ 3月17日	4	325
～地域の達人に教わる～ おしゃべりハンドメイド	地域に居住し、工芸などを趣味で楽しんでいる達人の活動を紹介する場を設け、地域住民が気軽に体験できる機会を提供し、趣味を見つけて楽しむ生きがいづくりを支援した。	11月2日～ 11月16日	3	31
「子育てママ企画」実施事業 ママのシンデレラタイム	ストレスを抱え孤独になりがちな母親たちを対象に、ダンスでストレス発散し併せて心身のセルフケアを学ぶ。また、日本茶の入れ方や有効利用の仕方を学びながら、母親同士の交流を深め仲間づくりをする一助とした。	11月21日～ 12月19日	3	28
松森社会学級連携事業「体験！畑のがっこう 野菜を育てておいしく食べよう！」	野菜を育て、収穫する体験を通して「食」に興味を持ち、「食」を大切にする心を育み健全な食生活が実践できるよう働きかけ、同時に農家の方から郷土料理を教わり、生産者との交流に役立てた。	6月16日～ 11月17日	4	116
鶴が丘社会学級連携事業「私たちにの風と水その有りがたさと怖さ」	「風」と「水」への理解を通して、直接生活に関連した自然環境の全体像を学び、自然への対処や防災についての理解を深めた。	11月6日	1	23
サークルー日体験	市民センターで活動するサークルの様子を地域の方々に紹介し、体験することにより、地域での自分探しとなり、交流をするきっかけづくりとした。	6月13日～ 7月21日	7	23
図書ボランティア養成講座 本は素敵なパートナー	読書推進活動のため。図書ボランティアの人員確保と現在活動しているボランティアのスキルアップを図った。	10月17日～ 11月7日	4	41
子育てママ企画	地域に住む子育て中の親が企画委員となり、身の回りの様々な問題について情報交換しながら、子育て支援に有効な企画を考えるとともに子育ての仲間づくりを図った。	5月22日～ 12月19日	5	28
社会学級共催企画会議	松森市民センターの地域にある社会学級と市民センターが、現代の諸問題について意見交換しながら地域に発信できる講座を企画した。	4月26日～ 11月13日	6	38
(学びのコミュニティ推進委員会)まなこみネット鶴が森推進委員会	市民センターが核となって地域の様々な団体が連携し、事業を企画立案、運営することによって子供たちの健全育成と地域の活性化を図った。	4月18日～ 11月14日	6	125
●★減災をめざして！ 地域の防災再確認	東日本大震災の経験を元に、松森市民センターに隣接する防災資機材倉庫にある道具を実際に使用して、地域団体とともに小規模の炊き出し訓練を企画し実施することにより、非常時の炊き出しをスムーズにするための一助とした。	2月2日	1	16
松森市民センターまつり	市民センターで活動するサークルの学習発表と、地域住民との交流を促進する場とする。また実行委員会を組織し、自分たちのまつりであることを確認し、地域の和を意識したまつりを実施した。	10月21日	1	1,300
鶴が森コミュニティ2012	地域や団体の代表者が一同に会して、地域課題・地域ニーズ、支えあう共生等々についての意見交換及び情報交換を行った。	2月13日	1	6

桂市民センター

〔 沿 革 〕

桂地区は仙台市の北西部に位置し、緑に囲まれた住宅と高層マンションで構成される新興住宅団地であり、高齢化率も比較的 low、若く活気にあふれた街である。一方、将監地区は昭和 40 年代に開発された歴史の古い団地で年々高齢化が進んでいる。

児童センターとの併設館ということもあって利用者の年齢層は乳幼児から高齢者まで幅広い。開館以来、これらのさまざまな年齢層の地域住民と地域団体を意識した事業を展開し、生涯学習の拠点を目指して取り組んできた。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔 特色ある事業 〕

事業名	市民企画講座 桂ロビーコンサート 音楽があふれる街～地域をむすぶ		
参加者	一般	参加延人数	210人
開催日	全 5 回 10 月 27 日(土)、11 月 18 日(日)、12 月 2 日(日)、1 月 27 日(日)、2 月 24 日(日)		
ねらい	世代や家族状況等、様々な住民が暮らす地域で、集いの場を求めていることから、地域の人材を活用し、音楽の持つ癒しや感動を共有することで人と人をつなぐ場とし、地域住民の交流を図る。また、集うことで新たな地域情報の交換・共有を促し、地域活動の活性化を図る。		
概要・成果	昨年度は観客として参加した6名が、今年度は企画員となり、コンサートの構成・運営に関わった。企画会議を経て 5 回のコンサートを企画した。多彩なコンサート開催により、市民センターが文化創造の拠点となり、地域の人々が集まる催し物として更に定着している。		

〔 平成 24 年度 事業実績 〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
桂の森のキッズランド	桂地区社会福祉協議会・桂こどもの城保育園・桂児童センターとの連携事業。「子どもが明るく心豊かに育つ街」づくりの一助とし、地域住民が楽しめる機会を提供した。劇団おむらいすによる参加型ミュージカル「ヘンゼルとグレーテルの大冒険」。	9 月 12 日	1	219
桂ジュニアカレッジ	小学生を対象に、学校では体験できないような学習・モノ作り・遊びなど様々なジャンルの内容で実施。「ホバークラフトを作ろう」「茶道にふれてみよう」「ジュニアとあそぼう」「やきいもワッショイ」「アロマでワッショイ」「サッカーでワッショイ」	7 月 24・25・26 日 11 月 15 日 12 月 15 日 2 月 6 日	6	132
●桂子ども交通安全教室	桂小学校を会場に「自転車の正しい乗り方」や「交通ルール」を DVD とお話で学んだ。予定していた校庭での“仮想道路”は雨のために使用できなかったが体育館で一部内容を変更しての講座を実施した。	6 月 9 日	1	30
ママのリフレッシュタイム	ストレスを抱えがちな、子どもを育てる母親の負担を少しでも軽減すべく、身体をリフレッシュし、母親同士の交流を通して心の触れ合いや浄化を促す。「親子でヨガ体験」「おしゃれを学ぶ」「かわいいお弁当づくり」	9 月 14・21・28 日	3	57

伝統文化に親しむ	仙台に根付いてきたつるし雛作りを通して伝統文化を学び、参加者同士の交流を深めた。「桂文化祭」へ出展し、地域の絆づくりに貢献した。	6月7・21日 7月5・19日 8月2日	5	92
桂自然塾 水を巡る	水をテーマにして「わがまち泉」を学ぶ講座を実施。1回目は「わがまち泉の水資源」という題で七北田川の自然についての講話。2回目～4回目はそれぞれ「根白石の水巡り」「桂島緑地の水巡り」「将監沼の水巡り」として実際に歩いて学んだ。	5月26日 6月2日 9月15・29日	4	52
●桂友くらぶ	受講生同士の交流や、生きがいづくりと地域の活性化につなげるため、受講生企画講座・講話・健康体操・館外学習など多種多様な学習の場を提供した。	5月10日～ 2月14日	10	433
桂ふれあいコンサート	地域合唱サークルと大学の楽団によるコンサートを開催し、音楽への学びを通じた相互交流の一助とした。	7月22日	1	200
★桂地域防災事業	「東日本大震災」を受け、桂地区全体の防災力を高めるために地域の諸団体が連携して防災訓練を開催した。それに先立ち、先駆的な取り組みを実践している福住町の事例を学んだ。	8月19日 9月9日	2	1025
桂小学校区社会学級連携事業『プロに学ぶこれからのエコライフ』	第1部手軽にできるクリスマス料理の実習を通して地域の参加者同士の交流を深め、第2部エネルギーの講話で社会問題についての学習を促した。	11月7・21日	2	45
バルーンアートボランティア養成講座	地域のイベントの際、地域の人々を楽しませる「バルーンアートボランティア」を養成し、円滑なコミュニケーションを図るとともに、地域住民の交流促進・地域活性化につなげる。ジュニアリーダーに指導、文化祭・コンサートの飾付け等に活動	7月4・11・18・ 25日	4	24
桂ロビーコンサート企画会議	桂ロビーコンサート実施に向けての企画会議を行い、幅広い市民参加型コンサートの実施を目指した。企画を通して企画参加者同士の連携も深まり、市民センターや市民参画事業への理解を促す一助となった。	5月15・22日 6月5日 7月12日	4	21
桂小学校区社会学級連携事業企画会議	地域に生活の場を持つ桂小学校区社会学級と連携し、地域課題の解決に結びつく講座を企画した。桂市民センターが「情報」を共有できる「場」を提供し、円滑な結びつきを促した。	5月24日 6月19日 8月23日	3	15
桂文化祭	市民センター利用団体に学習成果発表の機会を提供し、学習意欲の高揚の一助となった。。地域住民同士のふれあいと交流を深め、地域活性化に貢献した。舞台発表・展示発表・出店・児童センターまつり。	10月20日	1	3,100
桂地域懇談会	市民センター事業の市民参画を推進するため地域課題、対象の状況、資源について意見交換し、ニーズの把握に努めた。市民センター事業が、地域に密着したものになるよう参加者と職員が課題等を話し合った。	6月29日 8月29日	2	21

南中山市民センター

〔沿革〕

当市民センターは、「泉中高年齢労働者福祉センター(サンライフ泉)」が平成15年3月をもって閉館したあと改修を行い、平成15年11月13日に開館した。この地区は住宅の新築も多く、人口も増加傾向にあり、南中山、北中山、西中山の3連合町内会傘下16町内会を抱える地域である。

地域内には聖和学園短期大学や障害者教育支援施設があり、地域の行事や市民センター事業を通して交流を図っている。また、地域の活動拠点として、地域団体、サークル、事業者などに広く活用されている。

(★：震災を踏まえた事業 ●：区役所との連携事業)

〔特色ある事業〕

事業名	わがまちみんなの輪		
参加者	成人	参加延人数	39人
開催日	全2回 1月12日(土)、3月2日(土)		
ねらい	南中山地区は、新規転入者の増加や高齢化、核家族化が進行している地域であることから「地域のコミュニティづくり」を推進する事が優先課題である。そこで本講座は参加者の交流、地域資源の発掘、地域理解を進め、地域づくりの一步とする事をねらいとする。		
概要・成果	地域の方を講師に迎え、旧泉市農村部の伝統的な正月行事と腹話術によるボランティア活動を紹介した。地域に根差した歴史や市民活動を学ぶことで地域理解につながった。また、参加者同士の交流もあり、地域づくりの一助となった。		

〔平成24年度 事業実績〕

事業名	事業の主な内容	実施日・期間	回数	参加延人数
●ママのほっとサロン	子育て中の母親を支援すべく親子遊びや情報交換の場を提供し、同年代の親子の仲間づくりの機会とした。	6月15日 7月20日 9月20日 10月19日 11月16日 12月11日 1月18日	7	144
わくわくこどもチャレンジ	子どもたちに、自然体験・科学実験・工作・調理等の体験学習の場を提供し、土、日や長期休暇中の活動を支援した。	7月26・28日 11月23日 12月22日 2月16日	5	176
ジュニアリーダーと遊ぼう	小学生とジュニアリーダーの異年齢交流によって、子どもたちの社会性を養う。また、ジュニアリーダーの活動の周知やジュニアリーダー自身のスキルアップを図った。	7月28日	1	3
いずみ中山交流事業「本・ひと・出会いのまち巡り」	地域の支援学校工房に集い体験学習することで、学校への理解と、住民同士の交流を深めた。	7月 11・18・25日 9月5日	4	52

かがやきカレッジ	歴史、文学、健康講話等幅広い学習の機会を提供し、生涯学習の推進を図った。	5月11日 6月8日 7月13日 9月14日 10月12日 11月9日 12月14日 1月11日 2月8日 3月8日	10	444
いずみ中山すずなりコンサート	市民センター利用サークルや学校等による地域ぐるみのコンサートを開催し、活動発表の機会を提供した。	7月7日 2月9日	2	50
南中山・北中山小学生交流会	いずみ中山地域は新興住宅地だが、その地域内にある南中山小学校と北中山小学校の児童の交流は皆無に等しい。両校の児童が一緒にひとつのことに取組み交流する事を通して地域社会で生きていくための人と人の繋がりを強くしてもらおう機会とした。	2月23日	1	48
門松づくり	地域子ども達が、『門松づくり』の体験を通して伝統文化に対する理解を深め、そこに息づく知恵を生かして将来社会でたくましく生きていく為の力を養い、かつ地域社会とのつながりを深めてもらう機会とした。	12月15日	1	37
万人漕で友だち交流会	七北田川の支流である万人漕での安全な遊び方、川の環境、生物について学んだ。また、南中山小学校と北中山小学校の児童とその家族が交流できる場を提供した。	9月9日	1	42
いずみ中山愛菜ボランティア講座	地域住民に市民センターの「いずみ中山愛菜農園」を実践の場として提供し、作り方を学んでもらったあと、近隣の学校に出向き、畑・野菜作りの支援のボランティアを行った。	4月14・21・28日 5月12・19・26日 6月2・9・16・18・23・28・30日 7月14・18・20・21・28日 8月4・11・18・25日 9月1・8・15・22・29日 10月6・10・13・20・27日 11月2・3・8・10・17・24日 12月1・8日	40	519
★市民企画会議 ～東日本大震災からの教訓を踏まえて～ 真の防災を考える	震災から学んだ課題や教訓を生かし、今後いかに備え、実践していけばよいか話し合い、その成果を講座として地域に提案するための企画・運営を行った。	8月10日 9月29日 11月16・28日 12月20日 1月24日	6	16
★市民企画講座 3・11 あの日から変わったもの	地域防災は各戸の備えと地域の共助が大切だが、その基本はそこに住む住民が発揮する地域力である。地域力の元となる住民のつながりを作るため、講師から震災体験後の地域や人のあり方などについて話を聴き、集まった人たちが交流する機会を作り、地域づくりにつなげた。	1月24日	1	49

南中山・北中山小学生交流会実行委員会	南中山・北中山地域の住民や団体が集まり、南中山小・北中山小の児童がともに参加する事業を企画・検討した。	12月1・24日 1月26日 2月16日	4	20
まなびねっと「いずみ中山」推進委員会	地域の団体が連携してネットワークをつくり、子どもたち同士の交流や健やかな成長を目的に、事業を企画・検討した。	4月28日 5月26日 6月23日 7月21日 8月18日 9月22日 10月20日 12月1日 1月26日 3月23日	10	63
南中山市民センターまつり	地域住民、地域団体、センター利用サークルに学習成果の発表の場を提供し、相互の交流を図った。ステージ発表、作品展示、模擬店等	11月3日	1	548
地域懇談会	地域ニーズや課題について意見交換を行った。また、センターの活動状況を報告し、地域住民の理解につなげた。	9月26日 2月20日	2	17